

令和 4 (2022) 年度
教育の質を保証するためのアセスメント

東京未来大学

本学では、アセスメントプランを踏まえて教育の質について評価を実施している。

・アセスメントプラン

【資料 A】

1. ディプロマ・ポリシー

<指標>

- 在籍者推移表(学年別) 【資料 B-1】
- 【卒業年度基準】卒業者数・就職者数推移表 【資料 B-2】
- 「3 ポリシー」の適切性に関するアンケート(DP) 【資料 C-1～C-5】
- 入学年度別進級者数・標準年限卒業者数推移表 【資料 D-1～D-2】
- 【標準年限】【通学課程】卒業者の専攻・学科別G P A分布推移表 【資料 E-1】
- 【標準年限】【通信教育課程】卒業者の学部・入試形態別G P A分布推移表 【資料 E-2】
- 【標準年限】【通学課程】卒業者の資格・免許状取得状況 【資料 F-1～F-3】
- 【標準年限】【通信教育課程】【公開用】卒業者の資格・免許状取得状況 【資料 F-4～F-5】
- 卒業時アンケート(学生生活実態調査・卒業時アンケートから) 【資料 G-1～G-2】
- 【集約版】【標準年限】卒業者の就職先推移 【資料 H】
- 身につけるべき学士力調査 【資料 I】

<評価結果>(DP に定める資質、能力を身につけたか)

[通学全体]

ディプロマ・ポリシーの適切性評価では、各専攻学科とも、全項目の達成度が、令和 3(2021) 年度より 10 ポイント程度低下している。特にモチベーション行動科学科の「組織を動かす力」は、19.6 ポイント低くなっている。資格・免許状取得状況では、こども保育・教育専攻の保育士・幼稚園教諭免許取得率が 59.5% と前年度より 10 ポイント以上低下したこと、逆に、モチベーション行動科学部の公認モチベーション・マネジャーBasic の取得率が 41.7%、認定心理士資格取得率が 15.0% と大きく上昇したことが注目されるが、これら以外は、例年とほぼ同様の傾向である。身につけるべき学士力の汎用スキルでは、「自然や社会的現象について、様々な表現方法を用いて分析し、他者に伝達できる」、「既存の知識を活用して、新しい価値を生み出せる」といった「創造力」の達成度が低く、「相手の意見を丁寧に聞くことができる」、「他者と協調して行動できる」といった「社会性」の達成度は高い傾向にある。身につけるべき学士力の専門スキルでは、心理学専攻で「行動や感情の自己管理ができる」、「自らの感情や心の状態を理解し、調整することができる」といった自己感情や行動の調整の側面、こども保育・教育専攻では「円滑に担当クラスの運営を行える」、モチベーション行動科学科では「様々な実践経験をもとに地域の人びとと連携できる」の達成度が低い傾向にある。標準年限卒業率、GPA 分布、授業満足度、未来際等満足度、週当たり学習時間（卒業時調査）、業種別就職状況には大きな変化は認められない。

以上各指標から、ディプロマ・ポリシーの達成状況を検討すると、『人間性豊かな心』は、汎用性スキルの「社会性」の結果から修得されていることが示唆されるが、他方、『高い専門的知識・技能』に関しては、保育士・幼稚園教諭免許取得率（こども保育・教育専攻）が低下している点、身につけるべき学士力の専門スキルで「組織を動かす力」（モチベーション行動科学科）の達成度が低い点について精査する必要がある。さらに、『自ら考え、行動する』に関しても、学士力汎用スキル「創造力」の達成度が低い点について、原因を検討する必要がある。

[心理専攻]

標準年限卒業率は凸凹あるものの、3年次の進級率は右肩上がりに回復している。卒業生のGPA分布については、令和元(2019)年度入学生は前年度入学生と比較しても3.01以上の割合が大幅に増加した。成績評価の平準化という視点では検討の余地があるかもしれないが、学生の勤勉性が現れている結果ともいえ評価に値するであろう。卒業者の資格・免許取得状況に関しては、認定心理士の取得率が回復しており、令和元(2019)年度は初めて50人台となった。

心理専攻のディプロマ・ポリシーの適切性の結果に関しては、(1)教養的知識・技能の修得、(2)専門的知識・技能の修得、(3)実践的技能の修得、(4)学士力を修得している4項目全てにおいて、「思わない(3)以下」が10%以上増加していた。令和4(2022)年度の在学生は大学在学時に新型コロナ感染症による対面授業や行事の制限を経験しており、これらのことが結果にも反映していると考えられる。

[こども保育・教育専攻]

保育士資格・幼稚園教諭免許の両方取得者数が大きく低下、その数とほぼ同数の資格・免許未取得者が生じた。数値上は、保育士・幼稚園教諭の資格・免許の両方取得へのモチベーション低下から両方取得放棄へ移行した可能性を示す。学修目的と資格・免許取得の関係を再考する必要がある。その他の資格・免許の取得状況は、例年通りといえる。

[モチベーション行動科学部]

令和4(2022)年度のモチベーション行動科学部の標準年限卒業者における就職実績では、卒業者数を分母とする就職率は95.0%であったものの、就職希望者を分母とする就職率は100%を達成した。過去数年の実績と比較すると大きく向上しており、局部的ではあるが、ディプロマ・ポリシーの達成に貢献していると言える。

[通信全体]

ディプロマ・ポリシー各項目の達成状況(適切性評価)では、全項目で、こども心理学部は2~6ポイント上昇しているが、モチベーション行動科学部では逆に低下傾向にある。標準年限卒業率、GPA分布には大きな変化は認められない。資格・免許状取得状況については、こども心理学部では、1年次入学、3年次編入とも、教員免許状取得率が減少傾向にある一方、1年次入学では認定心理士の取得率は増加傾向にある。他方、モチベーション行動科学部1年

次入学では、認定心理士取得率は大幅に減少している。

以上より、モチベーション行動学部でディプロマ・ポリシー項目の達成度が低下していること、また両学部で『高い専門的知識・技能』の指標である資格取得率が低下していることは検討を要する。

2. カリキュラム・ポリシー

<指標>

- | | |
|--------------------------|--------------|
| ○3 ポリシーの適切性に関するアンケート(CP) | 【資料 J-1～J-5】 |
| ○入学年度別進級者数・標準年限卒業者推移表 | 【資料 D-1～D-2】 |
| ○授業評価アンケート | 【資料 K-1～K-4】 |
| ○学生生活実態調査・卒業生アンケート | 【資料 O】 |

<評価結果>(CP に沿った学修がすすめられているか)

[通学全体]

カリキュラム・ポリシーの適切性評価は、すべての専攻、学科で昨年度より低下している。休学者数、退学者数、修得単位数、GPA はほぼ昨年度と同様であるが、こども保育・教育専攻の留年者数、留年率は増加傾向にある。授業評価は、各カテゴリーとも昨年度とほぼ同様であり、概して肯定的である。良好な授業評価から、本学カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程及び授業は適切に運営され、機能していると考えられるが、カリキュラム・ポリシー適切性評価による達成度の低下については、検討を要する。

[心理専攻]

カリキュラム・ポリシーの適正評価を概観すると、思う(4)以上の割合が5項目とともにすべて約10%低下している。今年度のみを考えると、対面の授業が中心であり、3年生のゼミも通常通り行われている。しかしながら、「学問研究を深める(3年生)」の得点も10%近く下がっていることから、学生の状況のさらなる分析が求められる。学生のニーズをとらえた上で、学問研究を深める方法を検討していきたい。

[こども保育・教育専攻]

新型コロナウイルス感染症対応の下では、大学入学以前から協働経験が乏しく精神的な問題を抱えた学生にとって、安全に学べていた環境があったが、令和4(2022)～5(2023)年度にかけて、順次通常の学修に戻り、専攻の学修内容・方法としての濃密な対人関係、接触機会の増加などから、環境変化への不適応が顕在化した可能生を考慮する必要がある。

[モチベーション行動科学部]

モチベーション行動科学部では、カリキュラム・ポリシーの適正評価において、特に「モチベーション行動科学の基礎」が学べる点に対して97.2%が適切性を評価している。しかし、その一方で専門性を深める「卒業研究科目」については、適切性を評価していない割合が26.8%

と4分の1を超えており、今後の検討を要する。

[通信全体]

カリキュラム・ポリシー各項目の達成度（適切性評価）は、こども心理学部ではやや上昇、モチベーション行動科学部では、項目により異なるがほぼ横ばいと考えられる。休学者数、退学者数、修得単位数、GPAはほぼ昨年度と同様である。授業評価は各カテゴリーとも昨年度とほぼ同様であり、概して肯定的である。良好な授業評価、カリキュラム・ポリシー適切性評価から、本学カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程及び授業は適切に運営され、有効に機能していると考えられる。

3. アドミッション・ポリシー

<指標>

○志願者数・受験者数・合格者数・入学者数推移表

【資料 L】

○3 ポリシーの適切性に関するアンケート(AP)

【資料 M-1～M-5】

○入学前教育

【資料 P】

<評価結果>(APを満たす人材が入学しているか)

[通学全体]

令和5(2023)年度の志願者数、受験者数は、全専攻学科で増加している。各入試種別の入学者構成比率は例年とほぼ同様であり、総合型選抜、学校推薦型選抜による入学者が全体の8割を占めている。アドミッション・ポリシー各項目の達成度（適切性評価）は、全専攻学科で10ポイント前後低下している。新入生アンケートによると、全専攻で「意見や対立の違いを理解し受け入れることができる」、「相手の意見を丁寧に聞くことができる」、「他者と協調して行動できる」といった他者受容、協調性の側面の評価が高い一方、「目標を設定し、自ら進んで取り組むことができる」、「よりよい社会を実現するために、自らの資質を活かして積極的に社会に関与できる」といった自律性、積極性の側面は必ずしも高くない。しかしながら、本学のアドミッション・ポリシーを直接反映した入試種別（総合型選抜、学校推薦型選抜）による入学者が大半であることから、アドミッション・ポリシーは機能していると判断できる。

[心理専攻]

アドミッション・ポリシーの適切性の結果を概観すると、令和4(2022)年度は全ての項目において低下が見られる。学生自身の自己評価の低さが反映されたものなのか、そもそも新型コロナウイルス感染症禍で経験知が貧弱になっているのかは検討の余地がある。教育目標の理解の大幅な低下に関しては、入試前にしっかりと教育目標を伝え、学生本人にも意識化を促すような手立てが必要であると考える。

[こども保育・教育専攻]

「子ども」に対する興味・意欲・関心については期待する入学生を得られているものの、基

基礎学力、積極性、教育目標の理解という大学での学修に関する資質・能力、理解が十分であるか否かについては注視すべきである。例年同様の傾向があり、広報のあり方や受験前の情報提供等について、教学組織の意見反映、発信のあり方について考慮・検討が必要といえる。

[モチベーション行動科学部]

モチベーション行動科学部のアドミッション・ポリシーの適切性に関する評価においては、総じて7割以上が各項目を評価しているが、「高等学校の教育課程を幅広く修得している」という項目においては、64.7%と評価が低くなっている。要因として考えられるのは、専門性のある課程の出身者であった場合や学生本人が自身の学びを幅広いかどうかを判断しにくいため、回答しづらい質問内容であることも考えらえる。今後質問項目について再検討する必要があると考えられる。

[通信全体]

アドミッション・ポリシー各項目の達成度（適切性評価）は、こども心理学部で上昇し、モチベーション行動科学部では昨年同様に高い水準にある。アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜、受け入れが実現していると考えられる。

4. 教育の目的

<指標>

○教育の目的の適切性に関するアンケート

【資料 N-1～N-5】

<評価結果> (DP、CP、AP の評価を踏まえて、教育の目的は達成できているか)

[通学全体]

教育目的に掲げる要件のうち、『人間性豊かな心』については、新入生アンケートより他者受容、協調性の側面の評価が高いこと、身につけるべき学士力の汎用スキルで、社会性の評価が高いことから、十分に達成できていると判断できる。他方、『高度な専門知識・技能』については、保育士・幼稚園教諭免許取得率が昨年度より10ポイント以上低下している点、教育目的の適切性評価において、「高度な専門的知識」「高度な専門的技能」の低下傾向が相対的に大きい点、『自ら考え、行動する』に関して、身につけるべき学士力の専門スキル（心理専攻）で、自己理解や自己管理が不十分である点については、検討が必要である。

[心理専攻]

全学の傾向と同様に、心理専攻においても「専門的な知識が身についた」に対して「思う（4）以上」と回答した者が13.7%低下した。「専門的な知識が身についた」と実感するためには、その前提となる基礎知識の積み重ねが重要である。通信制高校出身の学生が多い心理専攻の学生の実態に応じた、基礎学力や専門的知識の習得に向けた検討が急務である。

[こども保育・教育専攻]

教育者・保育者・支援者としての専門的な知識・技能の獲得という教育目標が、学生にと

っては、資格・免許の取得と同一視され、資格・免許の取得さえできれば良いとする学修姿勢が現状の遠因となっている可能性を見極め、その状況への対策、教育のあり方を検討する必要がある。

[モチベーション行動科学部]

モチベーション行動科学部では、昨年度と比較して「組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーションを理解できた」と「所属する集団や組織、地域、社会とその成員に対して影響力を与え、活性化できる力が身についた」の2項目において、適切性評価が大きく低下している。背景として、コロナ禍における集団活動や地域におけるボランティアや連携活動の制限が要因として大きく影響していると考えられる。来年度以降の環境改善による評価の回復を期待したい。

[通信全体]

教育目的の適切性評価は、こども心理学部、モチベーション行動科学部とも、昨年度と同水準で概して良好であるが、『高度な専門知識・技能』、『社会貢献』に関連する「所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化できる」（モチベーション行動科学部）の達成度が、昨年度に比べ約10ポイント低下しており、精査が必要である。

以上

東京未来大学のアセスメントプラン

【資料A】

※教育の質を保証するためにアセスメントプラン(評価の指標)に則り、三ポリシー(方針)に沿った学修成果となっていることを点検・評価をする

	APを満たす人材が入学しているか	CPに沿った学修が進められているか	DPに定める資質・能力をみにつけたか
全学		<p>在籍者推移表、卒業者数・就職者数推移表(就職率)</p> <p>教育の目的・3ポリシーの適切性に関するアンケート</p> <p>志願者数・受験者数・合格者数・入学者数推移表</p> <p>入学前アンケート・新入生アンケート、2年生時アンケート、学士力アンケート、身につけるべき学士力調査(【仮称】学生成長実感アンケート)=IRセンター年度報告</p>	<p>入学年度別進級者数・標準年限卒業者推移表</p> <p>学生生活実態調査・卒業時アンケート</p> <p>授業評価アンケート</p> <p>休学者数・留年者数・退学者数推移表</p> <p>【標準年限】【通学】卒業者の専攻・学科別GPA分布 【標準年限】【通信】卒業者の学部・入試形態別GPA分布</p> <p>【標準年限】【通学】卒業者の属性・免許状取得状況 【標準年限】入学年度基準、卒業年度基準【通信】免許状取得状況</p> <p>身につけるべき学士力調査</p> <p>【標準年限】卒業者の就職先推移 (卒業後アンケート)</p> <p>(就職先意見聴取)</p> <p>(学外者の意見聴取①学修成果②三ポリシー)</p>
学科・専攻 ・通信教育	志願者数・受験者数・合格者数・入学者数推移表	GPS-Academic	身につけるべき学士力調査
課程レベル	入学前アンケート・新入生アンケート、2年生時アンケート、学士力アンケート、身につけるべき学士力調査(【仮称】学生成長実感アンケート)=IRセンター年度報告	<p>入学前教育の取組状況</p> <p>GPA(平均)推移表</p> <p>休学者数・留年者数・退学者数推移表</p> <p>修得単位数(平均)推移表</p> <p>学修時間推移(学生生活実態調査)</p> <p>授業評価アンケート</p> <p>学生生活実態調査</p>	<p>【標準年限】【通学】卒業者の専攻・学科別GPA分布 【標準年限】【通信】卒業者の学部・入試形態別GPA分布</p> <p>【標準年限】【通学】卒業者の属性・免許状取得状況 【標準年限】入学年度基準、卒業年度基準【通信】免許状取得状況</p> <p>【標準年限】卒業者の就職先推移</p>
科目レベル	入学前教育の取組状況	<p>成績評価</p> <p>出欠状況</p> <p>シラバス記載内容</p> <p>授業評価アンケート</p>	

【資料B-1】

在籍者推移表(学年別)

[通学課程]

(単位:人数)

	入学定員	収容定員	令和4(2022)年度					令和5(2023)年度				
			1年	2年	3年	4年	合計	1年	2年	3年	4年	合計
心理専攻	80	320	126	124	111	118	479	126	124	109	118	477
こども保育・教育専攻	200	800	177	201	193	202	773	198	181	192	207	778
モチベーション行動科学部	60	240	70	76	70	74	290	74	73	67	75	289
合計	340	1,360	373	401	374	394	1,542	398	378	368	400	1,544

[通信教育課程]

	入学定員	収容定員	令和4(2022)年度					令和5(2023)年度				
			1年	2年	3年	4年	合計	1年	2年	3年	4年	合計
こども心理学部	75						0					0
	(300)	900	109	134	443	400	1,086	135	130	521	438	1,224
モチベーション行動科学部	20						0					0
	(20)	120	32	30	71	63	196	45	36	77	67	225
合計	415	1,020	141	164	514	463	1,282	180	166	598	505	1,449

※通信教育課程は春入学、秋入学があるが、入学定員は年間の人数を示している。

【資料B-2】

【卒業年度基準】卒業者数・就職者数推移表

[通学課程]

(単位:人数)

	平成31・令和元(2019)年度					令和2(2020)年度				
	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率①	就職率②	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率①	就職率②
心理専攻	84	70	68	81.0%	97.1%	94	80	80	85.1%	100.0%
こども保育・教育専攻	185	172	166	89.7%	96.5%	182	172	172	94.5%	100.0%
モチベーション行動科学部	36	28	28	77.8%	100.0%	62	56	56	90.3%	100.0%
合計	305	270	262	85.9%	97.0%	338	308	308	91.1%	100.0%

	令和3(2021)年度					令和4(2022)年度				
	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率①	就職率②	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率①	就職率②
心理専攻	106	98	98	92.5%	100.0%	102	90	89	87.25%	98.9%
こども保育・教育専攻	176	168	163	92.6%	97.0%	184	178	178	96.7%	100.0%
モチベーション行動科学部	56	53	52	92.9%	98.1%	64	60	60	93.8%	100.0%
合計	338	319	313	92.6%	98.1%	350	328	327	93.4%	99.7%

就職率①:卒業者数に対する就職率、就職率②:就職希望者に対する就職率

※通信教育課程の学生の殆どは社会人のため、データなし。

【資料C-1】

心理専攻「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

ディプロマ・ポリシー(DP)

以下の要件を満たす人材を養成する。

- 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。
- 子どもを中心としたあらゆる年代の人の心理学に関して、学士として十分な専門的知識・技能を修得している。
- 教育・保育・福祉領域などにおける心理職としての専門的な知識を有し、実践的な力を発揮することができる技能を修得している。
- 実社会で活躍できるような、本学の共通及び専攻が指定した学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(2) 子どもを中心としたあらゆる年代の人の心理学に関して、学士として十分な専門的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(3) 教育・保育・福祉領域などにおける心理職としての専門的な知識を有し、実践的な力を発揮することができる技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(4) 実社会で活躍できるような学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)教養的知識・技能の修得	4.28	88.2%	11.8%	4.10	75.3%	24.7%			
(2)専門的知識・技能の修得	4.28	86.6%	13.4%	4.25	78.3%	21.7%			
(3)実践的技能の修得	4.12	83.6%	16.4%	4.05	71.2%	28.8%			
(4)学士力を修得している	4.42	91.2%	8.8%	4.32	81.3%	18.7%			

【資料C-2】

こども保育・教育専攻「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

ディプロマ・ポリシー(DP)

以下の要件を満たす人材を養成する。

○自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。

○子どもの心身の健全な発達についての高度な専門性を発揮できる職種である、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、福祉職種に向けた職能を修得するように努めている。

○上記職種に限らず、家庭との関わり、環境や文化との関わりの中で育つ子どもに関する専門的知識・技能を活用できる就業力を修得している。

○実社会で活躍できるような、本学の共通及び専攻が指定した学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。

＜設問項目＞

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(2) 子どもの心身の健全な発達についての高度な専門性を発揮できる職種である、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、福祉職種に向けた職能を修得するように努めている。	6	5	4	3	2	1
(3) 家庭との関わり、環境や文化との関わりの中で育つ子どもに関する専門的知識・技能を活用できる就業力を修得している。	6	5	4	3	2	1
(4) 実社会で活躍できるような学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。	6	5	4	3	2	1

＜分析結果＞

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)教養的知識・技能の修得	4.28	88.3%	11.7%	4.08	73.9%	26.1%			
(2)専門的知識・技能の修得	4.62	92.5%	7.5%	4.54	84.6%	26.1%			
(3)実践的技能の修得	4.52	92.3%	7.7%	4.28	80.6%	26.1%			
(4)学士力を修得している	4.46	90.9%	9.1%	4.43	83.8%	26.1%			

【資料C-3】

モチベーション行動科学部「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

ディプロマ・ポリシー(DP)

心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群にわたって専門的な知識を修得し、社会に貢献しうる者に学位を授与する。学位の授与にあたっては最終学年で卒業研究の審査に合格し、卒業研究を含めた所定の単位を修得した者に「学士（行動科学）」の学位を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。

(1)個人をみつめる力を身につけること。

客観的な視点で人間行動を理解し分析することができ、モチベーションやリーダーシップに関する専門的知識を備え、所属する集団や組織、社会における成員の活動を促進する力を修得している。

(2)他者と関わる力を身につけること。

他者を肯定的に理解することができ、他者と円滑な対人関係を構築できる高いコミュニケーション能力と対人関係スキルを身につけ、他者や社会とより健全な関わりをもつ力を修得している。

(3)組織を動かす力を身につけること。

集団・組織の中で自分の立場を理解し、組織行動に関する基礎的知識を備え、組織活性化や人材の育成に取り組む力を修得している。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 個人をみつめる力が身についた。	6	5	4	3	2	1
(2) 他者と関わる力が身についた。	6	5	4	3	2	1
(3) 組織を動かす力が身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
個人をみつめる力が身についた。	4.85	93.2%	6.8%	4.44	80.8%	19.2%			
他者と関わる力が身についた。	4.76	91.4%	8.6%	4.70	85.6%	14.4%			
組織を動かす力が身についた。	4.00	83.7%	16.3%	3.87	64.1%	35.9%			

【通信教育課程】

【資料C-4】

こども心理学部「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

ディプロマ・ポリシー(DP)

以下の要件を満たす人材を養成する。

- 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。
- 子どもに関する心理を中心に、学士として十分なこども心理学の専門的知識・技能を修得している。
- 家庭との関わり、環境や文化との関わりの中で育つ子どもの教育・保育・福祉側面とこども心理学に関する専門的知識・技能を修得している。
- 実社会で活躍できるような、本学の共通及び通信教育課程が指定した学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(2) 子どもに関する心理を中心に、学士として十分なこども心理学の専門的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(3) 家庭との関わり、環境や文化との関わりの中で育つ子どもの教育・保育・福祉側面とこども心理学に関する専門的知識・技能を修得している。	6	5	4	3	2	1
(4) 実社会で活躍できるような学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)教養的知識・技能を修得	4.99	96.3%	3.7%	5.07	98.5%	1.5%			
(2)専門的知識・技能を修得	5.04	97.9%	2.1%	5.05	97.1%	2.9%			
(3)こども心理学の知識・技能修得	4.78	92.6%	7.4%	4.79	94.2%	5.8%			
(4)学士力を修得	4.86	92.2%	7.8%	5.11	98.8%	1.2%			

【通信教育課程】

【資料C-5】

モチベーション行動科学部「3ポリシー」の適切性に関するアンケート ディプロマ・ポリシー(DP)

心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群にわたって専門的な知識を修得し、社会に貢献しうる者に学位を授与する。学位の授与にあたっては最終学年で卒業研究の審査に合格し、卒業研究を含めた所定の単位を修得した者に「学士（行動科学）」の学位を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。

(1)個人をみつめる力を身につけること。

客観的な視点で人間行動を理解し分析することができ、モチベーションやリーダーシップに関する専門的知識を備え、所属する集団や組織、社会における成員の活動を促進する力を修得している。

(2)他者と関わる力を身につけること。

他者を肯定的に理解することができ、他者と円滑な対人関係を構築できる高いコミュニケーション能力と対人関係スキルを身につけ、他者や社会とより健全な関わりをもつ力を修得している。

(3)組織を動かす力を身につけること。

集団・組織の中で自分の立場を理解し、組織行動に関する基礎的知識を備え、組織活性化や人材の育成に取り組む力を修得している。

＜設問項目＞

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 個人をみつめる力が身についた。	6	5	4	3	2	1
(2) 他者と関わる力が身についた。	6	5	4	3	2	1
(3) 組織を動かす力が身についた。	6	5	4	3	2	1

＜分析結果＞

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
個人をみつめる力が身についた。	5.38	97.9%	2.1%	5.15	95.8%	4.2%			
他者と関わる力が身についた。	5.02	93.8%	6.3%	4.72	87.3%	12.7%			
組織を動かす力が身についた。	4.73	91.7%	8.3%	4.55	83.1%	16.9%			

【通学課程】

【資料D-1】

入学年度別進級者数・標準年限卒業者数推移表

(単位:人数、%)

学科・専攻	入学年度	入学者数	3年次進級		標準年限卒業	
			人数	進級率	卒業者	卒業率
心理専攻	平成28(2016)	103	84	81.6	77	74.8
	平成29(2017)	122	101	82.8	85	69.7
	平成30(2018)	124	111	89.5	99	79.8
	令和元(2019)	122	112	91.8	100	82.0
	令和2(2020)	117	111	94.9	—	—
	令和3(2021)	126	108	85.7	—	—
こども 保育・ 教育専攻	平成28(2016)	203	191	94.1	183	90.1
	平成29(2017)	204	191	93.6	179	87.7
	平成30(2018)	200	182	91.0	171	85.5
	令和元(2019)	205	192	93.7	173	84.4
	令和2(2020)	201	195	97.0	—	—
	令和3(2021)	198	191	96.5	—	—
こども 心理学部 合計	平成28(2016)	306	275	89.9	260	85.0
	平成29(2017)	326	292	89.6	264	81.0
	平成30(2018)	324	293	90.4	270	83.3
	令和元(2019)	327	304	93.0	273	83.5
	令和2(2020)	318	306	96.2	—	—
	令和3(2021)	324	299	92.3	—	—
モチベー ション行動 科学部	平成28(2016)	60	38	63.3	32	53.3
	平成29(2017)	76	67	88.2	57	75.0
	平成30(2018)	73	62	84.9	52	71.2
	令和元(2019)	75	70	93.3	60	80.0
	令和2(2020)	76	69	90.8	—	—
	令和3(2021)	72	69	95.8	—	—
合計	平成28(2016)	366	313	85.5	292	79.8
	平成29(2017)	402	359	89.3	321	79.9
	平成30(2018)	397	355	89.4	322	81.1
	令和元(2019)	402	374	93.0	333	82.8
	令和2(2020)	394	375	95.2	—	—
	令和3(2021)	396	368	92.9	—	—

※1 こども心理専攻は2019年度より心理専攻に専攻名称変更

※2 学校基本調査ベース回答（5月1日基準日）

※3 編入生を除く

※4 卒業率、進級率ともに入学者数に対する比率（休学者を除く）

【通信教育課程】
入学年度別進級者数・標準年限卒業者数推移表

※秋学期入学者数は翌年度に計上

(単位:人数、%)

学部 入学形態	入学年度	入学者数	3年次進級(ストレート)		4年次進級(ストレート)		標準年限卒業	
			人数	進級率	人数	進級率	卒業者	卒業率
こども 心理学部 (1年次入学)	平成28(2016)	75	42	56.0	36	48.0	30	40.0
	平成29(2017)	62	35	56.5	29	46.8	22	35.5
	平成30(2018)	75	43	57.3	35	46.7	30	40.0
	令和元(2019)	68	40	58.8	35	51.5	33	48.5
	令和2(2020)	77	44	57.1	30	39.0	-	-
	令和3(2021)	103	65	63.1	-	-	-	-
	令和4(2022)	108	-	-	-	-	-	-
こども 心理学部 (3年次編入)	平成28(2016)	313	-	-	-	-	107	34.2
	平成29(2017)	328	-	-	-	-	106	32.3
	平成30(2018)	346	-	-	-	-	105	30.3
	令和元(2019)	288	-	-	-	-	92	31.9
	令和2(2020)	271	-	-	-	-	89	32.8
	令和3(2021)	312	-	-	-	-	114	36.5
	令和4(2022)	369	-	-	-	-	-	-
モチベーション 行動科学部 (1年次入学)	平成28(2016)	28	12	42.9	10	35.7	9	32.1
	平成29(2017)	17	12	70.6	10	58.8	8	47.1
	平成30(2018)	17	7	41.2	7	41.2	7	41.2
	令和元(2019)	24	16	66.7	12	50.0	12	50.0
	令和2(2020)	25	16	64.0	16	64.0	-	-
	令和3(2021)	28	14	50.0	-	-	-	-
	令和4(2022)	30	-	-	-	-	-	-
モチベーション 行動科学部 (3年次編入)	平成28(2016)	27	-	-	-	-	17	63.0
	平成29(2017)	25	-	-	-	-	15	60.0
	平成30(2018)	21	-	-	-	-	8	38.1
	令和元(2019)	33	-	-	-	-	25	75.8
	令和2(2020)	39	-	-	-	-	28	71.8
	令和3(2021)	44	-	-	-	-	34	77.3
	令和4(2022)	40	-	-	-	-	-	-
(1年次入学) 合計	平成28(2016)	103	54	52.4	46	44.7	39	37.9
	平成29(2017)	79	47	59.5	39	49.4	30	38.0
	平成30(2018)	92	50	54.3	42	45.7	37	40.2
	令和元(2019)	92	56	60.9	47	51.1	45	48.9
	令和2(2020)	102	60	58.8	46	45.1	-	-
	令和3(2021)	131	79	60.3	-	-	-	-
	令和4(2022)	138	-	-	-	-	-	-
(3年次編入) 合計	平成28(2016)	340	-	-	-	-	124	36.5
	平成29(2017)	353	-	-	-	-	121	34.3
	平成30(2018)	367	-	-	-	-	113	30.8
	令和元(2019)	321	-	-	-	-	117	36.4
	令和2(2020)	310	-	-	-	-	117	37.7
	令和3(2021)	356	-	-	-	-	148	41.6
	令和4(2022)	409	-	-	-	-	-	-

【通学課程】
【標準年限】卒業者の専攻・学科別GPA分布推移表

【資料E-1】

(単位:人、%)

専攻・学科	入学年度	1.50以下	1.51-2.00	2.01-2.50	2.51-3.00	3.01-3.50	3.51-4.00	3.01以上
		構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率
心理専攻 (こども心理専攻)	平成28(2016)	1.3	2.6	14.3	26.0	35.1	20.8	55.8
	平成29(2017)	2.4	20.0	25.9	25.9	23.5	2.4	25.9
	平成30(2018)	3.0	14.1	23.2	31.3	21.2	7.1	28.3
	令和元(2019)	1.0	10.0	16.0	26.0	32.0	15.0	47.0
こども保育・教育専攻	平成28(2016)	1.1	5.5	30.1	30.6	28.4	4.4	32.8
	平成29(2017)	0.0	4.5	19.0	38.5	34.6	3.4	38.0
	平成30(2018)	1.2	4.1	13.5	38.6	37.4	5.3	42.7
	令和元(2019)	0.6	6.9	15.0	41.6	31.8	4.0	35.8
モチベーション行動科学科	平成28(2016)	18.8	18.8	25.0	12.5	18.8	6.3	25.0
	平成29(2017)	5.3	21.1	29.8	19.3	17.5	7.0	24.6
	平成30(2018)	3.8	13.5	30.8	26.9	17.3	7.7	25.0
	令和元(2019)	1.7	3.3	13.3	21.7	43.3	16.7	60.0
合計	平成28(2016)	3.1	6.2	25.3	27.4	29.1	8.9	38.0
	平成29(2017)	1.6	11.5	22.7	31.8	28.7	3.7	32.4
	平成30(2018)	2.2	8.7	19.3	34.5	29.2	6.2	35.4
	令和元(2019)	0.9	7.2	15.0	33.3	33.9	9.6	43.5

・2016年度より、評定の算出方法が変更となった影響でGPA算出方法も変更。よって2016年度前後で、GPA分布が大きく異なっている。

【通信教育課程】

【資料E-2】

【標準年限】卒業者の学部・入学形態別GPA分布推移表

(単位:人、%)

専門教育科目									
学部・入学形態	入学年度	1.50以下	1.51-2.00	2.01-2.50	2.51-3.00	3.01-3.50	3.51-4.00	3.01以上	
		構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	構成比率	
こども心理学部 (1年次入学)	平成28(2016)	2015秋入学生	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	57.1	85.7
		2016春入学生	0.0	0.0	8.7	30.4	47.8	13.0	60.9
	平成29(2017)		0.0	0.0	4.5	22.7	50.0	22.7	72.7
	平成30(2018)		0.0	0.0	10.0	33.3	33.3	23.3	56.7
	令和元(2019)		0.0	0.0	3.0	36.4	36.4	24.2	60.6
こども心理学部 (3年次編入)	平成28(2016)	2015秋入学生	0.0	0.0	0.0	6.1	12.1	81.8	93.9
		2016春入学生	0.0	0.0	4.1	13.5	37.8	44.6	82.4
	平成29(2017)		0.0	0.0	1.9	14.2	49.1	34.9	84.0
	平成30(2018)		0.0	0.0	2.9	17.1	54.3	25.7	80.0
	令和元(2019)		0.0	0.0	3.3	17.4	41.3	38.0	79.3
	令和2(2020)		0.0	0.0	5.6	11.2	48.3	34.8	83.1
	令和3(2021)		0.0	0.0	0.9	13.2	43.9	42.1	86.0
モチベーション 行動科学部 (1年次入学)	平成28(2016)	2015秋入学生	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	100.0
		2016春入学生	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	100.0
	平成29(2017)		0.0	0.0	0.0	37.5	50.0	12.5	62.5
	平成30(2018)		0.0	0.0	0.0	28.6	57.1	14.3	71.4
	令和元(2019)		0.0	0.0	16.7	25.0	41.7	16.7	58.3
モチベーション 行動科学部 (3年次編入)	平成28(2016)	2015秋入学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
		2016春入学生	0.0	0.0	0.0	18.2	45.5	36.4	81.8
	平成29(2017)		0.0	0.0	6.7	20.0	60.0	13.3	73.3
	平成30(2018)		0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	50.0
	令和元(2019)		0.0	0.0	8.0	8.0	60.0	24.0	84.0
	令和2(2020)		0.0	0.0	3.6	21.4	42.9	32.1	75.0
	令和3(2021)		0.0	0.0	2.9	14.7	47.1	35.3	82.4

- 各年度、4月1日時点での算出であるため、秋入学者は翌年度に計上。例) 2015年秋学期入学者は2016年度に計上・標準年限卒業者のみを集計の対象としている
- 2016年度より、評定の算出方法が変更となった影響でGPA算出方法も変更。したがって2016年度前後で、GPA分布が大きく異なっている。

【通学課程】

【資料F-1】

【標準年限】卒業者の資格・免許状取得状況

<心理専攻>

(単位:人、%)

認定心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	77	48	62.3
平成29(2017)	85	40	47.1
平成30(2018)	99	48	48.5
令和元(2019)	100	56	56.0

こども心理アドバイザー資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	77	4	5.2
平成29(2017)	85	15	17.6
平成30(2018)	99	9	9.1
令和元(2019)	100	6	6.0

こどもサポーター資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	77	8	10.4
平成29(2017)	85	24	28.2
平成30(2018)	99	38	38.4
令和元(2019)	100	31	31.0

レク・インストラクター資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	77	1	1.3
平成29(2017)	85	3	3.5
平成30(2018)	99	0	0.0
令和元(2019)	100	2	2.0

准学校心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
-	-	-	-
-	-	-	-
平成30(2018)	99	1	1.0
令和元(2019)	100	2	2.0

※令和2(2020)年度より開始

【通学課程】

【資料F-2】

【標準年限】卒業者の資格・免許状取得状況

<こども保育・教育専攻>

(単位:人、%)

保育士資格・幼稚園・小学校教員免許状取得者									
入学年度	卒業者数	①保育士のみ取得		②幼免のみ取得		③保育士・幼免取得		④小免のみ取得	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
平成28(2016)	183	7	3.8	8	4.4	137	74.9	1	0.5
平成29(2017)	179	17	9.5	1	0.6	129	72.1	2	1.1
平成30(2018)	171	11	6.4	8	4.7	121	70.8	3	1.8
令和元(2019)	173	11	6.4	9	5.2	103	59.5	6	3.5

入学年度	卒業者数	⑤幼免・小免取得		資格・免許未取得		①+②+③+⑤		④+⑤	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
平成28(2016)	183	16	8.7	14	7.7	168	91.8	17	9.3
平成29(2017)	179	18	10.1	12	6.7	165	92.2	20	11.2
平成30(2018)	171	23	13.5	5	2.9	163	95.3	26	15.2
令和元(2019)	173	23	13.3	21	12.1	146	84.4	29	16.8

入学年度	卒業者数	①+②+③+④+⑤	
		人数	取得率
平成28(2016)	183	169	92.3
平成29(2017)	179	167	93.3
平成30(2018)	171	166	97.1
令和元(2019)	173	152	87.9

認定ベビーシッター資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	183	47	25.7
平成29(2017)	179	88	49.2
平成30(2018)	171	75	43.9
令和元(2019)	173	89	51.4

准学校心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
—	—	—	—
平成29(2017)	179	18	10.1
平成30(2018)	171	4	2.3
令和元(2019)	173	3	1.7

*令和2(2020)年度より開始

レク・インストラクター資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	183	2	1.1
平成29(2017)	179	5	2.8
平成30(2018)	171	0	0.0
令和元(2019)	173	8	4.6

【通学課程】

【資料F-3】

【標準年限】卒業者の資格・免許状取得状況

<モチベーション行動科学部>

(単位:人、%)

中学校・高等学校教員免許状取得者							
入学年度	卒業者数	中免取得者		高免取得者		合計	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
平成28(2016)	32	0	0.0	0	0.0	0	0.0
平成29(2017)	57	3	5.3	3	5.3	6	10.5
平成30(2018)	52	0	0.0	0	0.0	0	0.0
令和元(2019)	52	1	1.9	1	1.9	2	3.8

公認モチベーション・マネジャーBasic			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	32	20	62.5
平成29(2017)	57	17	29.8
平成30(2018)	52	15	28.8
令和元(2019)	60	25	41.7

認定心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	32	3	9.4
平成29(2017)	57	7	12.3
平成30(2018)	52	3	5.8
令和元(2019)	60	9	15.0

レク・インストラクター資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	32	2	6.3
平成29(2017)	61	4	6.6
平成30(2018)	52	0	0.0
令和元(2019)	60	0	0.0

社会調査士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	32	11	34.4
平成29(2017)	57	11	19.3
平成30(2018)	52	4	7.7
令和元(2019)	60	8	13.3

准学校心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
—	—	—	—
—	—	—	—
平成30(2018)	52	1	1.9
令和元(2019)	60	0	0.0

※令和2(2020)年度より開始

【通信教育課程】

【資料F-4】

【標準年限】卒業者の資格・免許状取得状況

秋入学生は翌年度に計上

<こども心理学部> 1年次入学

(単位:人、%)

入学年度	卒業者数	幼免のみ取得者		小免のみ取得者		幼免・小免取得者		教員免許状取得者合計	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
平成28(2016)	30	5	16.7	14	46.7	2	6.7	21	70.0
平成29(2017)	22	2	9.1	10	45.5	3	13.6	15	68.2
平成30(2018)	30	6	20.0	15	50.0	3	10.0	24	80.0
令和元(2019)	33	3	9.1	9	27.3	4	12.1	16	48.5

認定心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	30	11	36.7
平成29(2017)	22	9	40.9
平成30(2018)	30	9	30.0
令和元(2019)	33	14	42.4

レク・インストラクター資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	30	2	6.7
平成29(2017)	22	0	0.0
平成30(2018)	30	0	0.0
令和元(2019)	—	—	—

*令和元(2019)年度以降の入学者より取得不可

<こども心理学部> 3年次編入

入学年度	卒業者数	幼免取得者		小免取得者		教員免許状取得者合計	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
平成28(2016)	107	31	29.0	37	34.6	68	63.6
平成29(2017)	106	28	26.4	35	33.0	63	59.4
平成30(2018)	105	26	24.8	35	33.3	61	58.1
令和元(2019)	92	27	29.3	29	31.5	56	60.9
令和2(2020)	89	25	28.1	34	38.2	59	66.3
令和3(2021)	114	33	28.9	24	21.1	57	50.0

認定心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	107	35	32.7
平成29(2017)	106	36	34.0
平成30(2018)	105	33	31.4
令和元(2019)	92	28	30.4
令和2(2020)	89	24	27.0
令和3(2021)	114	34	29.8

【通信教育課程】

【資料F-5】

【標準年限】卒業者の資格・免許状取得状況

秋入学生は翌年度に計上

<モチベーション行動科学部> 1年次入学

(単位:人、%)

認定心理士資格取得			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	9	6	66.7
平成29(2017)	8	7	87.5
平成30(2018)	7	5	71.4
令和元(2019)	12	7	58.3

公認モチベーション・マネジャーBasic			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	9	9	100.0
平成29(2017)	8	8	100.0
平成30(2018)	7	6	85.7
令和元(2019)	12	11	91.7

レク・インストラクター資格取得			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	9	0	0.0
平成29(2017)	8	0	0.0
平成30(2018)	7	1	14.3
令和元(2019)	—	—	—

※2019年度以降の入学者から取得不可

<モチベーション行動科学部> 3年次編入

(単位:人、%)

認定心理士資格取得者			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	17	14	82.4
平成29(2017)	15	8	53.3
平成30(2018)	8	5	62.5
令和元(2019)	25	15	60.0
令和2(2020)	28	16	57.1
令和3(2021)	34	21	61.8

公認モチベーション・マネジャーBasic			
入学年度	卒業者数	人数	取得率
平成28(2016)	17	17	100.0
平成29(2017)	15	13	86.7
平成30(2018)	8	8	100.0
令和元(2019)	25	20	80.0
令和2(2020)	28	23	82.1
令和3(2021)	34	29	85.3

・通信では、教員免許状取得、認定心理士、モチベーション・マネジャーBasic資格取得の実態を把握できない。理由は次の通り。このため参考値となる。

①課程の特性上、全員回答を目的とした資格取得調査が困難であること。

②教員免許申請が大学一括によるものではなく、在籍関係が終了した後、学生が個人で申請をしていること。

・上記の理由から、実際に資格・免許を申請・取得した人数ではなく、資格取得にかかる要件を充足した者を集計している。

【資料G-1】

卒業時アンケート

(単位:%)

	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生				
	満足	どちらかといふ れば満足	どちらかといふは 満足していない	満足して いない	満足以上	満足	どちらかといふ れば満足	どちらかといふは 満足していない	満足して いない	満足以上
授業全般満足度	21.9	59.4	14.8	3.9	81.3	20.4	61.3	15.3	3.0	81.7
心理専攻	26.8	55.4	14.3	3.5	82.2	12.8	65.4	17.9	3.8	78.2
こども保育・教育専攻	18.1	62.7	15.7	3.5	80.8	23.9	61.1	13.3	1.8	85.0
モチベーション行動科学部	30.3	51.5	12.1	6.1	81.8	25.0	54.5	15.9	4.5	79.5
未来祭・学園祭満足度	27.0	44.5	18.4	10.1	71.5	35.2	43.3	14.2	7.3	78.5
心理専攻	21.4	51.8	16.1	10.7	73.2	22.1	48.1	20.8	9.1	70.2
こども保育・教育専攻	30.7	43.4	16.3	9.6	74.1	44.2	42.5	9.7	3.5	86.7
モチベーション行動科学部	27.3	33.3	15.2	24.2	60.6	34.9	37.2	14.0	14.0	72.1

出席率	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生				
	100%	80~ 99%	50~ 79%	50%未満	80%以上	100%	80~ 99%	50~ 79%	50%未満	80%以上
出席率	22.4	57.6	15.7	4.3	80.0	41.9	46.2	10.6	1.3	88.1
心理専攻	26.8	44.6	25.0	3.6	71.4	38.5	48.6	11.6	1.3	87.1
こども保育・教育専攻	19.9	65.1	10.8	4.2	84.9	50.0	41.2	7.9	0.9	91.2
モチベーション行動科学部	27.3	42.4	24.2	6.1	69.7	27.3	54.5	15.9	2.3	81.8

1週間あたりの 学習時間	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生				
	10時間 以上	5~10 時間くらい	2~5 時間くらい	2時間 未満	5時間 以上	10時間 以上	5~10 時間くらい	2~5 時間くらい	2時間 未満	5時間 以上
学習時間	3.5	5.4	16.7	74.4	8.9	2.1	2.1	20.0	75.8	4.2
心理専攻	1.7	6.9	24.1	67.3	8.6	2.6	2.6	20.4	74.4	5.2
こども保育・教育専攻	2.4	3.6	13.3	80.7	6.0	1.8	2.6	18.4	77.2	4.4
モチベーション行動科学部	12.1	12.1	21.2	54.6	24.2	2.3	0.0	22.7	75.0	2.3

未来祭、三幸フェスを経験 することで社会に出て役立つ力を身につけられたか	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生				
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない ない	以上	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない ない	以上
未来祭	16.4	43.4	21.9	18.3	59.8	15.7	47.0	20.8	16.5	62.7
心理専攻	14.3	42.9	23.2	19.6	57.2	9.0	48.7	25.6	16.7	57.7
こども保育・教育専攻	16.9	44.0	22.9	16.2	60.9	22.8	44.7	17.5	15.0	67.5
モチベーション行動科学部	15.2	42.4	15.2	27.2	57.6	9.1	50.0	20.5	20.4	59.1
三幸フェスティバル	19.1	34.8	24.6	21.5	53.9	20.4	39.1	22.1	18.4	59.5
心理専攻	19.6	30.4	32.1	17.9	50.0	12.8	43.6	24.4	19.2	56.4
こども保育・教育専攻	20.5	37.3	22.3	19.9	57.8	29.2	36.3	19.5	15.0	65.5
モチベーション行動科学部	9.1	30.3	24.2	36.4	39.4	11.4	38.6	25.0	25.0	50.0

<希望通りの進路であったか>

希望通りの進路で あったか	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生				
	希望通り	ほぼ 希望通り	少し 希望と違う	希望と 違う	決まって いない	希望通り	ほぼ 希望通り	少し 希望と違う	希望と 違う	決まって いない
希望通りの進路	43.1	31.4	13.7	6.3	5.5	40.7	27.1	16.5	5.9	9.8
心理専攻	23.2	33.9	25.0	10.8	7.1	32.1	23.1	24.4	7.7	12.7
こども保育・教育専攻	55.4	28.9	10.2	1.3	4.2	50.9	28.9	11.4	1.8	7.0
モチベーション行動科学部	15.2	39.4	12.1	24.2	9.1	29.5	29.5	15.9	13.6	11.5

【資料G-2】

卒業時アンケート

<入学して目標としたことの達成>

入学時に目標としたことは達成できたと思うか	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生				
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	以上	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	以上
目標の達成	22.7	49.8	19.6	7.9	72.5	18.8	52.1	17.5	11.6	70.9
心理専攻	19.6	48.2	23.2	9.0	67.8	15.6	49.4	16.9	18.1	65.0
こども保育・教育専攻	21.7	55.4	16.3	6.6	77.1	19.5	57.5	14.2	8.8	77.0
モチベーション行動科学部	33.3	24.2	30.3	12.2	57.5	22.7	43.2	27.3	6.8	65.9

<大学で身に付いた力>

社会性:コミュニケーションの力、協働する力

倫理観:自己を統べる力

創造力:創造し表現する力

市民性:社会の一員として責任ある行動をする力

生涯学習力:常に学び、向上を続ける態度

受容性:自分たちの文化、異文化を理解し認める力

問題解決力:情報収集－分析－解釈－表現・発信する力

	令和元(2019)年度卒業生					令和3(2021)年度卒業生				
	とても身に付いた	身に付いた	どちらともいえない	あまり身に付かなかつた	全く身に付かなかつた	とても身に付いた	身に付いた	どちらともいえない	あまり身に付かなかつた	全く身に付かなかつた
社会性	15.3	56.5	18.0	6.7	3.5	20.1	56.4	16.7	3.8	3.0
心理専攻	23.2	46.4	19.6	8.9	1.9	11.8	55.3	22.4	6.6	3.9
こども保育・教育専攻	12.7	59.0	18.7	6.0	3.6	30.7	52.6	13.2	0.9	2.6
モチベーション行動科学部	15.2	60.6	12.1	6.1	6.0	6.8	68.2	15.9	6.8	2.3
市民性	13.7	55.7	19.6	6.3	4.7	16.6	56.2	20.9	3.4	2.9
心理専攻	19.6	53.6	16.1	7.1	3.6	14.3	49.4	26.0	6.5	3.8
こども保育・教育専攻	10.8	57.2	22.3	5.4	4.3	20.2	57.9	18.4	0.9	2.6
モチベーション行動科学部	18.2	51.5	12.1	9.1	9.1	11.4	63.6	18.2	4.5	2.3
受容性	17.6	56.9	16.9	5.1	3.5	22.7	56.7	14.6	3.9	2.1
心理専攻	23.2	53.6	12.5	7.1	3.6	16.9	53.2	19.5	6.5	3.9
こども保育・教育専攻	13.9	59.0	19.3	4.8	3.0	25.7	57.5	13.3	1.8	1.7
モチベーション行動科学部	27.3	51.5	12.1	3.0	6.1	25.6	60.5	9.3	4.6	0.0
倫理観	12.2	52.9	25.1	6.7	3.1	20.4	52.3	19.6	3.8	3.9
心理専攻	14.3	53.6	21.4	8.9	1.8	18.2	48.1	24.7	5.2	3.8
こども保育・教育専攻	10.2	53.0	28.9	4.8	3.1	20.2	54.4	19.3	3.5	2.6
モチベーション行動科学部	18.2	51.5	12.1	12.1	6.1	25.0	54.5	11.4	2.3	6.8
生涯学習力	13.3	47.5	29.4	7.1	2.7	15.8	49.1	23.1	7.7	4.3
心理専攻	17.9	51.8	23.2	5.4	1.7	11.8	40.8	30.3	11.8	5.3
こども保育・教育専攻	10.8	47.6	31.9	7.2	2.5	19.3	55.3	18.4	4.4	2.6
モチベーション行動科学部	18.2	39.4	27.3	9.1	6.0	13.6	47.7	22.7	9.1	6.9
課題解決力	18.8	44.7	24.7	7.5	4.3	14.5	53.6	23.0	4.7	4.2
心理専攻	21.4	46.4	19.6	8.9	3.7	13.0	49.4	26.0	5.2	6.4
こども保育・教育専攻	12.7	48.8	26.5	7.8	4.2	15.8	57.0	20.2	4.4	2.6
モチベーション行動科学部	45.5	21.2	24.2	3.0	6.1	13.6	52.3	25.0	4.5	4.6
創造力	15.7	49.0	25.1	7.1	3.1	16.3	45.5	25.8	6.4	6.0
心理専攻	16.1	46.4	23.2	14.3	0.0	11.8	40.8	34.2	5.3	7.9
こども保育・教育専攻	15.1	50.0	26.5	4.8	3.6	19.5	51.3	22.1	3.5	3.6
モチベーション行動科学部	18.2	48.5	21.1	6.1	6.1	15.9	38.6	20.5	15.9	9.1

<卒業時に不足している力>

下記から当てはまるものを複数回答	令和元(2019)年度卒業生 256人	令和3(2021)年度卒業生 239人	令和4(2022)年度卒業生 350人
一般教養	105	114	完
専門知識・技術	122	103	1 成
積極性・行動力	100	103	0 は
社会人としてのマナー	75	74	月 令
就職への意欲	67	69	こ 和
取得資格	63	63	ろ 5
就職情報量	45	46	年
特にない	21	17	

【標準年限】卒業者の就職先推移

[十一
卷之三]

【資料 I】

2022年度 インスティテューショナルリサーチセンター管理運営委員会

身につけるべき学士力調査

目的

学士力の基礎資料を得る。

対象

2022年3月卒業生を対象とした。回答者は、心理専攻（以下、心理）84名、こども保育・教育専攻（以下、保育教育）118名、モチベーション行動科学部（以下、モチベ）56名である。

結果と考察

汎用スキルについて、本学の卒業生は「②意見や立場の違いを理解し、受け入れることができる。」「⑫相手の意見を丁寧に聞くことができる。」「⑭他者と協調して行動できる。」「⑯自己の良心及び法規範・社会のルールに従って行動できる。」といった他者の立場の違いを認めコミュニケーションすることや他者と協調して活動すること、社会のルールや規範に従い行動することについて、90%近くが身につけることができたと評価している。また、「⑮他者に目標や方向性を示し、その実現のために行動できる。」「⑯状況や変化に沈着な対応を行い、適正な行動ができる。」では70%近くが身につけることが出来たと評価している。

一方で、「⑪自分の意見をわかりやすく伝えることができる」については20%程度、「⑩既存の知識を活用して、新しい価値(アイデア、生産物、方法等)を生みだせる。」「⑦情報を構造化し、分析・評価・統合し、倫理的に活用できる。」「⑧自然や社会的事象について、様々な表現方法を用いて分析し、他者に伝達できる。」「⑨情報や知識を多角的・論理的に分析し、表現できる。」については15~18%程度の卒業生が身につけることができなかつたと評価していた。

これらの結果から、本学の卒業生の多くは、周囲の対人関係に気を配り、諦めずコミュニケーションする力を獲得し、他者と共に状況に応じて行動することが出来ているが、問題を多角的に分析したり、既存知識を活かして新たな価値を見いだすことや、適切な表現や主張を行うことなどには不十分さを感じていることが明らかになった。

【資料 I】

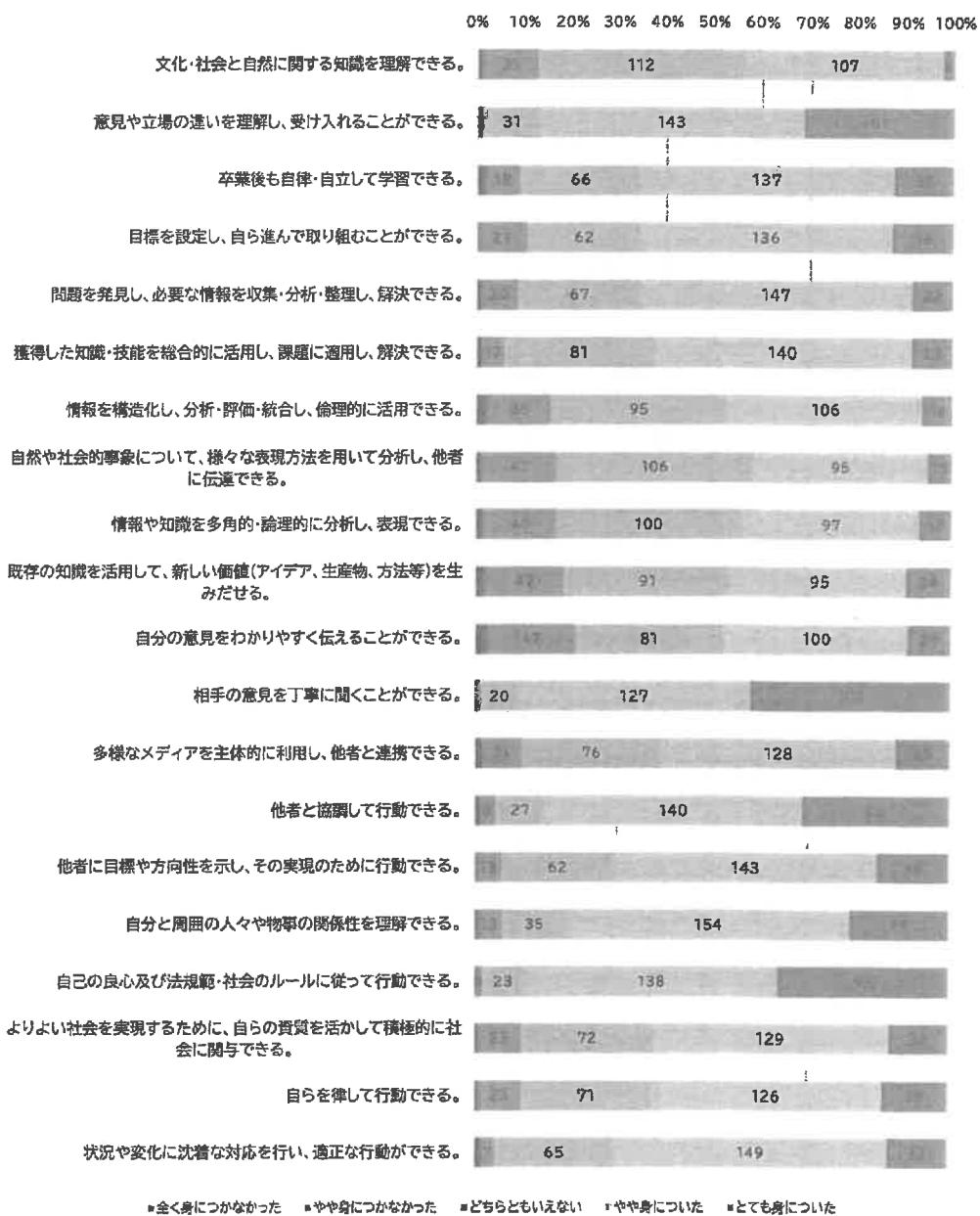
表1 汎用スキル（全体）の平均と標準偏差

項目	平均	SD	検定
1 文化・社会と自然に関する知識を理解できる。	3.35	2.23	心理<モチベ
2 意見や立場の違いを理解し、受け入れることができる。	4.16	2.02	
3 卒業後も自律・自立して学習できる。	3.65	2.56	心理<保育教育
4 目標を設定し、自ら進んで取り組むことができる。	3.67	2.55	
5 問題を発見し、必要な情報を収集・分析・整理し、解決できる。	3.64	2.38	
6 獲得した知識・技能を総合的に活用し、課題に適用し、解決できる。	3.62	2.28	心理<保育教育
7 情報を構造化し、分析・評価・統合し、倫理的に活用できる。	3.37	2.68	
8 自然や社会的事象について、様々な表現方法を用いて分析し、他者に伝達できる。	3.27	2.57	
9 情報や知識を多角的・論理的に分析し、表現できる。	3.33	2.65	
10 既存の知識を活用して、新しい価値(アイデア、生産物、方法等)を生みだせる。	3.32	2.88	
11 自分の意見をわかりやすく伝えることができる。	3.31	2.92	
12 相手の意見を丁寧に聞くことができる。	4.30	2.09	
13 多様なメディアを主体的に利用し、他者と連携できる。	3.59	2.59	心理<保育教育
14 他者と協調して行動できる。	4.08	2.41	心理<保育教育
15 他者に目標や方向性を示し、その実現のために行動できる。	3.77	2.35	心理<保育教育
16 自分と周囲の人々や物事の関係性を理解できる。	3.94	2.39	
17 自己の良心及び法規範・社会のルールに従って行動できる。	4.23	2.04	
18 よりよい社会を実現するために、自らの資質を活かして積極的に社会に関与できる。	3.62	2.60	
19 自らを律して行動できる。	3.66	2.65	
20 状況や変化に沈着な対応を行い、適正な行動ができる。	3.78	2.31	

*検定では分散分析を行った。多重比較においても有意であった項目について記載した。

【資料 I】

図1 汎用スキルについての評価分布



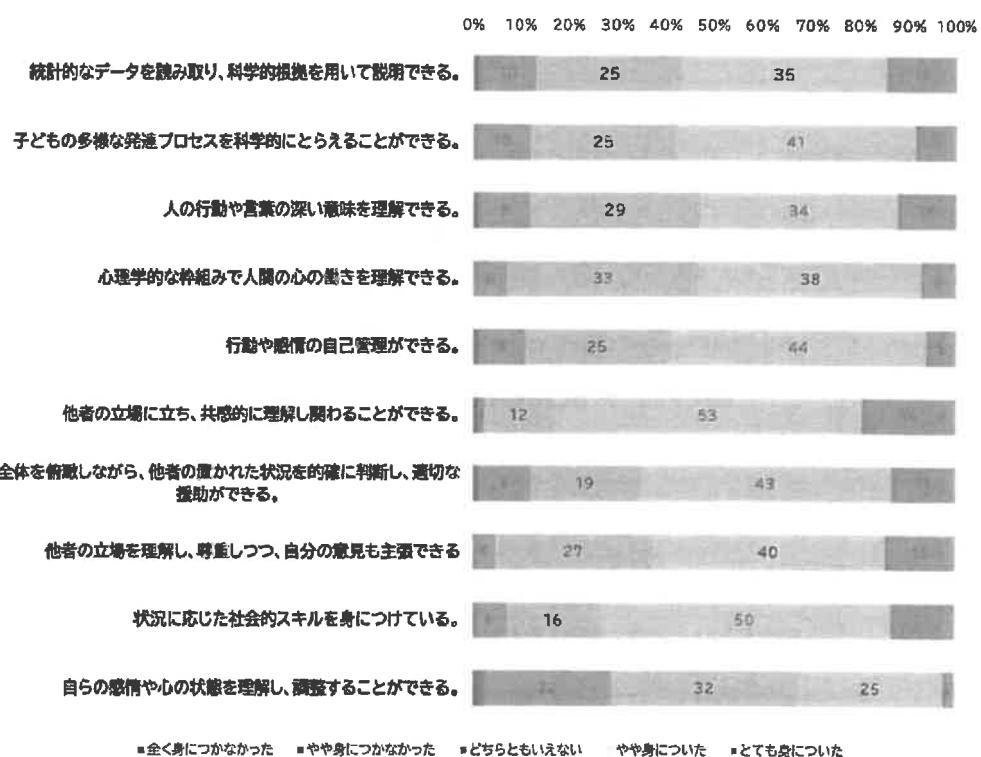
【資料 I】

専門スキル（心理専攻）

心理専攻における専門スキルの獲得では、⑨社会的スキルの獲得や⑥共感的理解については7割以上が身に付いたと評価している。一方で⑩感情調整については、3割程度にとどまっている。

これらのことから、卒業生は社会における振舞いやコミュニケーションについて獲得できているが、心理的なセルフコントロールや心理的な機序の理解については不十分であると捉えているといえるだろう。

図2 専門スキル（心理専攻）についての評価分布



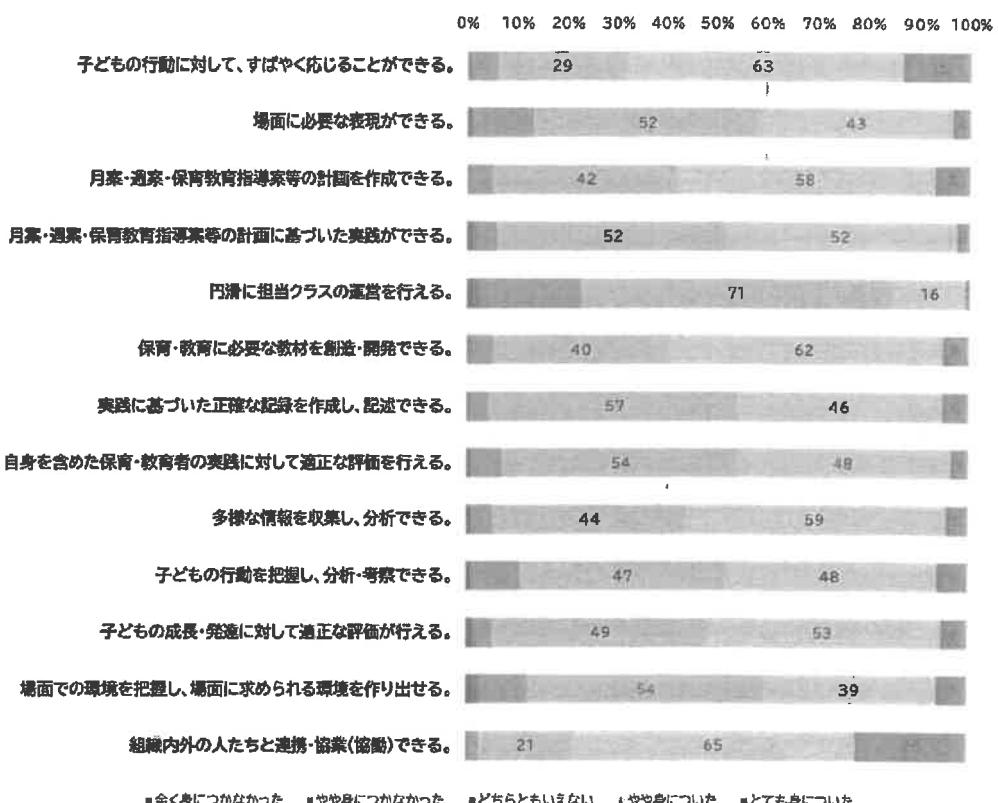
【資料 I】

専門スキル（こども保育・教育専攻）

こども保育・教育専攻における専門スキルの獲得では、⑬組織内外の協働や①子どもの行動への応答について、7割近くが獲得できていると評価している。一方で、⑤円滑なクラス運営については15%以下に留まっていた。

このような結果から、実習などを通して保育者間の協働や個別のことへの対応などについて獲得に自信を持つことができたものの、クラスなど集団での活動がコロナ禍における実習が制限下で行われたことから、クラス運営についての課題がうかがわれた。

図3 専門スキル（こども保育・教育専攻）についての評価分布



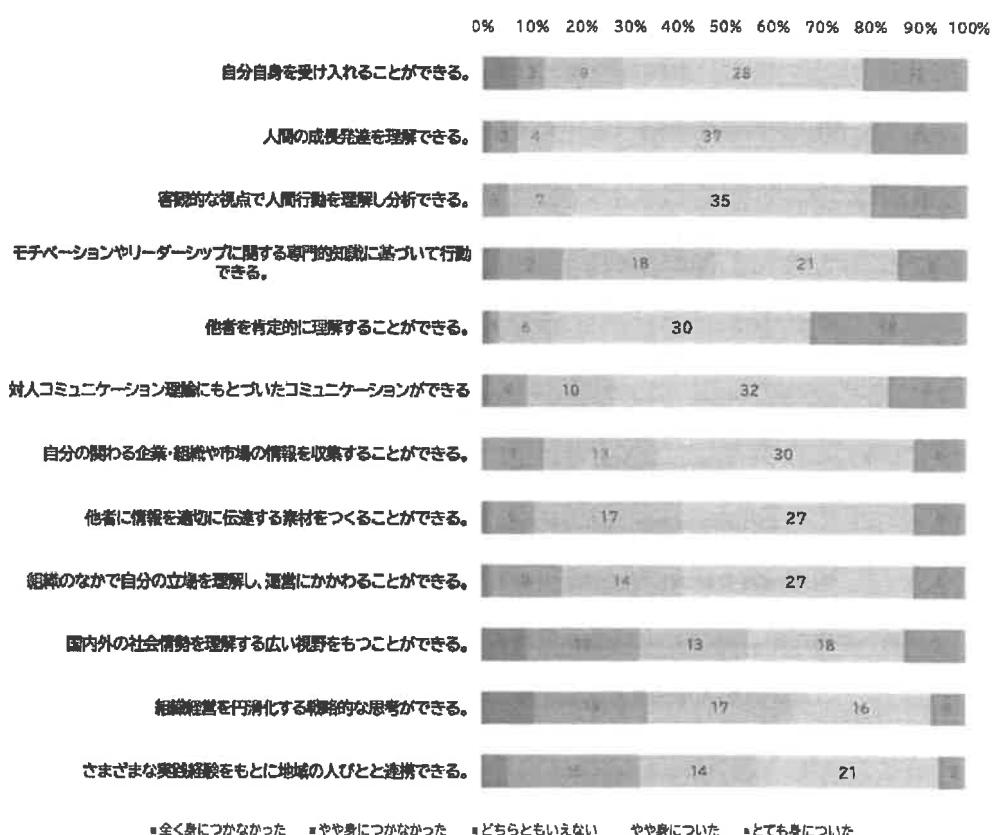
【資料 I】

専門スキル（モチベーション行動科学部）

モチベーション行動科学部における専門スキルの獲得では、②成長発達の理解や③客観的な人間行動の理解、⑤他者に対する肯定的理義については、8割以上の卒業生が獲得できていると評価している。一方で、⑩社会情勢の理解や⑪経営についての戦略的思考、⑫地域の人々との連携については、やや獲得ができていないと評価する学生が多かった。

これらのことから、他者との肯定的コミュニケーションやその理解、客観的な視点などを獲得することができているといえるが、地域社会との連携などコロナ禍の制限によって制約を受けた内容が低く評価されていた。

図4 専門スキル（モチベーション行動科学部）についての評価分布



【資料】-1

心理専攻「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

カリキュラム・ポリシー(CP)

幅広い教養及びキャリア教育を1年次から履修することと同時に、子どもを中心としたあらゆる年代の人の心理と行動の理解を基盤とした以下の教育を行う。

- 心理学の様々な領域における体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。
- 心理学以外の分野の学び、また、人と家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりを通して、人間理解を深める。
- 卒業研究科目では、こども心理演習Ⅰ(3年次)、こども心理演習Ⅱ(3年次)、卒業研究・卒業論文を必修として全員に課し、学問研究を深める。
- 本学の共通及び専攻が指定する学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)の形成を目指す。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 心理学の様々な領域における体系的・実践的な知識・技能を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2) 心理学以外の分野の学び、また、人と家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりを通して、人間理解を深めることができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 卒業研究科目を通して、学問研究を深めることができる。(3年生以上回答)	6	5	4	3	2	1
(4) 学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)が身についている。	6	5	4	3	2	1
(5) 一般教養科目、専門教育科目、キャリア科目の下に科目を体系的に編成した講義、演習、実習の授業を受けることができる。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1) 体系的・実践的な知識・技能。	4.43	91.2%	8.8%	4.37	79.3%	20.7%			
(2) 人間理解を深める。	4.51	90.9%	9.1%	4.48	83.3%	16.7%			
(3) 学問研究を深める(3年生)。	4.61	92.4%	7.6%	4.48	81.4%	18.6%			
(4) 学士力が身についている。	4.48	91.9%	8.1%	4.38	80.8%	19.2%			
(5) 講義、演習、実習の受講。	4.45	92.4%	7.6%	4.34	80.8%	19.2%			

【資料J-2】

こども保育・教育専攻「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

カリキュラム・ポリシー(CP)

幅広い教養及びキャリア教育を1年次から履修することと同時に、子どもの「こころ」と「からだ」の健全な発達の理解を基盤とした以下の教育を行う。

- 子ども理解に根ざした心理学・保育学・教育学・福祉学等に関する体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。
- 子どもの「育ち」と家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりについて理解を深める。
- 卒業研究科目では、こども保育・教育演習Ⅰ(3年次)、こども保育・教育演習Ⅱ(3年次)、卒業研究・卒業論文を必修として全員に課し、学問研究を深める。
- 本学の共通及び専攻が指定する学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）の形成を目指す。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 子ども理解に根ざした心理学・保育学・教育学・福祉学等に関する体系的・実践的な知識・技能を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2) 子どもの「育ち」と家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりについて理解を深めることができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 卒業研究科目を通して、学問研究を深めることができる。(3年生以上回答)	6	5	4	3	2	1
(4) 学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）が身についている。	6	5	4	3	2	1
(5) 一般教養科目、専門教育科目、キャリア科目の下に科目を体系的に編成した講義、演習、実習の授業を受けることができる。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1) 体系的・実践的な知識・技能	4.63	93.9%	6.1%	4.36	83.1%	16.9%			
(2) 家庭、社会、環境、文化の理解	4.66	93.7%	6.3%	4.39	83.3%	16.7%			
(3) 学問研究を深める(3年生)。	4.64	92.0%	8.0%	4.38	79.3%	20.7%			
(4) 学士力が身についている。	4.55	90.9%	9.1%	4.43	83.1%	16.9%			
(5) 講義、演習、実習の受講。	4.53	92.5%	7.5%	4.49	84.2%	15.8%			

【資料J-3】

モチベーション行動科学部「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

カリキュラム・ポリシー(CP)

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能の修得を円滑に進めることができるよう、一般教育科目、専門教育科目、キャリア科目、演習科目の下に科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。

(1)一般教育科目では、社会・文化・自然に対する視点や考え方を育てることを目的とする教養科目、憲法、体育、情報、語学を学び、英語においては習熟度に基づいたクラス編成を行い、学生自身の理解度と学習進度に合った授業を行う。

(2)専門教育科目は、心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群を必修とする。このうち、学びの基盤となるのは心理・コミュニケーション科目群であり、この科目群に置かれた科目を学ぶ中で、モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーション・スキルを身につけ、さらに経営科目群、教育科目群に置かれた科目を学ぶことで、各科目群が複合的に結びつき、広い視野での学びを可能にする。

(3)キャリア科目では、学内外で社会に触れる機会を設け、知識・技能を実践に活かす力を身につけることを目的に、早い時期からのキャリア教育に取り組む。

(4)プロジェクト（課程外活動）を通して、個人を見つめ、他者と関わり、組織を動かす自立した人間性や心の豊かさの充実を図る。

(5)幅広い教養及びキャリア教育及び専門科目を1年次から同時に履修するとともに、通学課程の演習科目では、1年次から卒業時まで学生一人一人の学修を促進するために、基礎演習（1年～2年次）、専門演習（3年次）、卒業研究（4年次）を必修とする。また、単位には含まれないが、学生は複数の専門演習やゼミに参加することも認められ（「ダブル・ゼミ」）、複合的な視点から学修を進める。

＜設問項目＞

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1)モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2)学内外で社会に触れる機会があり、知識・技能を実践に活かす力を身につけることを目的とした、キャリア教育を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(3)プロジェクト（課程外活動）を通して、個人を見つめ、他者と関わり、組織を動かす自立した人間性や心の豊かさを学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(4)1年次から卒業時まで学生一人一人の学修を促進するために、基礎演習（1年～2年次）、専門演習（3年次）、卒業研究（4年次）を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(5)一般教養科目、専門教育科目、キャリア科目の下に科目を体系的に編成した講義、演習、実習の授業を受けることができる。	6	5	4	3	2	1

＜分析結果＞

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)モチベーション行動科学の基礎を学ぶ。	4.48	89.9%	10.1%	4.23	82.0%	18.0%			
(2)キャリア教育を学ぶ。	4.42	87.7%	12.3%	4.26	76.6%	23.4%			
(3)人間性、心の豊かさを学ぶ。	4.61	92.0%	8.0%	4.25	74.3%	25.7%			
(4)基礎演習、専門演習、卒業研究	4.69	91.3%	8.7%	4.52	85.0%	15.0%			
(5)講義、演習、実習の受講。	4.67	92.9%	7.1%	4.34	83.8%	16.2%			

【通信教育課程】

【資料J-4】

こども心理学部「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

カリキュラム・ポリシー(CP)

幅広い教養を1年次から履修することと同時に、子どもを中心とした心理と行動の理解及び子どもの「こころ」と「からだ」の健全な発達の理解を基盤とした以下の教育を行う。
○こども心理学の様々な領域における体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。
○子ども理解に根ざした心理学、保育学、教育学、福祉学等に関する体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。
○子どもの家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりについて理解を深める。
○選択により卒業研究科目として、こども心理学演習(3年次)、卒業研究(4年次)を履修し学問研究を深めることができ、多様な学びに対応する。
○本学の共通及び通信教育課程が指定する学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）の形成を目指す。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1)こども心理学の様々な領域における体系的・実践的な知識・技能を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2)子ども理解に根ざした心理学、保育学、教育学、福祉学等に関する体系的・実践的な知識・技能を学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(3)子どもの家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりについて理解を深めることができる。	6	5	4	3	2	1
(4)選択により卒業研究科目として、こども心理学演習(3年次)、卒業研究(4年次)を履修することができる。	6	5	4	3	2	1
(5)本学の共通及び通信教育課程が指定する学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）の形成を目指すことができる。	6	5	4	3	2	1
(6)一般教養科目、専門教育科目の下に科目を体系的に編成した講義、演習、実習の授業を受けることができる。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)体系的・実践的な知識・技能の学修	5.08	97.9%	2.1%	5.03	97.5%	2.5%			
(2)心理学、保育学、教育学等学修	5.24	96.8%	3.2%	5.19	98.9%	1.1%			
(3)子どもと社会等との関わり	5.06	94.7%	5.3%	5.05	97.5%	2.5%			
(4)心理学演習、卒業研究の履修。	4.42	80.4%	19.6%	4.40	81.5%	18.5%			
(5)学士力の形成を目指せる。	4.69	90.5%	9.5%	4.77	92.0%	8.0%			
(6)講義、演習、実習の受講。	4.97	95.3%	4.7%	5.08	96.4%	3.6%			

【通信教育課程】

【資料J-5】

モチベーション行動科学部「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

カリキュラム・ポリシー(CP)

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能の修得を円滑に進めることができるよう、一般教育科目、専門教育科目を体系的に編成し、テキスト科目、スクーリング科目、メディア科目を有機的に連携させた授業を開講する。

(1)一般教育科目では、社会・文化・自然に対する視点や考え方を育てることを目的とする教養科目、憲法、体育、情報、語学を学び、英語においては習熟度に基づいたクラス編成を行い、学生自身の理解度と学習進度に合った授業を行う。

(2)専門教育科目は、心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群を必修とする。このうち、学びの基盤となるのは心理・コミュニケーション科目群であり、この科目群に置かれた科目を学ぶ中で、モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーション・スキルを身につけ、さらに経営科目群、教育科目群におかれた科目を学ぶことで、各科目群が複合的に結びつき、広い視野での学びを可能にする。

(3)通信教育課程では選択により卒業研究科目として、演習Ⅰ(3年次)、演習Ⅱ(3年次)、卒業研究(4年次)を履修し学問研究を深めることができ、多様な学びに対応する。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1)モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーション・スキルを学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2)卒業研究科目として、演習Ⅰ(3年次)、演習Ⅱ(3年次)、卒業研究(4年次)を履修し学問研究を深めることができる。	6	5	4	3	2	1
(3)一般教養科目、専門教育科目、キャリア科目の下に科目を体系的に編成したテキスト科目、スクーリング科目、メディア科目を有機的に連携させた授業を受けることができる。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)モチベ科学の基礎を学ぶ。	5.04	91.7%	8.3%	4.97	97.2%	2.8%			
(2)演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究で学問研究	4.38	77.1%	22.9%	3.93	73.2%	26.8%			
(3)テキスト科目、スクーリング科目、メディア科目の受講	4.93	93.3%	6.7%	4.82	90.9%	9.1%			

【通学課程】
授業評価アンケート

【資料K-1】

カテゴリー	質問項目	そう思う 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
授業準備 ・内容	1. 準備されていた教材（配布資料、動画、スライドなど）は十分だったと思いますか。	5	4	3	2	1
	2. 授業の内容は、授業のテーマ（授業名やシラバス）に沿っていたと思いますか。	5	4	3	2	1
授業方法	3. 質問をする機会は十分あったと思いますか。	5	4	3	2	1
	4. 自ら学ぶように促されたと思いますか。	5	4	3	2	1
教員の 意欲	5. 教員は、はっきりとした声で説明をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	6. 教員は、具体例を挙げる、まとめを行うなどの工夫をし、わかりやすく説明していたと思いますか。	5	4	3	2	1
学ぶ意欲	7. 教員は、学びやすい授業環境を作るよう努めていたと思いますか。（遠隔授業では、授業の受け方や配布資料の活用方法の説明、CoLSのお知らせ配信など。対面授業では、開始・終了時の挨拶や私語への注意など。）	5	4	3	2	1
	8. あなたは、この授業によって身についたものに満足できますか。	5	4	3	2	1
計画的な受講	9. あなたは、この授業を受けたことがない人に薦めたいと思いますか。	5	4	3	2	1
	10. あなたは、授業に参加するにあたって十分な準備をして臨みましたか。	5	4	3	2	1
	11. あなたは、授業中に関心をもった内容について深く考えましたか。	5	4	3	2	1
	12. あなたは、時間を決めて受講するなど、この授業を計画的に受けられましたか。（遠隔で実施された授業があった場合のみ回答してください。）	5	4	3	2	1
	質問項目	多い	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少ない
課題の■	13. この授業の課題の■はどうでしたか。	5	4	3	2	1
	質問項目	難し	やや難しい	ちょうどよい	やや易しい	易しい
難易度	14 授業の難しさ・易しさはどうでしたか。	5	4	3	2	1

<通学・全学>

N:データ数、M:平均値、SD:標準偏差

項目番号	令和3(2021)年度						令和4(2022)年度					
	春学期			秋学期			春学期			秋学期		
	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
1	7,260	4.49	0.77	6,228	4.54	0.76	6,157	4.45	0.36	5,574	4.53	0.35
2	7,267	4.62	0.64	6,229	4.66	0.64	6,157	4.58	0.25	5,573	4.62	0.26
	7,254	4.56	0.63	6,223	4.60	0.63	*****	*****	*****	*****	*****	*****
3	7,261	4.19	1.04	6,231	4.38	0.92	6,161	4.18	0.49	5,576	4.38	0.37
4	7,261	4.46	0.77	6,230	4.49	0.80	6,163	4.38	0.34	5,575	4.45	0.34
	7,250	4.32	0.79	6,226	4.44	0.76	*****	*****	*****	*****	*****	*****
5	7,172	4.49	0.83	6,229	4.56	0.78	6,160	4.42	0.42	5,574	4.50	0.44
6	7,260	4.45	0.82	6,229	4.52	0.79	6,162	4.38	0.42	5,574	4.48	0.41
7	7,254	4.43	0.82	6,192	4.49	0.82	6,052	4.35	0.40	5,512	4.44	0.38
	7,147	4.46	0.70	6,181	4.53	0.70	*****	*****	*****	*****	*****	*****
8	7,266	4.38	0.82	6,230	4.42	0.85	6,163	4.33	0.39	5,574	4.37	0.41
9	7,262	4.23	0.96	6,227	4.27	1.00	6,155	4.12	0.55	5,576	4.20	0.51
10	7,260	4.09	0.00	6,230	4.16	0.96	6,164	4.15	0.35	5,575	4.18	0.41
11	7,265	4.24	0.92	6,226	4.32	0.87	6,164	4.20	0.36	5,574	4.27	0.36
	7,235	4.23	0.75	6,215	4.29	0.76	*****	*****	*****	*****	*****	*****
12	7,063	4.28	0.97	5,189	4.44	0.84	3,863	4.41	0.35	3,306	4.44	0.35
13	7,260	3.32	0.64	6,205	3.26	0.63	6,146	3.27	0.35	5,568	3.25	0.31
14	7,261	3.52	0.79	6,219	3.47	0.77	6,160	3.50	0.36	5,575	3.52	0.35

【通学課程】
授業評価アンケート

【資料K-2】

<心理専攻>

N:データ数、M:平均値、SD:標準偏差

項目番号	令和3(2021)年度						令和4(2022)年度					
	春学期			秋学期			春学期			秋学期		
	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
1	2,216	4.49	0.78	1,742	4.51	0.78	858	4.43	0.36	72	4.46	0.40
2	2,220	4.64	0.63	1,740	4.67	0.64	858	4.59	0.23	781	4.59	0.28
	2,216	4.56	0.62	1,740	4.59	0.64	*****	*****	*****	*****	*****	*****
3	2,219	4.16	1.04	1,739	4.35	0.92	860	4.24	0.42	781	4.36	0.36
4	2,217	4.46	0.77	1,741	4.52	0.75	860	4.44	0.30	781	4.47	0.31
	2,215	4.31	0.77	1,738	4.44	0.73	*****	*****	*****	*****	*****	*****
5	2,211	4.44	0.86	1,739	4.52	0.79	860	4.44	0.44	782	4.41	0.53
6	2,217	4.43	0.83	1,739	4.49	0.81	860	4.40	0.38	782	4.40	0.46
7	2,218	4.42	0.82	1,729	4.48	0.82	846	4.37	0.36	772	4.40	0.45
	2,205	4.43	0.72	1,723	4.50	0.71	*****	*****	*****	*****	*****	*****
8	2,219	4.37	0.83	1,739	4.42	0.81	861	4.34	0.34	781	4.32	0.42
9	2,218	4.20	0.97	1,738	4.25	0.97	860	4.14	0.46	781	4.13	0.55
10	2,217	4.09	0.96	1,740	4.12	0.97	861	4.15	0.32	782	4.20	0.36
11	2,218	4.27	0.91	1,736	4.32	0.86	861	4.21	0.32	782	4.27	0.34
	2,210	4.23	0.75	1,733	4.28	0.74	*****	*****	*****	*****	*****	*****
12	2,163	4.26	0.97	1,493	4.43	0.85	624	4.41	0.34	478	4.43	0.32
13	2,218	3.26	0.61	1,730	3.18	0.54	858	3.21	0.31	777	3.24	0.30
14	2,217	3.47	0.76	1,734	3.44	0.76	860	3.52	0.37	780	3.51	0.36

<こども保育・教育専攻>

N:データ数、M:平均値、SD:標準偏差

項目番号	令和3(2021)年度						令和4(2022)年度					
	春学期			秋学期			春学期			秋学期		
	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
1	3,560	4.53	0.72	3,313	4.60	0.71	2,899	4.45	0.35	2,475	4.56	0.35
2	3,561	4.62	0.63	3,317	4.68	0.62	2,900	4.57	0.27	2,475	4.64	0.25
	3,555	4.57	0.61	3,312	4.64	0.61	*****	*****	*****	*****	*****	*****
3	3,557	4.21	1.03	3,317	4.45	0.89	2,897	4.18	0.46	2,477	4.41	0.37
4	3,562	4.47	0.75	3,315	4.52	0.79	2,900	4.39	0.34	2,477	4.52	0.32
	3,554	4.34	0.79	3,314	4.49	0.76	*****	*****	*****	*****	*****	*****
5	3,482	4.52	0.79	3,316	4.59	0.76	2,901	4.41	0.45	2,475	4.52	0.45
6	3,558	4.47	0.78	3,315	4.57	0.76	2,899	4.36	0.43	2,475	4.49	0.42
7	3,552	4.45	0.78	3,292	4.53	0.79	2,846	4.34	0.41	2,449	4.48	0.39
	3,466	4.48	0.67	3,287	4.57	0.67	*****	*****	*****	*****	*****	*****
8	3,563	4.41	0.78	3,316	4.49	0.82	2,899	4.34	0.39	2,476	4.43	0.42
9	3,563	4.25	0.94	3,314	4.36	0.98	2,901	4.11	0.56	2,476	4.25	0.50
10	3,560	4.13	0.98	3,316	4.27	0.92	2,900	4.20	0.34	2,475	4.30	0.34
11	3,561	4.23	0.92	3,317	4.40	0.85	2,901	4.21	0.34	2,476	4.35	0.34
	3,547	4.26	0.74	3,310	4.38	0.74						
12	3,465	4.28	0.98	2,755	4.51	0.81	1,761	4.47	0.30	1,436	4.54	0.29
13	3,559	3.34	0.63	3,303	3.30	0.66	2,890	3.27	0.35	2,476	3.30	0.32
14	3,563	3.55	0.78	3,313	3.46	0.76	2,896	3.50	0.38	2,477	3.52	0.36

【通学課程】

【資料K-3】

授業評価アンケート

<モチベーション行動科学部>

N:データ数、M:平均値、SD:標準偏差

項目番号	令和3(2021)年度						令和4(2022)年度					
	春学期			秋学期			春学期			秋学期		
	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD
1	1,484	4.42	0.86	1,173	4.43	0.82	784	4.47	0.34	768	4.43	0.35
2	1,486	4.62	0.67	1,172	4.58	0.69	782	4.60	0.21	768	4.56	0.26
	1,483	4.52	0.69	1,171	4.51	0.67	*****	*****	*****	*****	*****	*****
3	1,485	4.17	1.04	1,175	4.24	0.97	786	4.22	0.47	769	4.27	0.38
4	1,482	4.42	0.82	1,174	4.34	0.89	786	4.35	0.33	769	4.29	0.35
	1,481	4.30	0.81	1,174	4.29	0.82	*****	*****	*****	*****	*****	*****
5	1,479	4.48	0.86	1,174	4.53	0.83	784	4.47	0.36	767	4.42	0.43
6	1,485	4.41	0.88	1,175	4.43	0.85	785	4.41	0.39	767	4.37	0.43
7	1,484	4.41	0.88	1,171	4.37	0.87	768	4.41	0.35	765	4.32	0.35
	1,476	4.43	0.76	1,171	4.45	0.73	*****	*****	*****	*****	*****	*****
8	1,484	4.32	0.89	1,175	4.19	0.95	786	4.28	0.38	768	4.21	0.37
9	1,481	4.21	0.98	1,175	4.03	1.08	787	4.14	0.51	768	4.03	0.52
10	1,483	4.00	1.02	1,174	3.92	1.01	785	4.00	0.36	768	3.80	0.43
11	1,486	4.22	0.94	1,173	4.11	0.93	783	4.15	0.38	769	4.09	0.39
	1,478	4.19	0.76	1,172	4.06	0.79	*****	*****	*****	*****	*****	*****
12	1,435	4.28	0.95	941	4.28	0.89	479	4.27	0.40	465	4.24	0.37
13	1,483	3.34	0.70	1,172	3.25	0.64	785	3.24	0.39	769	3.23	0.33
14	1,481	3.54	0.84	1,172	3.56	0.82	787	3.57	0.37	769	3.57	0.36

【通信教育課程】
授業評価アンケート

【資料K-4】

カテゴリー	質問項目	そう思う	ややそう	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
		思う	思う	いえない	思わない	ない
テキスト 科目	1. 授業に用いられたテキストや学習の手引きは、適切な内容で分かり易かったと思いますか。	5	4	3	2	1
	2. 担当教員による科目に関しての指示や指導は分かりやすく、適切だったと思いますか。	5	4	3	2	1
	3. 担当教員は、学生の質問に適切に答えてくれたと思いますか。	5	4	3	2	1
	4. あなたは、この授業によって身についたものに満足できたと思いますか。	5	4	3	2	1
	5. あなたは、この授業を受けたことがない人に薦めたいと思いますか。	5	4	3	2	1
	質問項目	ちょうどよい	やや難しい	やや優しい	難しい	優しい
	6. 授業の難しさ・易しさはどうでしたか。	5	3	3	1	1
	7. 準備されていた配付資料や、ビデオ、スライドなどは十分だったと思いますか。	5	4	3	2	1
	8. 授業の内容は、授業のテーマ（授業名やシラバス）に沿っていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	9. 質問をしたり、発表・ディスカッションをしたりする機会は十分にあったと思いますか。	5	4	3	2	1
スクーリング科目 (対面授業)	10. 課題が提示されるなど、自ら学ぶように促されたと思いますか。	5	4	3	2	1
	11. 担当教員は、はっきりとした声で説明をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	12. 担当教員は、熟意をもって授業をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	13. 担当教員は、具体例を挙げる、まとめを行うなどの工夫をし、わかりやすく説明していたと思いますか。	5	4	3	2	1
	14. 担当教員は、私語への注意など、学びやすい雰囲気を保つように努めていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	15. あなたは、この授業によって身についたものに満足できただと思いますか。	5	4	3	2	1
	16. あなたは、この授業を受けたことがない人に薦めたいと思いますか。	5	4	3	2	1
	質問項目	ちょうどよい	やや難しい	やや優しい	難しい	優しい
	17. 授業の難しさ・易しさはどうでしたか。	5	3	3	1	1
	18. 準備されていた配付資料や、ビデオ、スライドなどは十分だったと思いますか。	5	4	3	2	1
スクーリング科目 (メディア授業)	19. 授業の内容は、授業のテーマ（授業名やシラバス）に沿っていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	20. 興味の持てる授業になるよう授業構成（組み立て、時間配分等）が工夫されていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	21. 課題が提示されるなど、自ら学ぶように促されたと思いますか。	5	4	3	2	1
	22. 発表・ディスカッションをする機会が設けられている等、掲示板は発言しやすい雰囲気でしたか。	5	4	3	2	1
	23. 担当教員は、学生の質問に適切に答えてくれたと思いますか。	5	4	3	2	1
	24. 担当教員は、はっきりとした声で説明をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	25. 担当教員は、具体例を挙げる、まとめを行うなどの工夫をし、わかりやすく説明していたと思いますか。	5	4	3	2	1
	26. 担当教員からのお知らせは適切な時期に出されていましたか。	5	4	3	2	1
	27. あなたは、この授業によって身についたものに満足できたと思いますか。	5	4	3	2	1
	28. あなたは、この授業を受けたことがない人に薦めたいと思いますか。	5	4	3	2	1
難易度	質問項目	ちょうどよい	やや難しい	やや優しい	難しい	優しい
	29. 授業の難しさ・易しさはどうでしたか。	5	3	3	1	1

【通信教育課程】
授業評価アンケート

【資料K-5】

カテゴリ	質問項目	そう思う	ややそう	どちらともいえない	あまりもう思わない	そう思わない
		思う	思	いえない	思	ない
テキスト スクーリ ング科目	1. 授業に用いられたテキストや学習の手引きは、適切な内容で分かり易かったと思いますか。	5	4	3	2	1
	2. 担当教員による科目に関しての指示や指導は分かりやすく、適切だったと思いますか。	5	4	3	2	1
	3. 担当教員は、学生の質問に適切に答えてくれたと思いますか。	5	4	3	2	1
	4. 準備されていた配付資料や、ビデオ、スライドなどは十分だったと思いますか。	5	4	3	2	1
	5. 授業の内容は、授業のテーマ（授業名やシラバス）に沿っていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	6. 質問をしたり、発表・ディスカッションをしたりする機会は十分にあったと思いますか。	5	4	3	2	1
	7. 課題が提示されるなど、自ら学ぶように促されたと思いますか。	5	4	3	2	1
	8. 担当教員は、はっきりとした声で説明をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	9. 担当教員は、熟意をもって授業をしていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	10. 担当教員は、具体例を挙げる、まとめを行うなどの工夫をし、わかりやすく説明していたと思いますか。	5	4	3	2	1
	11. 担当教員は、私語への注意など、学びやすい雰囲気を保つように努めていたと思いますか。	5	4	3	2	1
	12. あなたは、この授業によって身についたものに満足できたと思いますか。	5	4	3	2	1
	13. あなたは、この授業を受けたことがない人に薦めたいと思いますか。	5	4	3	2	1
難易度	質問項目	ちょうどよい	やや難しい	やや優しい	難しい	優しい
	14. 授業の難しさ・易しさはどうでしたか。	5	3	3	1	1

	質問項目	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
テキスト科目	1	4.22	4.22	4.27	4.30	4.27	4.306	4.246	
	2	4.20	4.23	4.27	4.30	4.28	4.260	4.225	
	3	4.14	4.10	4.22	4.24	4.29	4.213	4.175	
	4	4.25	4.27	4.31	4.36	4.31	4.329	4.285	
	5	4.07	4.13	4.12	4.19	4.14	4.132	4.101	
	6	3.61	3.46	3.40	3.42	3.37	3.414	3.369	
スクーリング科目 (対面授業)	1	4.62	4.61	4.25	4.46	4.44	4.511	4.455	
	2	4.72	4.68	4.49	4.59	4.62	4.816	4.540	
	3	4.69	4.59	4.02	4.10	4.23	4.621	4.451	
	4	4.76	4.74	4.58	4.66	4.65	4.830	4.630	
	5	4.75	4.67	4.31	4.69	4.61	4.705	4.461	
	6	4.84	4.78	4.49	4.69	4.61	4.727	4.667	
	7	4.75	4.70	4.43	4.58	4.54	4.557	4.552	
	8	4.73	4.67	4.41	4.45	4.46	4.694	4.503	
	9	4.67	4.66	4.29	4.49	4.47	4.636	4.444	
	10	4.59	4.58	4.19	4.45	4.42	4.602	4.368	
	11	4.04	3.97	3.78	3.95	3.94	3.455	3.872	

※令和4(2022)年秋学期は、令和5(2023)年度報告書で報告予定。

【通信教育課程】

【資料K-6】

授業評価アンケート

	質問項目	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
スクーリング科目 (メディア授業)	1	4.28	4.42	4.27	4.18	4.16	4.441	4.136	
	2	4.51	4.58	4.52	4.45	4.56	4.647	4.459	
	3	4.04	4.20	4.09	4.07	4.05	4.316	4.021	
	4	4.47	4.47	4.38	4.36	4.35	4.578	4.393	
	5	3.53	3.56	3.50	3.64	3.62	3.943	3.531	
	6	4.01	3.98	4.18	4.14	4.21	4.302	3.994	
	7	4.06	4.49	4.25	4.33	4.14	4.492	4.050	
	8	4.20	4.41	4.17	4.33	4.15	4.471	4.100	
	9	4.46	4.57	4.53	4.45	4.42	4.557	4.463	
	10	4.16	4.11	4.09	4.12	4.06	4.282	4.095	
	11	3.92	3.90	3.86	3.87	3.84	4.112	3.863	
	12	3.51	3.28	3.16	3.35	3.28	3.481	3.257	
難易度	質問項目	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
	テキストスクーリング科目	1	4.44	4.44	4.12	4.39	4.25	4.588	4.480
		2	4.55	4.55	4.23	4.35	4.22	4.741	4.598
		3	4.69	4.67	4.41	4.51	4.37	4.894	4.701
		4	4.55	4.52	4.21	4.32	4.19	4.671	4.510
		5	4.61	4.62	4.41	4.57	4.51	4.847	4.675
		6	4.67	4.56	3.98	4.11	4.12	4.812	4.571
		7	4.67	4.69	4.52	4.68	4.63	4.847	4.732
		8	4.60	4.69	4.50	4.61	4.52	4.859	4.626
		9	4.72	4.72	4.43	4.59	4.51	4.812	4.772
		10	4.60	4.65	4.31	4.49	4.37	4.788	4.675
		11	4.64	4.65	4.10	4.37	4.21	4.788	4.654
		12	4.56	4.55	4.18	4.44	4.14	4.710	4.593
		13	4.48	4.44	4.06	4.30	4.07	4.765	4.516
	難易度	14	3.88	3.96	3.61	3.53	3.61	4.119	3.780

※令和4(2022)年秋学期は、令和5(2023)年度報告書で報告予定。

【通学課程】
志願者数・受験者数・合格者数・入学者数推移表

〔資料L〕

	入試種別	平成30(2018)年度					平成31・令和元(2019)年度					令和2(2020)年度				
		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	構成比率	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	構成比率	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	構成比率
心理専攻	AO入試	142	139	122	69	55.6%	129	125	82	63	51.6%	211	209	57	52	44.4%
	推薦入試	41	41	37	30	24.2%	42	42	38	38	31.1%	71	71	40	40	34.2%
	一般入試	90	88	48	25	20.2%	179	170	34	20	16.4%	269	257	67	24	20.5%
	センター	18	18	1	0	0.0%	31	31	6	1	0.8%	32	32	7	1	0.9%
	留学生入試	0	0	0	0	0.0%	8	7	0	0	0.0%	2	2	0	0	0.0%
	小計	291	286	208	124	100.0%	389	375	160	122	100.0%	585	571	171	117	100.0%
こども保育・教育専攻	AO入試	251	243	178	95	47.5%	247	245	111	100	48.8%	372	371	102	87	43.3%
	推薦入試	91	91	84	73	36.5%	76	76	62	62	30.2%	110	110	76	75	37.3%
	一般入試	145	139	72	31	15.5%	186	175	73	42	20.5%	206	193	67	38	18.9%
	センター	17	17	2	1	0.5%	30	30	4	1	0.5%	40	40	13	1	0.5%
	留学生入試	0	0	0	0	0.0%	1	1	0	0	0.0%	3	3	0	0	0.0%
	帰国生入試	小計	504	490	336	200	100.0%	540	527	250	205	100.0%	731	717	258	201
モチベーション行進科学部	AO入試	51	50	41	37	50.7%	87	86	34	33	44.0%	151	148	33	28	36.8%
	推薦入試	26	26	24	24	32.9%	35	35	25	25	33.3%	38	38	27	27	35.5%
	一般入試	90	87	22	11	15.1%	227	217	32	16	21.3%	299	279	73	21	27.6%
	センター	17	17	2	1	1.4%	41	41	5	1	1.3%	41	41	6	0	0.0%
	留学生入試	5	5	0	0	0.0%	2	2	0	0	0.0%	3	3	0	0	0.0%
	編入学入試	小計	189	185	89	73	100.0%	392	381	96	75	100.0%	532	509	139	76

	入試種別	令和3(2021)年度					令和4(2022)年度					令和5(2023)年度				
		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	構成比率	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	構成比率	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	構成比率
心理専攻	総合型選抜	200	193	71	59	46.8%	156	149	76	67	53.2%	208	202	68	61	48.0%
	学校推薦型選抜	46	46	39	39	31.0%	20	20	20	20	15.9%	46	46	46	45	35.4%
	一般選抜	176	172	51	26	20.6%	101	95	70	36	28.6%	112	99	27	17	13.4%
	大学入試共通テスト	61	61	7	1	0.8%	42	42	31	2	1.6%	37	37	16	3	2.4%
	特別選抜(帰国・編入・留学)	8	8	1	1	0.8%	4	4	1	1	0.8%	3	3	1	1	0.8%
	小計	491	480	169	126	100.0%	323	310	198	126	100.0%	406	387	158	127	100.0%
こども保育・教育専攻	総合型選抜	274	266	108	91	46.0%	177	168	101	81	45.3%	193	189	106	89	44.9%
	学校推薦型選抜	102	102	85	83	41.9%	63	63	63	62	34.6%	96	96	96	96	48.5%
	一般選抜	104	98	50	22	11.1%	60	57	53	30	16.8%	64	59	24	11	5.6%
	大学入試共通テスト	48	48	11	2	1.0%	28	28	22	4	2.2%	28	28	15	2	1.0%
	特別選抜(帰国・編入・留学)	1	1	1	0	0.0%	5	5	2	2	1.1%	2	1	0	0	0.0%
	小計	529	515	255	198	100.0%	333	321	241	179	100.0%	383	373	241	198	100.0%
モチベーション行進科学部	総合型選抜	122	120	36	27	37.5%	75	71	35	30	42.3%	120	117	38	30	40.5%
	学校推薦型選抜	42	42	32	32	44.4%	11	11	11	11	15.5%	29	29	29	28	37.8%
	一般選抜	160	152	39	12	16.7%	100	96	68	29	40.8%	102	89	31	12	16.2%
	大学入試共通テスト	67	67	8	1	1.4%	40	40	27	0	0.0%	31	31	17	4	5.4%
	特別選抜(帰国・編入・留学)	3	2	0	0	0.0%	1	1	1	1	1.4%	4	4	0	0	0.0%
	小計	394	383	115	72	100.0%	227	219	142	71	100.0%	286	270	115	74	100.0%

【資料M-1】

心理専攻「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

アドミッション・ポリシー(AP)

以下の能力・資質を有する人を受け入れる。

- 子どもを中心としたあらゆる年代の心理と行動をはじめとし、幅広い内容について興味・関心を有し、人の心の仕組みや働きについて論理的に理解することに積極的である。
- 多様な人々と積極的に関わり、互いに理解し尊重し合ったうえで適切な対人関係を構築すること及びその対人関係の構築について心理面からの理解と充実した表現方法による円滑なコミュニケーションを行うことに意欲的である。
- 教育・保育・福祉機関をはじめとする学外の様々なボランティア活動を通して、人を取り巻く社会について理解するとともに、社会貢献などでの関わりに積極的である。
- 上記を実現するにふさわしい学力・知力、そして豊かな発想力を備えている。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 人の心の仕組みや働きについて論理的に理解することができる。	6	5	4	3	2	1
(2) 互いに尊重しあう対人関係の構築と円滑なコミュニケーションを行うことができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 様々なボランティア活動を通して、社会貢献などに関わることができる。	6	5	4	3	2	1
(4) 上記を実現するにふさわしい学力・知力、豊かな発想力を備えている。	6	5	4	3	2	1
(5) 大学及びこども心理学部の教育目標を理解している。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)論理的に理解する。	4.45	91.2%	8.8%	4.22	78.3%	21.7%	—	—	—
(2)円滑なコミュニケーション	4.71	94.2%	5.8%	4.56	86.4%	13.6%	—	—	—
(3)社会貢献に関わる	3.72	73.2%	26.8%	3.92	64.1%	35.9%	—	—	—
(4)学力、知力、豊かな発想力	4.08	82.9%	17.1%	3.91	67.2%	32.8%	—	—	—
(5)教育目標を理解	4.36	88.2%	11.8%	4.10	68.2%	31.8%	—	—	—

【資料M-2】

こども保育・教育専攻「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

アドミッション・ポリシー(AP)

- 以下の能力・資質を有する人を受け入れる。
- 様々な事柄に興味・関心を持ち、自身の経験や知識と関連付けて学ぶことができる。
 - 自分の考えを適切に表現し、他者理解を持って人間関係を構築することができる。
 - 心身ともに健康であり、積極的に行動できる。
 - 未来に希望を持ち、子どもや保育・教育に関心を持っている。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 大学の学びの基礎となる学力を有している。	6	5	4	3	2	1
(2) 様々な事柄に興味・関心を持ち、自身の経験や知識と関連付けて学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 自分の考えを適切に表現し、他者理解を持って人間関係を構築することができる。	6	5	4	3	2	1
(4) 心身ともに健康であり、積極的に行動できる。	6	5	4	3	2	1
(5) 未来に希望を持ち、子どもや保育・教育に関心を持っている。	6	5	4	3	2	1
(6) 大学及びこども心理学部の教育目標を理解している。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)基礎学力を有している。	4.34	87.2%	12.8%	4.13	73.7%	26.3%			
(2)経験や知識と関連付けて学ぶ。	4.62	93.0%	7.0%	4.39	82.1%	17.9%			
(3)人間関係の構築。	4.72	93.8%	6.2%	4.47	81.8%	18.2%			
(4)積極的に行動できる。	4.50	88.9%	11.1%	4.36	77.6%	22.4%			
(5)保育・教育に関心を持つ。	4.87	93.4%	6.6%	4.67	84.2%	15.8%			
(6)教育目標を理解している。	4.38	85.8%	14.2%	4.20	75.4%	24.6%			

【資料M-3】

モチベーション行動科学部「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

アドミッション・ポリシー(AP)

大学及びモチベーション行動科学部の教育目標を理解し、その目標実現のために、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化させる可能性を持つ学生の入学を期待する。そして、様々な経験を通して得られる人間力を高めていくことのできる学生、豊かな個性・経験・技能を持った学生を幅広く受け入れるための方針をここに示し、それに基づく学生の選抜を行う。

- 高等学校での教育課程を幅広く修得している。
- モチベーション行動科学部で学ぶことに強い意欲をもっている。
- 豊かな発想力を持ち、主体的に考え方行動することができる。
- 人とよく関わることのできる対人関係能力・技能をもっている。
- 困難や課題を乗り越えた経験をもっている。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 高等学校での教育課程を幅広く修得している。	6	5	4	3	2	1
(2) モチベーション行動科学部で学ぶことに強い意欲をもっている。	6	5	4	3	2	1
(3) 豊かな発想力を持ち、主体的に考え方行動することができる。	6	5	4	3	2	1
(4) 人とよく関わることのできる対人関係能力・技能をもっている。	6	5	4	3	2	1
(5) 困難や課題を乗り越えた経験をもっている。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)高等学校の教育課程の修得。	3.94	77.0%	23.0%	3.87	64.7%	35.3%			
(2)モチベーション行動科学部で学ぶ強い意欲。	4.50	90.0%	10.0%	4.20	74.3%	25.7%			
(3)主体的行動力。	4.35	84.3%	15.7%	4.09	70.1%	29.9%			
(4)対人関係能力・技能の保持。	4.32	87.5%	12.5%	4.32	75.4%	24.6%			
(5)困難、課題解決の経験。	4.43	85.8%	14.2%	4.19	71.9%	28.1%			

【通信教育課程】

【資料M-4】

こども心理学部「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

アドミッション・ポリシー(AP)

大学及びこども心理学部の教育目標を理解して学びを深め、積極的に人と関わり円滑な対人関係を構築することのできる人間力を持つ学生の入学を期待する。そのためには、常に学修への高い意欲を保持し、こども心理学部の教育及び将来の社会の要請に応える力を身につける積極性が求められる。については、大学内外における様々な活動やボランティア経験及び様々な個性・技能を持った学生を幅広く受け入れるための方針をここに示し、それに基づく学生の受け入れを行う。

○様々な事柄に興味・関心を持ち、自身の経験や知識と関連付けて学ぶことができる。

○自分の考えを適切に表現し、他者理解をもって人間関係を構築することができる。

○子どもを中心としたあらゆる年代の心理と行動をはじめとし、幅広い内容について興味・関心を有し、心理学的観点からもその背景やプロセスについて論理的に理解することに積極的である。

○多様な人々と積極的に関わり、互いに理解し尊重し合ったうえで適切な対人関係を構築すること及びその対人関係の構築について心理面からの理解と充実した表現方法による円滑なコミュニケーションを行うことに意欲的である。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 様々な事柄に興味・関心を持ち、自身の経験や知識と関連付けて学ぶことができる。	6	5	4	3	2	1
(2) 自分の考えを適切に表現し、他者理解をもって人間関係を構築することができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 子どもを中心としたあらゆる年代の心理と行動をはじめとし、幅広い内容について興味・関心を有し、心理学的観点からもその背景やプロセスについて論理的に理解することに積極的である。	6	5	4	3	2	1
(4) 多様な人々と積極的に関わり、互いに理解し尊重し合ったうえで適切な対人関係を構築すること及びその対人関係の構築について心理面からの理解と充実した表現方法による円滑なコミュニケーションを行うことに意欲的である。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)経験と知識を関連付けて学ぶ。	5.29	97.4%	2.6%	5.23	99.3%	0.7%			
(2)他者を理解して人間関係構築。	4.85	92.1%	7.9%	4.83	95.3%	4.7%			
(3)論理的に理解する。	5.16	97.4%	2.6%	5.18	96.7%	3.3%			
(4)円滑なコミュニケーション	4.65	84.7%	15.3%	4.76	88.7%	11.3%			

【通信教育課程】

【資料M-5】

モチベーション行動科学部「3ポリシー」の適切性に関するアンケート

アドミッション・ポリシー(AP)

大学及びモチベーション行動科学部の教育目標を学び・理解することにより、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化させる可能性を持つ学生の入学を期待する。そして、様々な経験を通して得られる人間力を高めていくことのできる学生、豊かな個性・経験・技能を持った学生を幅広く受け入れるための方針をここに示し、それに基づく学生の受け入れを行う。

- モチベーション行動科学部で学ぶことに強い意欲をもっている。
- 豊かな発想力で主体的に考え方行動することができる。
- 企業人や公務員、各種法人職員等として活躍しながら、モチベーションについて学ぶことにより、組織貢献を希望している。
- 社会の一線を退き、家庭や地域コミュニティの中で生きつつ、その対人関係及びコミュニケーションの円滑化や活力の向上を求めて、学びに興味をもっている。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) モチベーション行動科学部で学ぶことに強い意欲をもっている。	6	5	4	3	2	1
(2) 豊かな発想力をもち、主体的に考え方行動することができる。	6	5	4	3	2	1
(3) 企業人や公務員、各種法人職員等として活躍しながら、モチベーションについて学ぶことにより、組織貢献を希望している。	6	5	4	3	2	1
(4) 社会の一線を退き、家庭や地域コミュニティの中で生きつつ、その対人関係及びコミュニケーションの円滑化や活力の向上を求めて、学びに興味をもっている。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)モチベ学部で学ぶ意欲。	5.58	100.0%	0.0%	5.45	100.0%	0.0%			
(2)主体的に考え方行動する。	5.13	93.8%	6.3%	4.96	94.4%	5.6%			
(3)モチベを学び組織貢献する。	5.29	93.8%	6.3%	4.90	90.1%	9.9%			
(4)学びに興味	4.92	85.4%	14.6%	4.72	81.7%	18.3%			

【資料N-1】

心理専攻「教育の目的」の適切性に関するアンケート

教育の目的

幅広い教養とキャリア教育を前提とし、子どもを中心としたあらゆる年代を対象とした心理学の基礎的概念を修得し、心理学の理論や方法論に依拠した科学者－実践家モデルを基盤としながら、人の健全な発達・学びを促すための理論的理解と実践力を養い、併せて課程外における活動を通して「高度な専門的知識と技能」とともに「豊かな心」を併せ持った人材を養成する。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 心理学の基礎的概念を修得した。	6	5	4	3	2	1
(2) 高度な専門的知識が身についた。	6	5	4	3	2	1
(3) 高度な専門的技能(実践力)が身についた。	6	5	4	3	2	1
(4) 豊かな心を育んだ。	6	5	4	3	2	1
(5) キャリア教育を受け、将来のキャリアに対する意欲を高めた。	6	5	4	3	2	1
(6) 社会で役立つ教養が身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)心理学の基礎概念を修得。	4.55	94.7%	5.3%	4.46	83.3%	16.7%			
(2)専門的な知識が身についた。	4.04	82.9%	17.1%	3.92	69.2%	30.8%			
(3)高度な専門的技能が身に付いた	3.53	66.6%	33.4%	3.53	54.0%	46.0%			
(4)豊かな心を育んだ	4.72	94.5%	5.5%	4.58	85.9%	14.1%			
(5)キャリアに対する意欲を高めた	4.39	90.7%	9.3%	4.22	75.3%	24.7%			
(6)役立つ教養を身につけた	4.61	93.1%	6.9%	4.41	82.8%	17.2%			

【資料N-2】

こども保育・教育専攻「教育の目的」の適切性に関するアンケート

教育の目的

幅広い教養とキャリア教育を前提とし、未来を担う子どもたちの健全な発達・学びを促すために必要となる、子どもの保育学的・教育学的な理解に根ざした「高度な専門的知識と技能」とともに「豊かな心」を併せ持った人材を養成する。講義や演習及び実習さらに課程外における活動を通して理論的な理解力と実践力を併せ持った保育者・教育者を養成する。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 高度な専門的知識(理解力)が身についた。	6	5	4	3	2	1
(2) 高度な専門的技能(実践力)が身についた。	6	5	4	3	2	1
(3) 豊かな心を育んだ。	6	5	4	3	2	1
(4) 幅広い教養が身についた。	6	5	4	3	2	1
(5) キャリア教育を学ぶことができた。	6	5	4	3	2	1
(6) 社会で役立つ教養が身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)高度な専門的知識の修得	4.37	87.6%	12.4%	4.25	78.6%	21.4%			
(2)高度な専門技術の修得	4.21	84.6%	15.4%	4.18	75.0%	25.0%			
(3)豊かな心を育んだ	4.70	93.4%	6.6%	4.54	82.7%	17.3%			
(4)幅広い教養が身についた。	4.52	91.4%	8.6%	4.33	81.4%	18.6%			
(5)キャリア教育を学べた。	4.50	87.9%	12.1%	4.26	79.1%	20.9%			
(6)役立つ教養を身につけた	4.70	92.4%	7.6%	4.54	85.0%	15.0%			

【資料N-3】

モチベーション行動科学部「教育の目的」の適切性に関するアンケート

教育の目的

社会で必要とされる「組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーション」、「他者を理解し、円滑な対人関係を志向するモチベーション」、「広い关心と学びを促すモチベーション」を学び理解することにより、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化することのできる人材を養成する。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(2) 他者を理解し、円滑な対人関係を志向するモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(3) 広い关心と学びを促すモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(4) 所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化できる力を身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)貢献するモチベーション	4.23	85.4%	14.6%	3.99	68.9%	31.1%			
(2)志向するモチベーション	4.61	93.6%	6.4%	4.53	85.6%	14.4%			
(3)学びを促すモチベーション	4.58	93.4%	6.6%	4.36	81.4%	18.6%			
(4)影響する力、活性化できる力	4.18	82.3%	17.7%	4.07	74.9%	25.1%			

【通信教育課程】

【資料N-4】

こども心理学部「教育の目的」の適切性に関するアンケート

教育の目的

幅広い教養を前提とし、本学の教育を通信の方法により提供することで、時間や場所、職業などにかかわらず、多くの人たちが学習できる機会を実現し、知識・技能及び人間性さらには意思決定能力を自ら磨き、もって生涯教育の拠点として地域・社会の発展に貢献する人材を養成する。

＜設問項目＞

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 高度な専門的知識・技能が身についた。	6	5	4	3	2	1
(2) 人間性を高め意思決定能力を磨くことができた。	6	5	4	3	2	1
(3) 地域・社会の発展に貢献できる教養が身についた。	6	5	4	3	2	1

＜分析結果＞

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)高度な専門知識・技能	4.73	93.7%	6.3%	4.97	98.2%	1.8%			
(2)意思決定能力	4.72	91.5%	8.5%	4.75	91.6%	8.4%			
(3)社会貢献する教養	4.41	79.4%	20.6%	4.56	87.6%	12.4%			

【通信教育課程】

【資料N-5】

モチベーション行動科学部「教育の目的」の適切性に関するアンケート

教育の目的

社会で必要とされる「組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーション」、「他者を理解し、円滑な対人関係を志向するモチベーション」、「広い関心と学びを促すモチベーション」を学び理解することにより、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化することのできる人材を養成する。

<設問項目>

	とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(2) 他者を理解し、円滑な対人関係を志向するモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(3) 広い関心と学びを促すモチベーションを理解できた。	6	5	4	3	2	1
(4) 所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化できる力が身についた。	6	5	4	3	2	1

<分析結果>

	平成3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度		
	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下	平均値	思う(4)以上	思わない(3)以下
(1)貢献するモチベーション	4.77	89.6%	10.4%	4.69	87.3%	12.7%			
(2)志向するモチベーション	4.94	87.5%	12.5%	4.86	94.4%	5.6%			
(3)学びを促すモチベーション	5.13	97.9%	2.1%	5.17	95.8%	4.2%			
(4)影響力と活性化できる力	4.92	95.8%	4.2%	4.59	85.9%	14.1%			

2021年度学生生活実態調査・卒業生アンケート 結果報告書

1. 調査時期及び回答者人数

2022年3月10日から3月18日の期間に、2021年度通学課程卒業生238名を対象に学生生活実態調査ならびに卒業生アンケートを行った。学部専攻、入試形態別の内訳は以下の通りであった。

学部専攻及び入試形態別の回答者

入試形式	こども心理学部		モチベーション 行動科学部	合計
	こども心理専攻	こども保育・教育専攻		
AO入試	38	57	23	118
一般入試	19	18	6	43
推薦入試	21	39	15	75
合計	78	114	44	236

2. 学生生活の満足度

学生生活の満足度を測るために（1）満足していない、（2）どちらかといえば満足していない、（3）どちらかといえば満足している、（4）満足している、の4段階で回答を求めた。

学生生活全般

学生生活全般	満足していない		どちらかといえば 満足していない		どちらかといえば 満足している		満足している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	2	2.6%	13	16.7%	46	59.0%	17	21.8%	78
こども保育・教育専攻	3	2.7%	11	9.7%	58	51.3%	41	36.3%	113
モチベーション行動科学部	2	4.5%	5	11.4%	24	54.5%	13	29.5%	44
総計	7	3.0%	29	12.3%	128	54.5%	71	30.2%	235

授業全般

授業全般	満足していない		どちらかといえば 満足していない		どちらかといえば 満足している		満足している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	3	3.8%	14	17.9%	51	65.4%	10	12.8%	78
こども保育・教育専攻	2	1.8%	15	13.8%	69	61.1%	27	23.9%	113
モチベーション行動科学部	2	4.5%	7	15.9%	24	54.5%	11	25.0%	44
総計	7	3.0%	36	15.8%	144	61.3%	48	20.4%	235

学園祭・未来祭／各種委員会活動

学園祭・未来祭／各種委員会活動	満足していない		どちらかといえば満足していない		どちらかといえば満足している		満足している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	7	9.1%	16	20.8%	37	48.1%	17	22.1%	77
こども保育・教育専攻	4	3.5%	11	9.7%	48	42.5%	50	44.2%	113
モチベーション行動科学部	6	14.0%	6	14.0%	16	37.2%	15	34.9%	43
総計	17	7.3%	38	14.2%	101	43.8%	82	35.2%	233

学内の施設・設備

学内の施設・設備	満足していない		どちらかといえば満足していない		どちらかといえば満足している		満足している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	8	10.4%	25	32.5%	35	45.5%	9	11.7%	77
こども保育・教育専攻	7	6.1%	25	21.9%	57	50.0%	25	21.9%	113
モチベーション行動科学部	4	9.1%	15	34.1%	18	40.9%	7	15.9%	44
総計	19	8.1%	65	27.7%	110	46.8%	41	17.4%	235

教員

教員	満足していない		どちらかといえば満足していない		どちらかといえば満足している		満足している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	2	2.6%	7	9.0%	55	70.5%	14	17.9%	78
こども保育・教育専攻	4	3.5%	18	15.9%	60	53.1%	31	27.4%	113
モチベーション行動科学部	1	2.3%	6	13.6%	24	54.5%	13	29.5%	44
総計	7	8.0%	81	13.2%	139	59.1%	58	24.7%	235

キャンパスアドバイザーリー制度

キャンパスアドバイザーリー制度	満足していない		どちらかといえば満足していない		どちらかといえば満足している		満足している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	4	5.1%	15	19.2%	37	47.4%	22	28.2%	78
こども保育・教育専攻	7	6.1%	14	12.3%	49	48.0%	44	38.6%	113
モチベーション行動科学部	3	6.8%	8	18.2%	21	47.7%	12	27.3%	44
総計	14	5.9%	87	15.7%	107	45.3%	78	33.1%	236

キャリアサポート

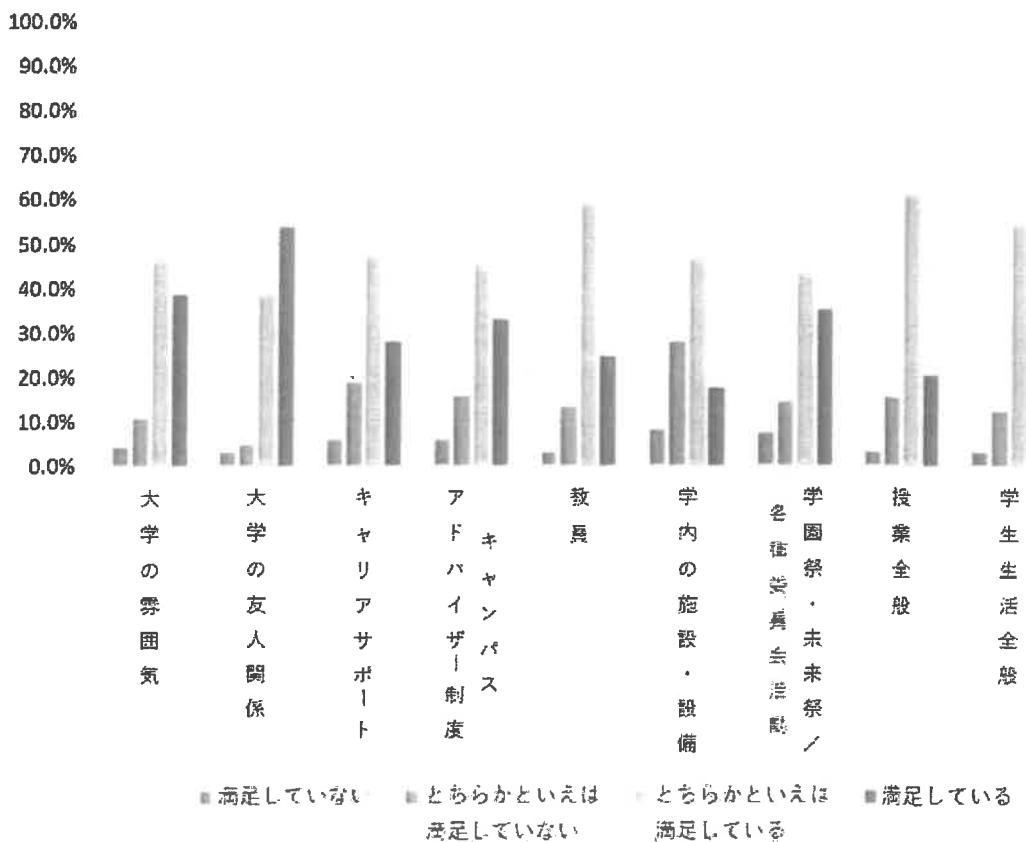
キャリアサポート	満足していない		どちらかといえば満足していない		どちらかといえば満足している		満足している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	5	6.4%	15	19.2%	35	44.9%	23	29.5%	78
こども保育・教育専攻	7	6.1%	19	16.7%	55	48.2%	33	28.9%	113
モチベーション行動科学部	2	4.5%	10	22.7%	22	50.0%	10	22.7%	44
総計	14	5.9%	44	18.6%	112	47.5%	66	28.0%	236

大学での友人関係

大学での 友人関係	満足していない		どちらかといえば 満足していない		どちらかといえば 満足している		満足している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	2	2.6%	4	5.1%	41	52.6%	31	39.7%	78
こども保育・教育専攻	4	3.5%	5	4.4%	32	28.1%	73	64.0%	114
モチベーション行動科学部	1	2.3%	2	4.5%	18	40.9%	23	52.3%	44
総計	7	3.0%	11	4.7%	91	38.6%	127	53.8%	236

大学の雰囲気

大学の雰囲気	満足していない		どちらかといえば 満足していない		どちらかといえば 満足している		満足している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	3	3.8%	11	14.1%	44	56.4%	20	25.6%	78
こども保育・教育専攻	5	4.4%	9	7.9%	47	41.2%	53	46.5%	114
モチベーション行動科学部	2	4.5%	5	11.4%	19	43.2%	18	40.9%	44
総計	10	4.2%	25	10.6%	110	46.6%	91	38.6%	236



「どちらかといえば満足している」、「満足している」を合わせると、大学での友人関係（92.4%）、大学の雰囲気（85.2%）、学生生活全般（84.7%）、教員（83.8%）、授業全般（81.7%）、学園祭・未来祭／

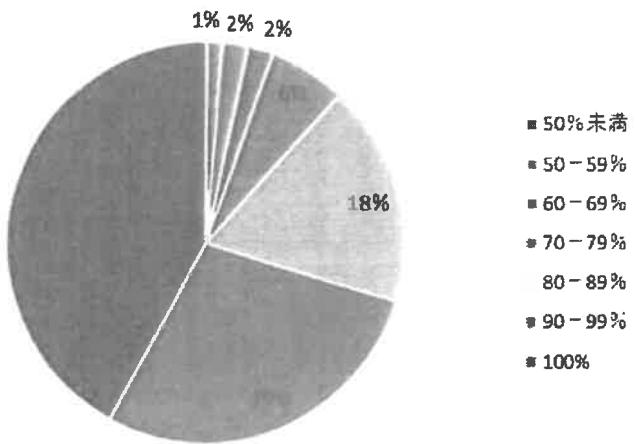
各種委員会活動（78.5%）、キャンパスアドバイザー制度（78.4%）、キャリアサポート（75.5%）、学内の施設・設備（64.2%）の順に満足度が高く、大半の学生が学生生活全般に満足感を得られていることが分かった。その一方で、施設・設備が他の学生生活よりも満足感が低いが、これにはコロナ禍により登校日数が少ないため、施設を十分に利用していないことなども影響していることが考えられる。そのため、コロナ終息後は改善が見られる可能性があることや、C棟の新設および食堂の再稼働などにより、今後は改善されていくことが予測される。

3. 授業の出席率について

授業の出席状況を知るために、「今学期の授業全体の出席率は何パーセントくらいですか。0～100までの数字を入力してください。」と質問し、出席率の実数（%）の回答を求めた。

授業の出席率

学部／専攻	50%未満		50～59%		60～69%		70～79%		80～89%		90～99%		100%		総計
	座数	(%)	座数	(%)	座数	(%)	座数	(%)	座数	(%)	座数	(%)	座数	(%)	
こども心理専攻	1	1.9%	2	2.6%	1	1.9%	6	7.7%	13	16.7%	26	32.1%	30	38.5%	78
こども保育・教育専攻	1	0.9%	3	2.6%	1	0.9%	5	4.4%	17	14.9%	30	26.3%	57	50.0%	114
モチベーション行動科学部	1	2.3%	0	0.0%	3	6.8%	4	9.1%	12	27.3%	12	27.3%	12	27.3%	44
総計	3	1.9%	5	2.1%	5	2.1%	15	6.4%	42	17.8%	67	28.4%	99	41.8%	236



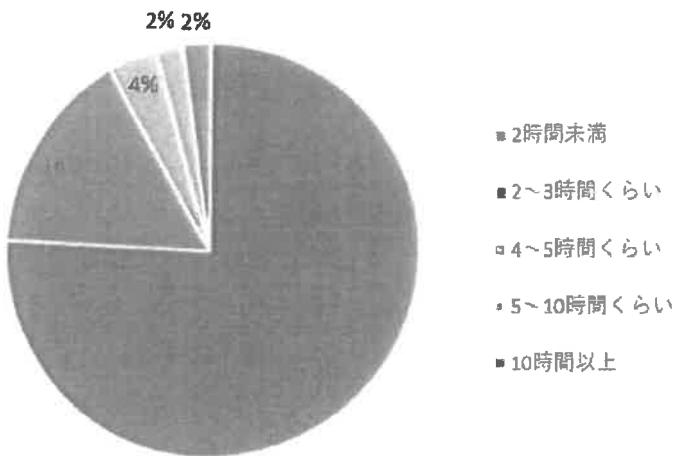
授業の出席状況に関して、70%以上と答えた者の割合は94.5%であり、80%以上では88.1%であった。このことから、多くの学生が授業に出席していることが分かった。

4. 学習時間について

学習時間を知るために、「今学期、1週間あたり、授業以外での勉強時間はどれくらいですか。」と質問し、(1) 2時間未満、(2) 2~3時間くらい、(3) 4~5時間、(4) 5~10時間くらい、(5) 10時間以上、の5段階で回答を求めた。

学習時間

学部／専攻	2時間未満		2~3時間くらい		4~5時間くらい		5~10時間くらい		10時間以上		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	58	74.4%	15	19.2%	1	1.3%	2	2.6%	2	2.6%	78
こども保育・教育専攻	88	77.2%	16	14.0%	5	4.4%	3	2.6%	2	1.8%	114
モチベーション行動科学部	33	75.0%	7	15.9%	3	6.8%	0	0.0%	1	2.3%	44
総計	179	75.8%	38	16.1%	9	3.8%	5	2.1%	5	2.1%	236



1週間あたりの授業以外での学習時間は、「2時間未満」(75.8%)が最も多く、次いで「2~3時間くらい」(16.1%)であった。各授業における授業外学習の周知の徹底や学内の学習環境の整備などにより、学生が学習に取り組むための更なる工夫が必要であると言える。その一方で、アンケートの実施が卒業間近な時期であり、4年生の多くが卒業要件単位数を満たしていることが学習時間の短さに繋がっていることも考えられる。また、学習時間について、授業課題に取り組むなど、学生は狭い意味の認識に止まって回答している可能性も考えられる。学習は広い意味では、内定先に関する勉強、ボランティア活動、プレゼンテーションのリハーサル、友人との意見交換や討議なども含まれるため、今後は質問項目の検証も必要である。

5. 自習場所に関して

自習場所を知るために、「学内で自習するときに利用する場所はどこですか。以下のうちあてはまるものすべてに✓をつけてください。」と質問し、該当する場所のチェックを求めた。

自習場所

自習場所	度数	(%)
その他:	12	3.6%
教室	29	8.7%
学内にはない	35	10.5%
図書館	118	35.4%
学食・学生ホール	139	41.7%
	383	100.0%

学食・学生ホール



図書館



学内にはない



教室



その他:



0 20 40 60 80 100 120 140 160

自習場所に関しては、「学食・学生ホール」(41.7%)、「図書館」(35.4%)の順に多いことが分かった。「図書館」よりも、「学食・学生ホール」で自習する割合が高かった理由として、本学の専門性やカリキュラムによることが考えられる。例えば、保育実習やプレゼンテーションといった他者と意見を交えながらの学習については、友人と待ち合わせしやすく、私語を交えながら学習を行える学食や学生ホールの方が、学習に適した環境であることが窺える。今年度より、C棟に新たに設置された学習スペースも学食や学生ホールと同様に、有効に活用されることが期待される。

6. 施設の満足度について

学内施設の満足度を知るため、「以下のそれぞれの学内施設・設備はどのくらい充実していると思いますか。」と質問し、「教室」、「図書館」、「学食」、「売店」、「体育施設（グラウンド・体育館）」の充実度を

(1) 充実していない、(2) どちらかといえば充実していない、(3) どちらかといえば充実している、(4) 充実している、の4段階で回答を求めた。

教室

[教室]	充実していない		どちらかといえば 充実していない		どちらかといえば 充実している		充実している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	3	3.8%	20	25.6%	43	55.1%	12	15.4%	78
こども保育・教育専攻	6	5.9%	33	28.9%	55	48.2%	20	17.5%	114
モチベーション行動科学部	4	9.1%	11	25.0%	22	50.0%	7	15.9%	44
総計	13	5.5%	64	27.1%	120	50.8%	39	16.5%	236

図書館

[図書館]	充実していない		どちらかといえば 充実していない		どちらかといえば 充実している		充実している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	2	2.6%	9	11.7%	41	53.2%	25	32.5%	77
こども保育・教育専攻	5	4.4%	14	12.8%	55	48.2%	40	35.1%	114
モチベーション行動科学部	2	4.5%	5	11.4%	21	47.7%	16	36.4%	44
総計	9	3.8%	28	11.9%	117	49.8%	81	34.5%	235

学食

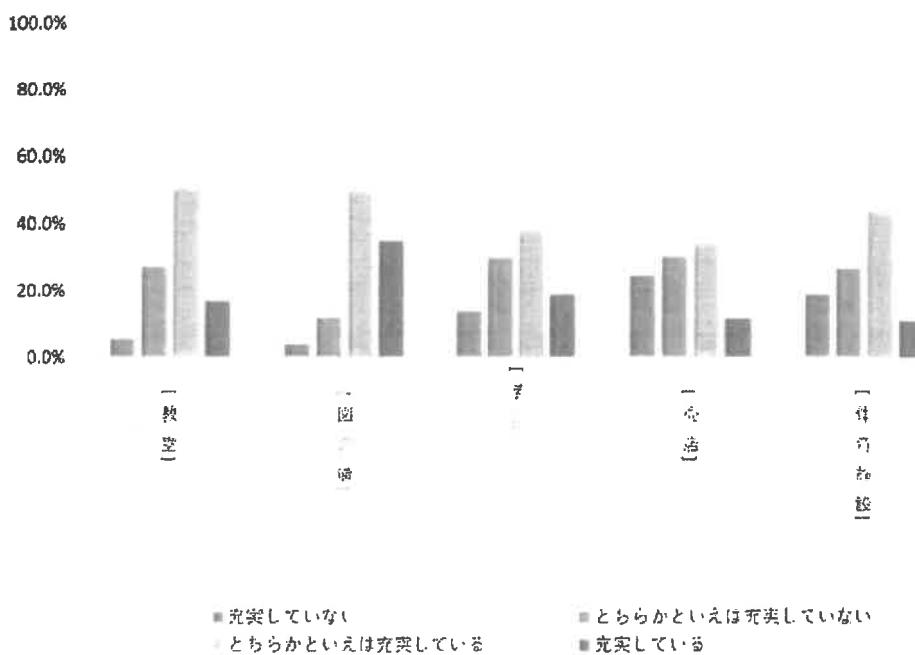
[学食]	充実していない		どちらかといえば 充実していない		どちらかといえば 充実している		充実している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	10	12.8%	29	37.2%	31	39.7%	8	10.3%	78
こども保育・教育専攻	12	10.6%	30	26.5%	44	38.9%	27	23.9%	113
モチベーション行動科学部	10	22.7%	11	25.0%	14	31.8%	9	20.5%	44
総計	32	13.6%	70	29.8%	89	37.9%	44	18.7%	235

売店

[売店]	充実していない		どちらかといえば 充実していない		どちらかといえば 充実している		充実している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	21	26.9%	26	33.3%	25	32.1%	6	7.7%	78
こども保育・教育専攻	22	19.6%	32	28.6%	39	34.8%	19	17.0%	112
モチベーション行動科学部	14	31.8%	12	27.3%	16	36.4%	2	4.5%	44
総計	57	24.4%	70	29.9%	80	34.2%	27	11.5%	234

体育施設(グラウンド・体育馆)

[体育施設(グラウンド・体育馆)]	充実していない		どちらかといえば充実していない		どちらかといえば充実している		充実している		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	12	15.6%	27	35.1%	32	41.6%	6	7.8%	77
こども保育・教育専攻	22	19.5%	24	21.2%	54	47.8%	13	11.5%	113
モチベーション行動科学部	10	22.7%	11	25.0%	16	36.4%	7	15.9%	44
総計	44	18.8%	62	26.5%	102	43.6%	26	11.1%	234



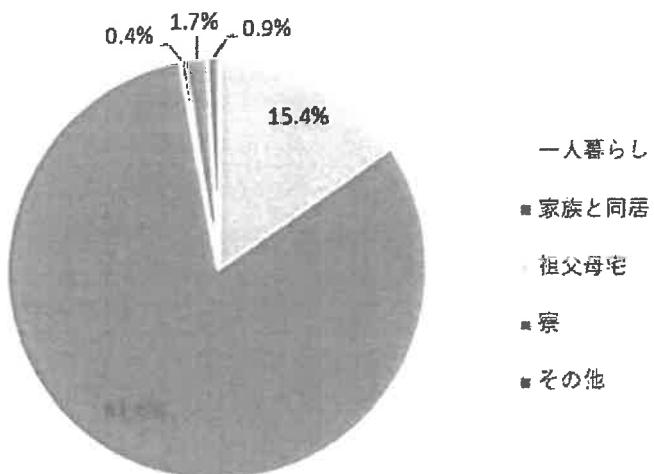
施設の充実度について、「どちらかといえば充実している」、「充実している」を合わせると図書館(84.3%)、教室(67.3%)、学食(56.6%)、体育施設(グラウンド・体育馆)(54.7%)、売店(45.7%)の順で、充実していると感じていることが分かった。この結果から、売店の充実度が最も低いことがわかるが、コロナの蔓延防止策として売店を閉店し、学食の運営を限定していることから、商品の品数や種類に対し、充実していないと感じる学生が多いことが考えられる。

7. 居住形態について

居住形態を知るために、「あなたの現在の居住形態は、次のうちどれにあてはまりますか。」と質問し、(1)一人暮らし、(2)家族と同居、(3)祖父母宅、(4)寮、(5)その他、の中から回答を求めた。

居住形態

学部／専攻	一人暮らし		家族と同居		祖父母宅		寮		その他		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	12	15.6%	62	80.5%	1	1.3%	1	1.3%	1	1.3%	77
こども保育・教育専攻	15	13.3%	95	84.1%	0	0.0%	3	2.7%	0	0.0%	113
モチベーション行動科学部	9	20.5%	34	77.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	44
総計	36	15.4%	191	81.6%	1	0.4%	4	1.7%	2	0.9%	234



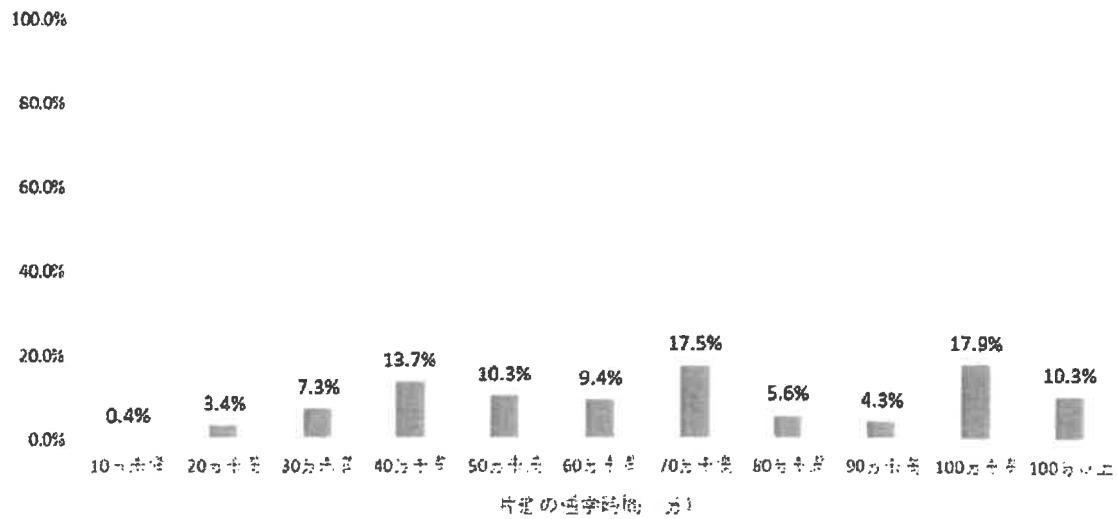
「家族と同居」(81.6%) している学生が最も多く、次いで「一人暮らし」(15.4%) の学生が多いことが分かった。また、ごく小数ながら「寮」(1.7%) を利用している学生もいることが分かった。

8. 通学時間に関する質問

通学時間を知るために、「学までの片道の通学時間は何分ですか。分単位で数字を入力してください。」と質問し、実数（分）での回答を求めた。

通学時間

学部／専攻	総計		こども心理専攻		こども保育・教育専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
片道通学時間（分）								
10分未満	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%
20分未満	8	3.4%	1	1.3%	6	5.4%	1	2.3%
30分未満	17	7.3%	3	3.8%	12	10.7%	2	4.5%
40分未満	32	13.7%	14	17.9%	11	9.8%	7	15.9%
50分未満	24	10.3%	5	6.4%	13	11.6%	6	13.6%
60分未満	22	9.4%	6	7.7%	9	8.0%	7	15.9%
70分未満	41	17.5%	12	15.4%	21	18.8%	8	18.2%
80分未満	13	5.6%	5	6.4%	6	5.4%	2	4.5%
90分未満	10	4.3%	4	5.1%	5	4.5%	1	2.3%
100分未満	42	17.9%	17	21.8%	21	18.8%	4	9.1%
100分以上	24	10.3%	11	14.1%	8	7.1%	5	11.4%
総計	234	100.0%	78	100.0%	112	100.0%	44	100.0%



通学時間に関しては、100分未満(17.9%)が最も多く、次いで70分未満(17.5%)、40分未満(13.7%)であった。また全体の約1割が通学時間に100分以上(10.3%)要していることが分かった。

9. 活動への積極的取り組み

学生生活での活動への積極的な取り組みを知るため、「この1年間、あなたは以下の(1)～(5)のことどのくらい積極的に取り組みましたか。」と質問し、「授業・ゼミ」、「資格取得（資格取得のための勉強・準備・実習等を含む）」、「プロジェクト（未来祭・三幸フェスティバル・各種委員会活動等）」、「課外活動（部活・同好会・サークル・ボランティア等の活動）」、「アルバイト」の参加度を(1)取り組まなかった、(2)どちらかといえば取り組まなかった、(3)どちらかといえば取り組んだ、(4)取り組んだ、の4段階で回答を求めた。

授業・ゼミ

[授業・ゼミ]	取り組まなかった		どちらかといえば取り組まなかった		どちらかといえば取り組んだ		取り組んだ		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	0	0.0%	5	6.4%	22	28.2%	51	65.4%	78
こども保育・教育専攻	1	0.9%	4	3.5%	41	36.3%	67	59.3%	113
モチベーション行動科学部	0	0.0%	1	2.3%	14	31.8%	29	65.9%	44
総計	1	0.4%	10	4.3%	77	32.8%	147	62.6%	235

資格取得（資格取得のための勉強・準備・実習等を含む）

[資格取得（資格取得のための勉強・準備・実習等を含む）]	取り組まなかった		どちらかといえば取り組まなかった		どちらかといえば取り組んだ		取り組んだ		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	15	19.2%	22	28.2%	26	33.3%	15	19.2%	78
こども保育・教育専攻	7	6.1%	7	6.1%	46	40.4%	54	47.4%	114
モチベーション行動科学部	13	30.2%	10	23.3%	9	20.9%	11	25.6%	43
総計	35	14.9%	39	16.6%	81	34.5%	80	34.0%	235

プロジェクト（未来祭・三幸フェスティバル・各種委員会活動等）

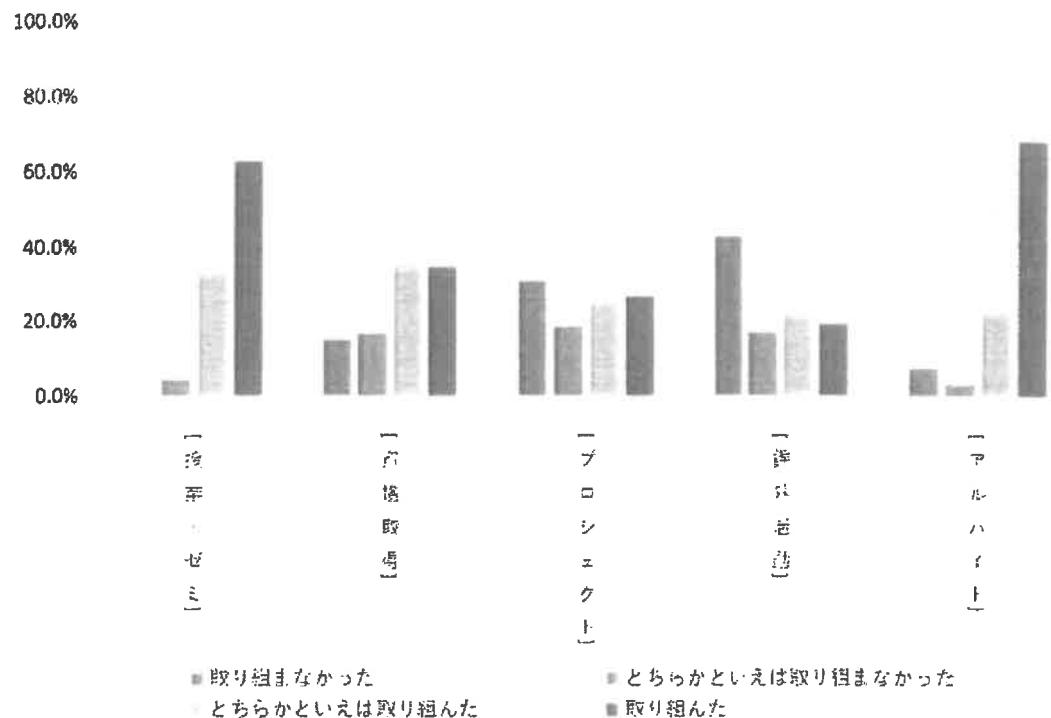
[プロジェクト（未来祭・三幸フェスティバル・各種委員会活動等）]	取り組まなかった		どちらかといえば取り組まなかった		どちらかといえば取り組んだ		取り組んだ		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	32	41.6%	18	23.4%	14	18.2%	13	16.9%	77
こども保育・教育専攻	23	20.2%	19	16.7%	36	31.6%	36	31.6%	114
モチベーション行動科学部	17	38.6%	6	13.6%	8	18.2%	13	29.5%	44
総計	72	30.6%	43	18.3%	58	24.7%	62	26.4%	235

課外活動(部活・同好会・サークル・ボランティア等の活動)

[課外活動(部活・同好会・サークル・ボランティア等の活動)]	取り組まなかった		どちらかといえば取り組まなかった		どちらかといえば取り組んだ		取り組んだ		統計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	39	50.6%	13	16.9%	12	15.6%	13	16.9%	77
こども保育・教育専攻	37	82.7%	20	17.7%	34	30.1%	22	19.5%	113
モチベーション行動科学部	23	52.3%	6	13.6%	6	13.6%	9	20.5%	44
総計	99	42.3%	39	16.7%	52	22.2%	44	18.8%	234

アルバイト

[アルバイト]	取り組まなかった		どちらかといえば取り組まなかった		どちらかといえば取り組んだ		取り組んだ		統計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	4	5.1%	3	3.8%	11	14.1%	60	76.9%	78
こども保育・教育専攻	8	7.0%	2	1.8%	35	30.7%	69	60.5%	114
モチベーション行動科学部	5	11.4%	1	2.3%	7	15.9%	31	70.5%	44
総計	17	7.2%	6	2.5%	53	22.5%	160	67.8%	236



学生生活での活動への積極的参加に関して、「取り組んだ」と答えた者の割合は、「アルバイト」(67.8%)、「授業・ゼミ」(62.6%)が上位であった。反対に、「取り組まなかった」と答えた者の割合は「課外活動」(42.3%)、「プロジェクト」(30.6%)が上位であった。このことから、卒業年次生はアルバイトと授業・ゼミに積極的に参加している一方で、課外活動やプロジェクトには積極的に参加していないことが分かった。授業・ゼミに関しては、卒業論文執筆には自主的に課題に取り組む必要があるため、積極的な参加

度が高くなつたことが考えられる。また、アルバイトに関しては、次項の項目に関連するが、自身のアルバイトでの収入に、日々の出費を賄つている者が多く、そのため、アルバイトに積極的に関わつたと考えられる。学内の課外活動やプロジェクトに関しては、4年生は課外活動やプロジェクトの役員を引退しており、学内で活動する機会が減少しているためと考えられるため、引退後も相談役や後輩との交流を持つ機会を提供できれば、積極的参加者の割合は増えていくと考えられる。

10. 収入源について

学生の収入源を知るため、「Q10. あなたはどのような収入に頼って日々の生活を送っていますか。」と質問し、「家族からの仕送り・小遣い」、「奨学金」、「アルバイト等による自身の収入」の依存度を(1)頼っていない、(2)どちらかといえば頼っていない、(3)どちらかといえば頼っている、(4)頼っている、の4段階で回答を求めた。

家族からの仕送り・小遣い

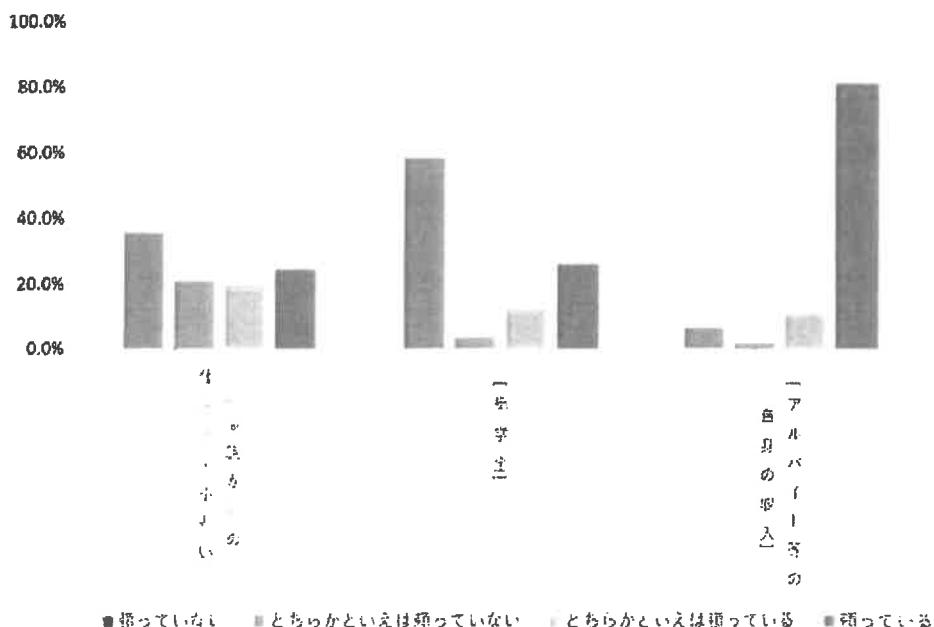
[家族からの仕送り・小遣い]	頼っていない		どちらかといえば 頼っていない		どちらかといえば 頼っている		頼っている		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	26	38.3%	14	17.9%	20	25.6%	18	23.1%	78
こども保育・教育専攻	41	36.9%	21	18.9%	20	18.0%	29	26.1%	111
モチベーション行動科学部	15	35.7%	13	31.0%	5	11.9%	9	21.4%	42
総計	82	35.5%	48	20.8%	45	19.5%	56	24.2%	231

奨学金

[奨学金]	頼っていない		どちらかといえば 頼っていない		どちらかといえば 頼っている		頼っている		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	47	61.0%	3	3.9%	10	13.0%	17	22.1%	77
こども保育・教育専攻	62	57.4%	3	2.8%	12	11.1%	31	28.7%	108
モチベーション行動科学部	24	55.8%	2	4.7%	6	14.0%	11	25.6%	43
総計	133	58.3%	8	3.5%	28	12.3%	59	25.9%	228

アルバイト等による自身の収入

[アルバイト等による自身の収入]	頼っていない		どちらかといえば 頼っていない		どちらかといえば 頼っている		頼っている		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	2	2.6%	1	1.3%	6	7.7%	69	88.5%	78
こども保育・教育専攻	10	8.8%	2	1.8%	15	13.2%	87	76.3%	114
モチベーション行動科学部	3	6.8%	1	2.3%	5	11.4%	35	79.5%	44
総計	15	6.4%	4	1.7%	26	11.0%	191	80.9%	236



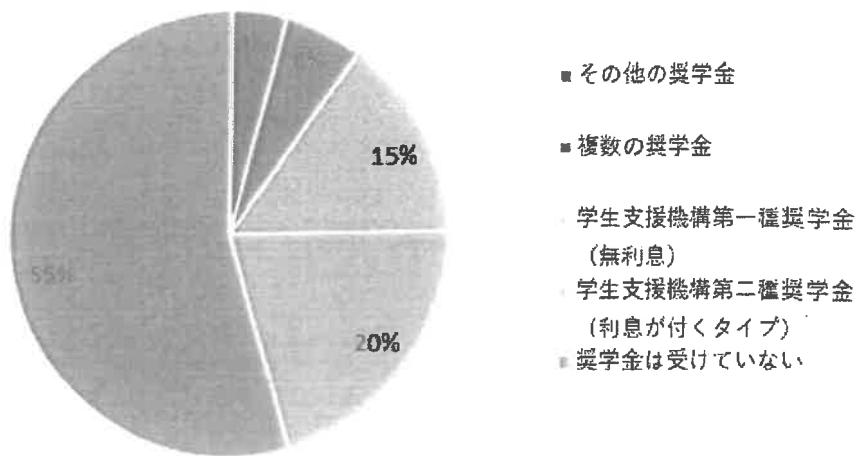
日々の生活の収入源に「慣っている」と答えた者の割合は、「アルバイト等による自身の収入」(80.9%)が最も高く、次いで「奨学金」(25.9%)であり、「親からの仕送り・小遣い」(24.2%)が最も少ない割合であった。このことから、本学学生の多くは自身のアルバイトの収入で、日々の支出を賄っていることが分かった。また、奨学金に関しては「慣っていない」(58.3%)と回答した割合も高いことから、奨学金受給者が日々の支出に奨学金を充てていることが窺える。

11. 奨学金について

奨学金の受給状況を知るために、「Q11. あなたは現在、奨学金を受けていますか。受けているものすべてに✓をいれてください。奨学金を全く受けていない場合は、「奨学金は受けていない」にだけ✓をつけてください。」と質問し、(1) 奨学金は受けていない、(2) 学生支援機構第一種奨学金（無利息）、(3) 学生支援機構第二種奨学金（利息が付くタイプ）、(4) その他の奨学金、から回答を求めた。

奨学金の状況

奨学金の状況	度数	(%)
奨学金は受けていない	130	55%
学生支援機構第一種奨学金（無利息）	35	15%
学生支援機構第二種奨学金（利息が付くタイプ）	49	21%
複数の奨学金	14	6%
その他の奨学金	10	4%
合計	288	100%



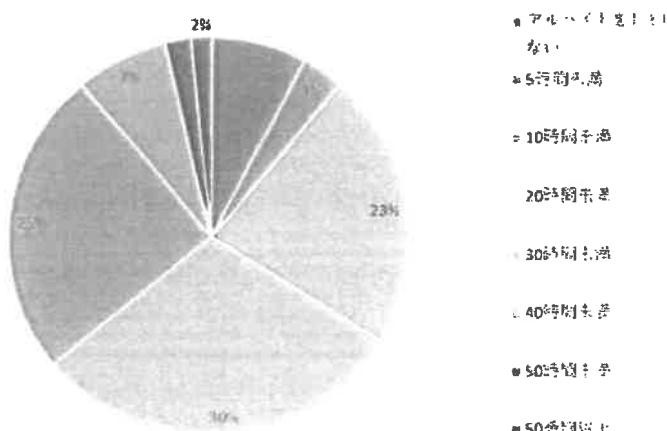
12. アルバイト時間とアルバイトによる収入について

アルバイト時間

アルバイト時間を知るために、「学期中、1週間で平均何時間くらいアルバイトをしていましたか。数字を入力してください。(アルバイトをしていなかった場合は、「0」と入力してください。)」と質問し、実数(分)で回答を求めた。

アルバイト時間

学期中の1週間あたりの アルバイト時間(時間)	アルバイト をしていない	5時間未満	10時間未満	20時間未満	30時間未満	40時間未満	50時間未満	50時間以上	総計
こども心理学専攻	5	3	17	24	17	9	1	2	78
こども保育・教育専攻	8	3	25	33	35	6	2	1	118
デベーション行動科学部	5	2	11	14	6	2	2	1	45
総計	18	8	53	71	58	17	5	4	234

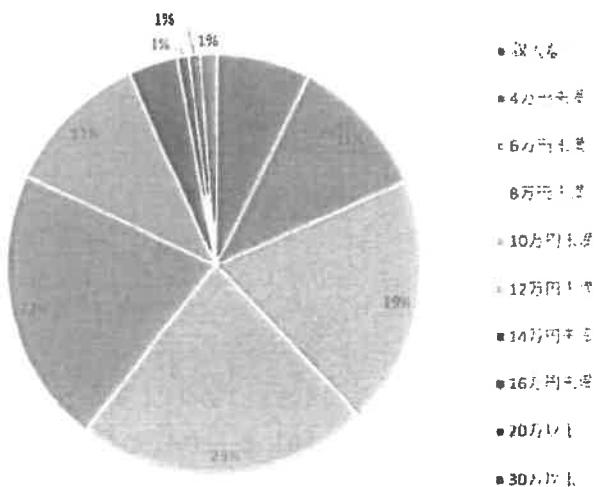


アルバイトによる収入

アルバイトでの収入金額を知るために、「学期中の1ヶ月の平均的なアルバイト代は何万円ですか。数字を入力してください。(アルバイトをしていなかった場合は、「0」と入力してください。)」と質問し、実数(万円)で回答を求めた。

アルバイトによる収入

学期中の月当たりの平均アルバイト代	収入なし	4万円未満	6万円未満	8万円未満	10万円未満	12万円未満	14万円未満	16万円未満	20万以上 30万未満	30万以上	総計
子ども心理専攻	5	6	15	21	17	7	9	0	1	1	76
子ども保育・教育専攻	7	15	24	23	28	14	5	1	1	0	113
モディレーション行動科学部	5	5	6	9	10	5	1	1	0	2	44
総計	17	26	45	63	50	26	9	2	2	3	233



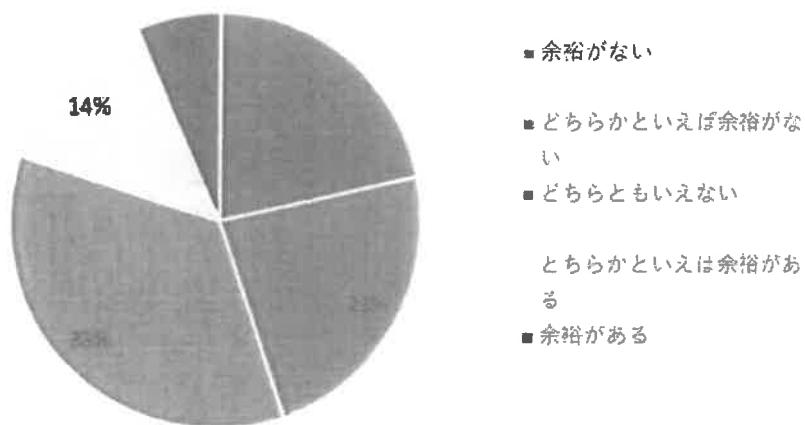
アルバイト時間は「20時間未満」(30%)が最も多く、次いで「30時間未満」(25%)、「10時間未満」(23%)という結果であった。またアルバイトによる収入では、「8万円未満」(23%)が最も多く、次いで「10万円未満」(21%)、「6万円未満」(19%)という結果であった。このことから、多くの学生が扶養控除の範囲内でアルバイトを行っていることが窺える。

13. 現在の経済状況について

現在の経済状況を知るために「現在の経済状況についてあてはまるものを1つ選んでください。」と質問し、(1) 余裕がない、(2) どちらかといえば余裕がない、(3) どちらともいえない、(4) どちらかといえば余裕がある、(5) 余裕がある、の5段階で回答を求めた。

現在の経済状況

現在の経済状況	余裕がない		どちらかといえば余裕がない		どちらともいえない		どちらかといえば余裕がある		余裕がある		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	16	20.5%	16	20.5%	31	39.7%	9	11.5%	6	7.7%	78
こども保育・教育専攻	28	24.6%	30	26.3%	36	31.6%	15	13.2%	5	4.4%	114
モチベーション行動科学部	7	15.9%	9	20.5%	16	36.4%	8	18.2%	4	9.1%	44
総計	51	21.6%	55	23.3%	83	35.2%	32	13.6%	15	6.4%	236



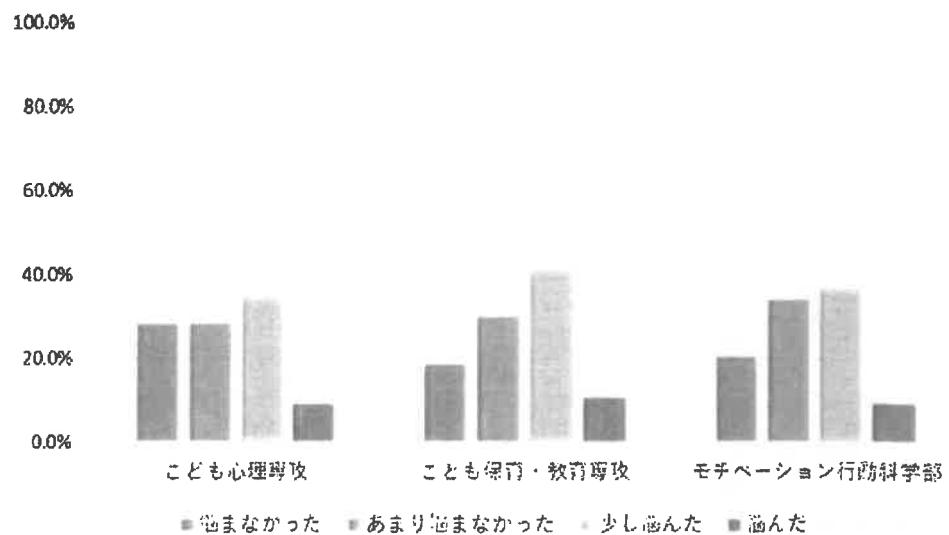
経済状況に関しては、「余裕がある」(6.4%)、「どちらからといえば余裕がある」(13.6%)で全体の20%は経済的に余裕があると回答しており、反対に、「余裕がない」(21.6%)、「どちらからといえば余裕がない」(23.3%)と回答しており、全体の44.9%は経済的に余裕がないと回答していた。このことから、多くの学生が、経済的に余裕がないと感じていることが分かった。そのためにはまず、学生の困窮状況を正しく把握し、適切な支援を行う必要があるとともに、奨学金の紹介や講習会の開催、学内奨学金の充実をはかることが考えられる。

14. 憑みについて

悩んでいる事柄について知るため、「以下の(1)～(8)のことについて、この1年の中で悩むことはどのくらいありましたか。」と質問し、「大学の授業（授業理解・成績・単位等）」、「教員との関係」、「キャンパスアドバイザーとの関係」、「大学卒業後の進路・就職」、「家族との関係」、「友人との関係」、「経済的なこと」、「自分の健康状態」の悩みについて、(1) 悩まなかった、(2) あまり悩まなかった、(3) 少し悩んだ、(4) 悩んだ、の4段階で回答を求めた。

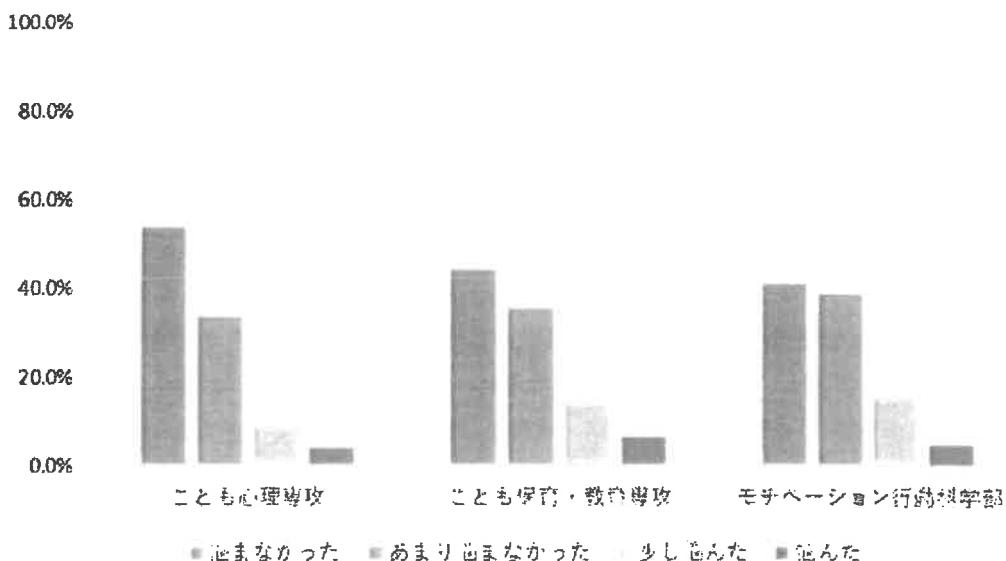
大学の授業(授業理解・成績・単位等)

[大学の授業(授業理解・成績・単位等)]	悩まなかった		あまり悩まなかった		少し悩んだ		悩んだ		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	22	28.2%	22	28.2%	27	34.6%	7	9.0%	78
こども保育・教育専攻	21	18.4%	34	29.8%	47	41.2%	12	10.6%	114
モチベーション行動科学部	9	20.5%	15	34.1%	16	36.4%	4	9.1%	44
総計	62	22.0%	71	30.1%	90	38.1%	23	9.7%	236



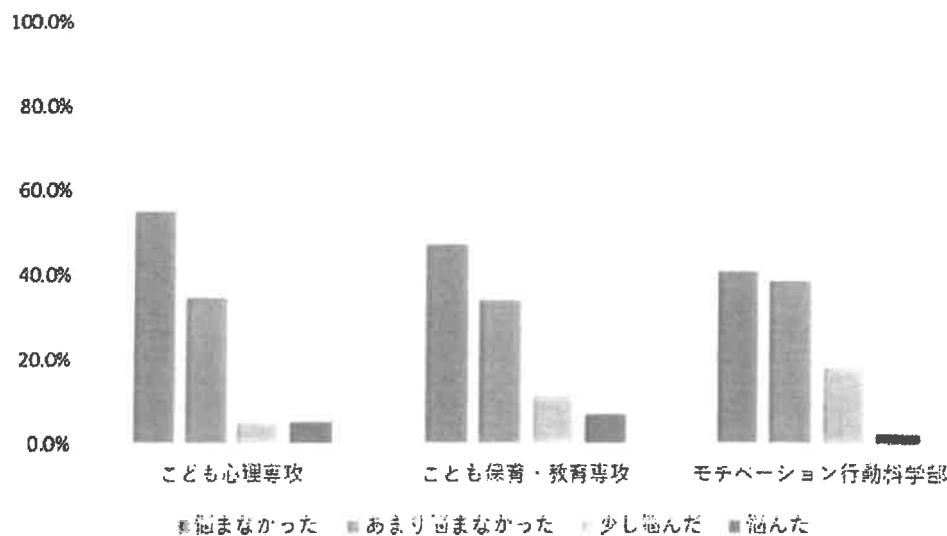
教員との関係

[教員との関係]	悩まなかった		あまり悩まなかった		少し悩んだ		悩んだ		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	42	59.8%	26	39.3%	7	9.0%	3	9.8%	78
こども保育・教育専攻	50	44.2%	40	35.4%	16	14.2%	7	6.2%	114
モチベーション行動科学部	18	40.9%	17	38.6%	7	16.9%	2	4.5%	44
総計	110	46.8%	83	35.3%	90	12.8%	12	5.1%	235



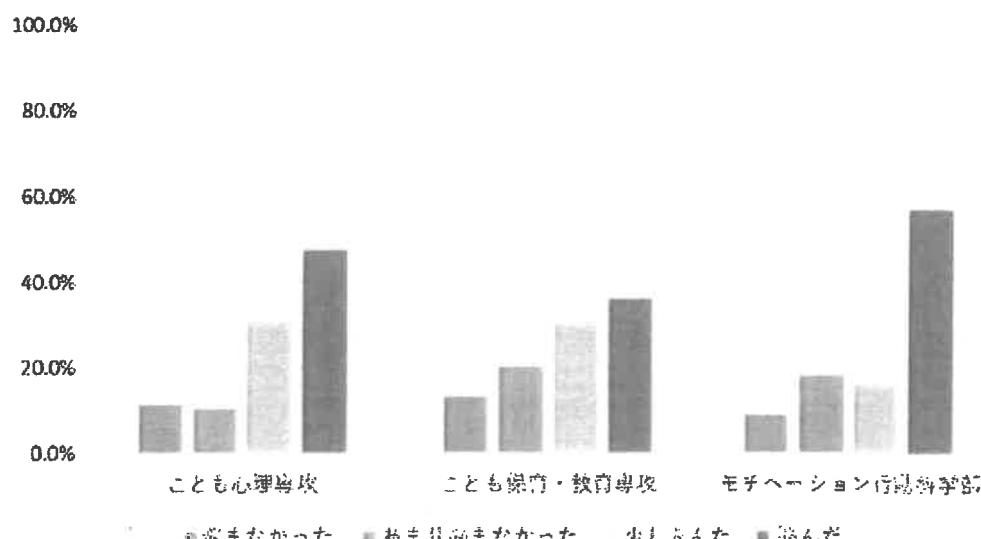
キャンパスアドバイザー(CA)との関係

[キャンパスアドバイザーとの関係]	悩まなかった		あまり悩まなかった		少し悩んだ		悩んだ		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	43	55.1%	27	34.6%	4	5.1%	4	5.1%	78
こども保育・教育専攻	54	47.4%	39	34.2%	13	11.4%	6	7.0%	114
モチベーション行動科学部	18	40.9%	17	38.6%	8	18.2%	1	2.3%	44
総計	115	49.7%	83	35.2%	25	10.6%	13	5.5%	236



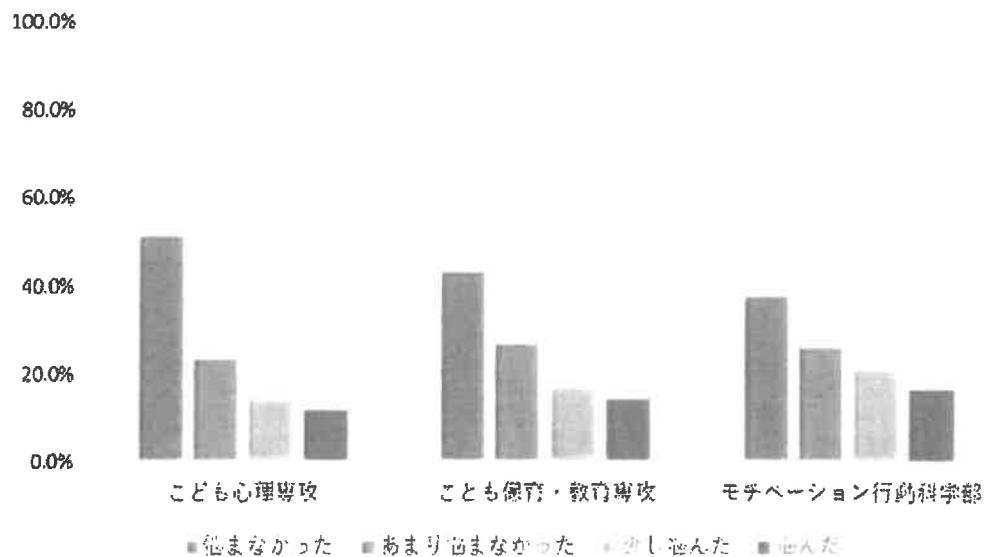
大学卒業後の進路・就職

[大学卒業後の進路・就職]	悩まなかった		あまり悩まなかった		少し悩んだ		悩んだ		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	9	11.5%	8	10.3%	24	30.8%	87	47.4%	78
こども保育・教育専攻	15	13.2%	23	20.2%	35	30.7%	41	36.0%	114
モチベーション行動科学部	4	9.1%	8	18.2%	7	15.9%	25	56.8%	44
総計	28	11.9%	39	16.5%	66	28.0%	103	45.6%	236



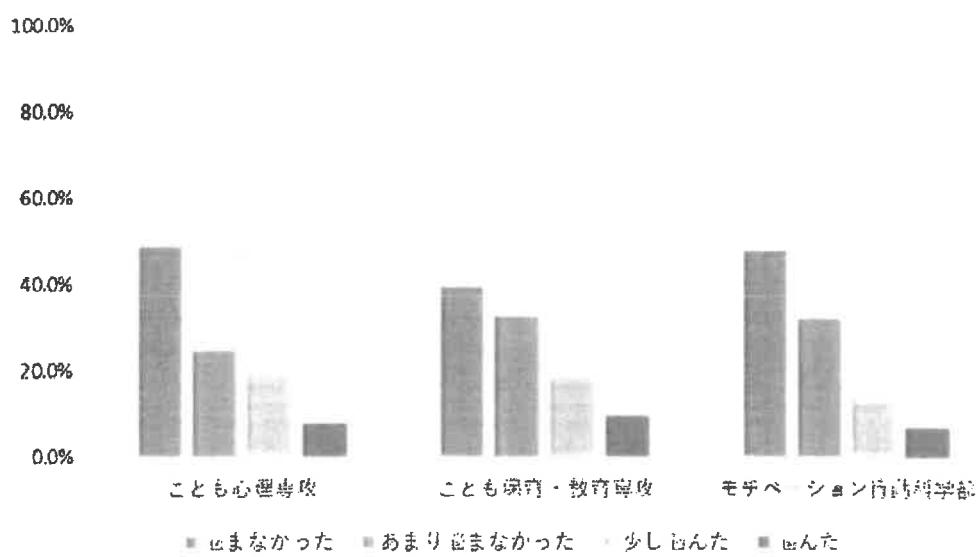
家族との関係

[家族との関係]	悩まなかった		あまり悩まなかった		少し悩んだ		悩んだ		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	40	51.3%	18	23.1%	11	14.1%	9	11.5%	78
こども保育・教育専攻	49	43.0%	30	26.3%	19	16.7%	16	14.0%	114
モチベーション行動科学部	16	37.2%	11	25.6%	9	20.9%	7	16.3%	49
総計	105	44.7%	59	25.1%	39	16.6%	32	13.6%	235



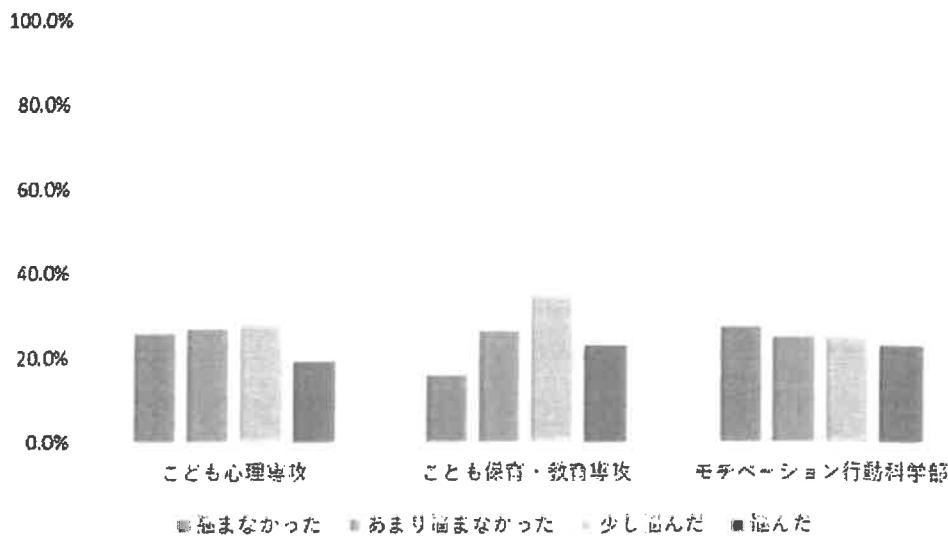
友人との関係

[友人との関係]	悩まなかった		あまり悩まなかった		少し悩んだ		悩んだ		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	98	49.7%	19	24.4%	15	19.2%	6	7.7%	78
こども保育・教育専攻	45	39.6%	37	32.6%	21	18.4%	11	9.6%	114
モチベーション行動科学部	21	47.7%	14	31.6%	6	13.6%	8	6.8%	44
総計	104	44.1%	70	29.7%	42	17.8%	20	8.5%	236



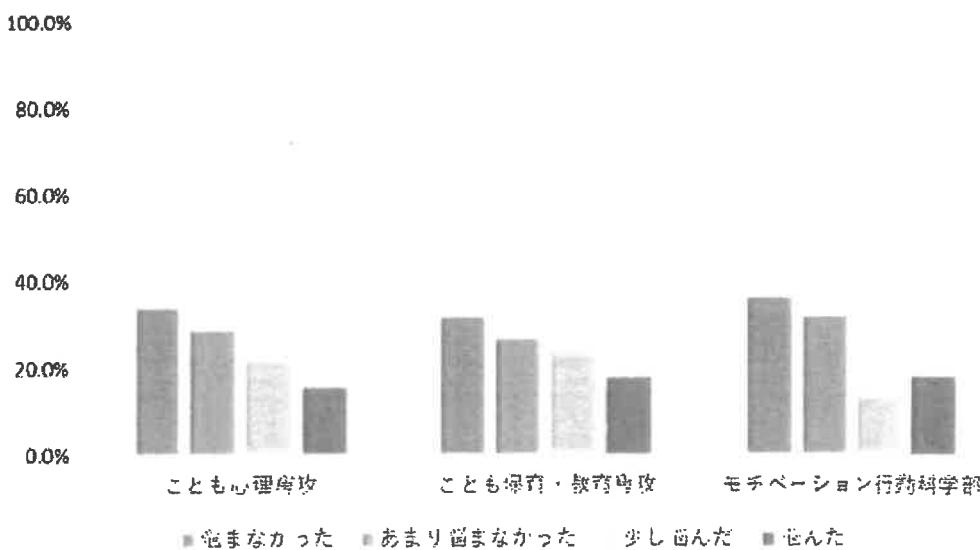
経済的なこと

[経済的なこと]	悩まなかった		あまり悩まなかった		少し悩んだ		悩んだ		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	20	25.6%	21	26.9%	22	28.2%	15	19.2%	78
こども保育・教育専攻	13	15.8%	30	36.3%	40	35.1%	26	22.8%	114
モチベーション行動科学部	12	27.3%	11	25.0%	11	25.0%	10	22.7%	44
総計	50	21.2%	62	26.3%	78	30.9%	51	21.6%	236



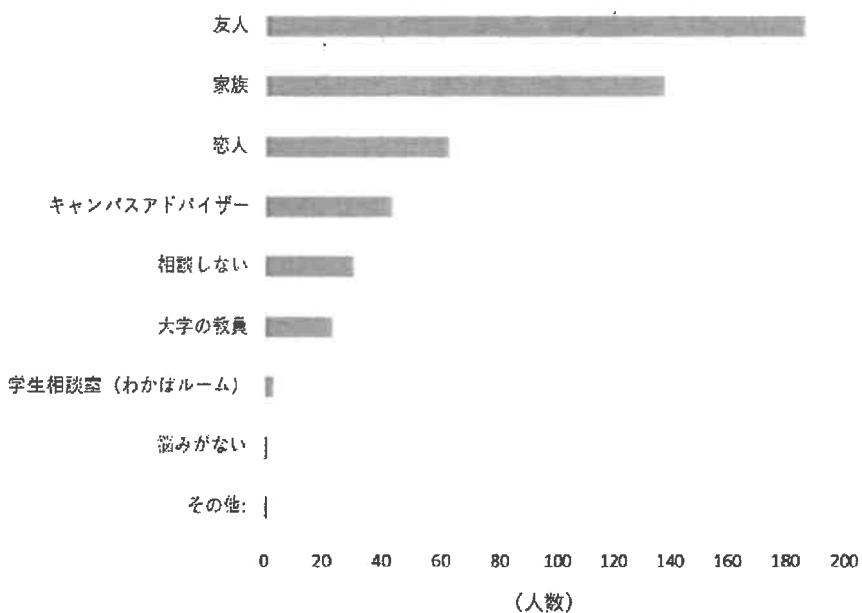
自分の健康状態

[自分の健康状態]	悩まなかった		あまり悩まなかった		少し悩んだ		悩んだ		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	26	33.8%	22	28.6%	17	22.1%	12	15.6%	77
こども保育・教育専攻	36	31.9%	30	26.5%	27	23.9%	20	17.7%	113
モチベーション行動科学部	16	36.4%	14	31.8%	6	13.6%	8	18.2%	44
総計	78	33.8%	66	28.2%	50	21.4%	40	17.1%	234



15. 相談相手について

悩みの相談相手を知るため、「悩みごとがあるときに相談するのは誰ですか。以下のうちあてはまるものすべてに✓をつけてください。」と質問し、回答（複数回答）を求めた。



悩んでいる事柄については、「大学卒業後の進路・就職」(43.6%)、「経済的な事」(21.6%)、「自分の健康状態」(17.1%) の順に悩んだとの回答が多かった。これらの項目は、自分の将来に関わる悩みであり、大学を卒業した後を考え、悩みや不安を抱えていることが窺える。そのため、卒業を迎えるまでの間に、働くことや人生設計に対する講習会や相談を行うことにより、不安を和らげ、実社会に出ていけると考えられる。

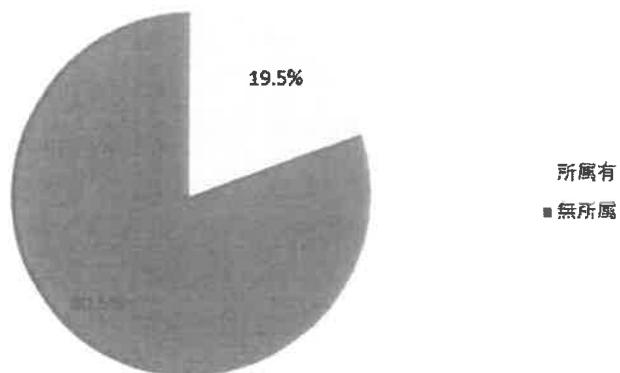
また、相談相手は「友人」(187名)、「家族」(138名)の順で多かったが、悩みの多くが「大学卒業後の進路・就職」や「経済的な事」であるため、同じ状況にある友人や身近にいる家族が相談しやすかったと考えられる。

16. サークル活動について

学生のサークル活動状況を知るため、「あなたは部活・同好会あるいはサークルに所属していますか。」と質問し、回答を求めた。

部活・同好会／サークルの所属

部活・同好会／サークル の所属	部活・同好会・サークルに所属				無所属		総計
	学内		学外		度数	(%)	
こども心理専攻	10	12.8%	1	1.3%	67	85.9%	78
こども保育・教育専攻	27	23.7%	0	0.0%	87	76.3%	114
モチベーション行動科学部	8	18.2%	0	0.0%	36	81.8%	44
総計	45	19.1%	1	0.4%	190	80.5%	236



サークルの所属に関しては、8割の学生が部活・同好会、サークルに所属していないことが分かった。

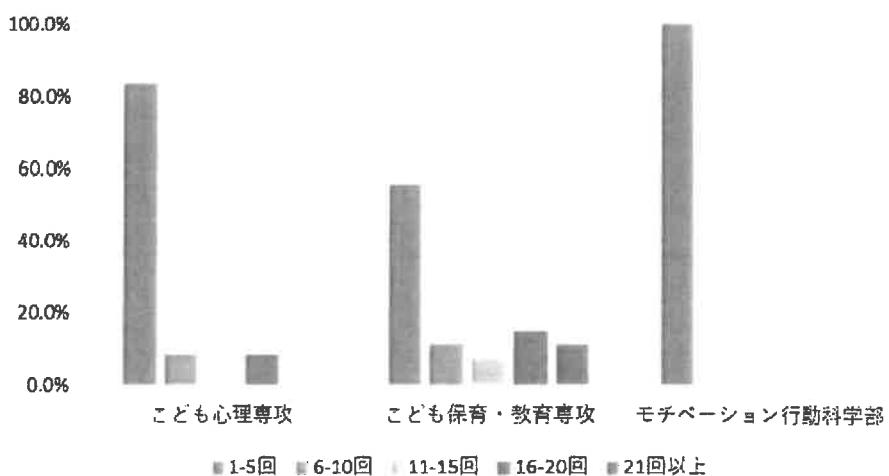
17. ボランティア経験について

ボランティア参加経験を知るため、「この1年間で、ボランティア活動に何回参加しましたか。数字を入力してください。(参加しなかった場合は、「0」と記入してください。)」と質問し、実数（参加回数）の回答を求めた。

ボランティア経験

参加回数	ボランティア経験				総計	
	無		有			
	度数	(%)	度数	(%)		
こども心理専攻	64	84.2%	12	15.8%	76	
こども保育・教育専攻	84	75.7%	27	24.3%	111	
モチベーション行動科学部	37	86.0%	6	14.0%	43	
総計	185	80.4%	45	19.6%	230	

参加回数	ボランティア経験者のボランティア回数						統計	
	1-5回		6-10回		11-15回			
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
こども心理専攻	10	83.3%	1	8.3%	0	0.0%	1	8.3%
こども保育・教育専攻	15	55.6%	3	11.1%	2	7.4%	4	14.8%
モチベーション行動科学部	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	31	68.9%	4	8.9%	2	4.4%	5	11.1%
							3	6.7%
								45



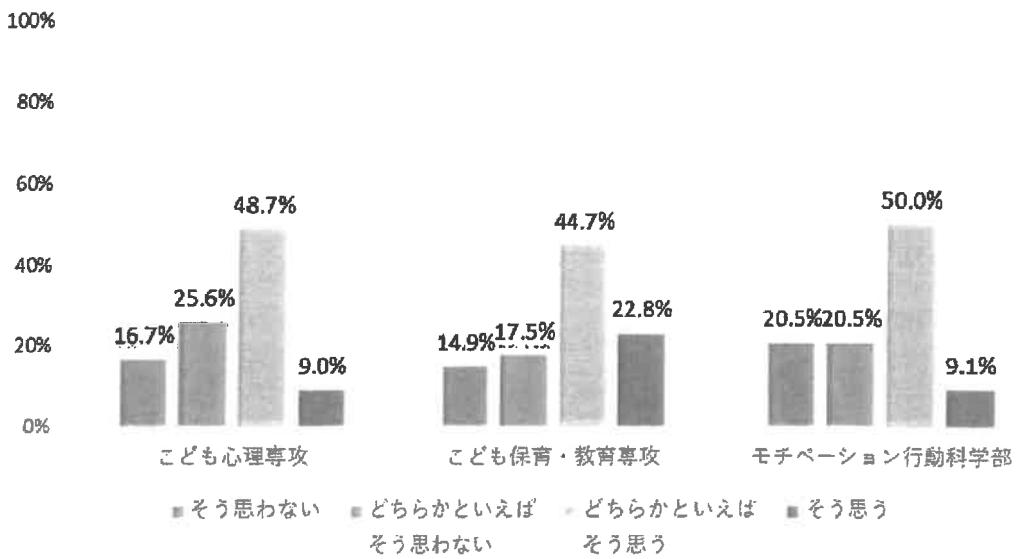
ボランティア経験に関しては、およそ 8 割の学生が未経験であった。しかしながら、本学はボランティア活動を推奨していることもあり、コロナ禍によりボランティア募集そのものが少なかったことも考えらえる。そのため、コロナ前とコロナ後のボランティア募集状況を整理し、検討を行う必要があるといえる。

18. 未来祭と社会に出て役に立つ力について

プロジェクト（未来祭）の参加が社会に役立つ力の育成となるかを知るため、「未来祭を経験することで、社会に出て役に立つ力を身につけられたと思いますか。」と質問し、(1) そう思わない、(2) どちらかといえばそう思わない、(3) どちらかといえばそう思う、(4) そう思う、の 4 段階で回答を求めた。

未来祭

未来祭	そう思わない		どちらかといえば そう思わない		どちらかといえば そう思う		そう思う		統計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	19	16.7%	20	25.6%	38	48.7%	7	9.0%	78
こども保育・教育専攻	17	14.9%	20	17.5%	51	44.7%	26	22.8%	114
モチベーション行動科学部	9	20.5%	9	20.5%	22	50.0%	4	9.1%	44
総計	39	16.5%	49	20.8%	111	47.0%	37	15.7%	236



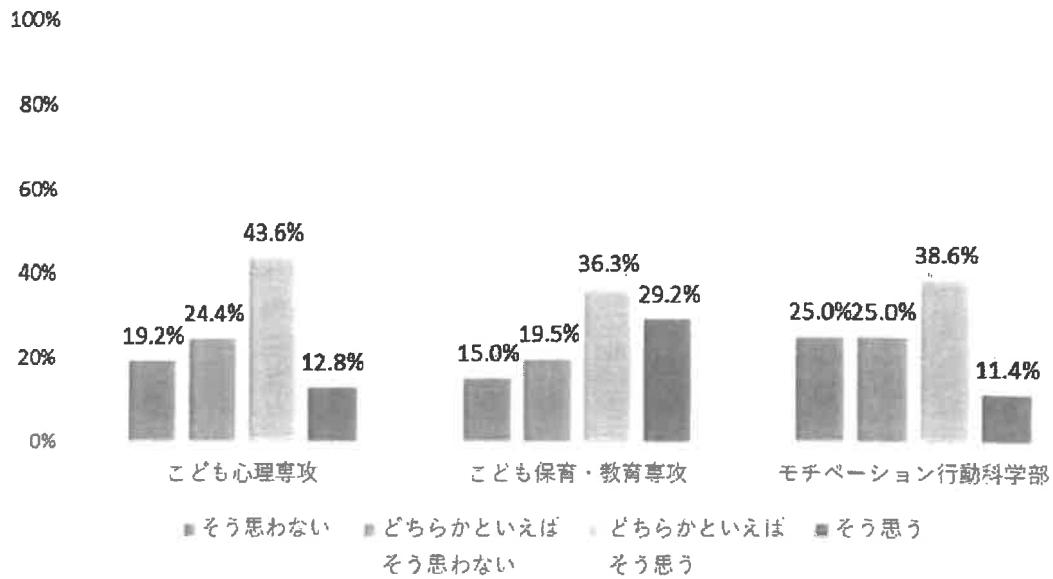
プロジェクト（未来祭）の参加が社会に役立つ力の育成に役立つかに関しては、学部専攻に関わらず、半数の学生が社会に役立つ力の育成に役立つを感じていることが分かった。特にこども保育・教育専攻ではその傾向が強く、来校した子どもやその保護者との関わりが、将来役に立つと感じていると考えられる。そのため、他の学部、専攻の学生であっても、未来祭と自分の将来との接点が感じられれば、社会に役立つ力の育成につながると実感できると考えられる。

19. 三幸フェスティバルと社会に出て役立つ力について

プロジェクト（三幸フェスティバル）の参加が社会に役立つ力の育成となるかを知るため、「三幸フェスティバルを経験することで、社会に出て役に立つ力を身につけられたと思いますか。」と質問し、(1) そう思わない、(2) どちらかといえばそう思わない、(3) どちらかといえばそう思う、(4) そう思う、の4段階で回答を求めた。

三幸フェスティバル

三幸フェスティバル	そう思わない		どちらかといえば そう思わない		どちらかといえば そう思う		そう思う		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	15	19.2%	19	24.4%	34	43.6%	10	12.8%	78
こども保育・教育専攻	17	15.0%	22	19.5%	41	36.3%	33	29.2%	113
モチベーション行動科学部	11	25.0%	11	25.0%	17	38.6%	5	11.4%	44
総計	49	18.3%	52	22.1%	92	39.1%	48	20.4%	235



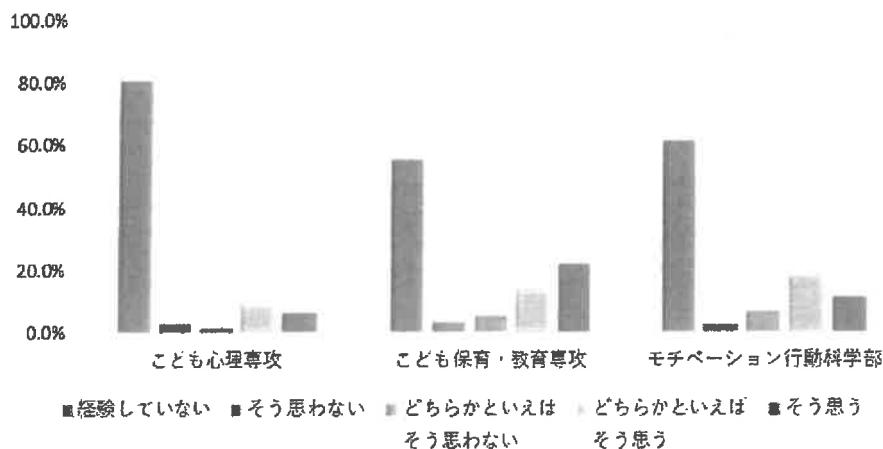
未来祭と同様の結果であり、学部専攻に関わらず、半数の学生が社会に役立つ力の育成に役立つ感じていることが分かった。やはり、こども保育・教育専攻でその傾向が強く、ダンスや司会進行役は保育士や幼稚園教諭に求められる能力であるため、より身近に感じられた結果であると考えられる。そのため、他の学部、専攻の学生であっても、未来祭同様、自分の将来との接点が感じられれば、社会に役立つ力の育成につながると実感できると考えられる。

20. 各種プロジェクトと社会に出て役に立つ力について

プロジェクトの参加が社会に役立つ力の育成となるかを知るため、「以下の各プロジェクト活動を通して社会に出て役に立つ力を身につけられたと思いますか。(経験していないものについては「経験していない」を選んでください。)」質問し、「学友会の各種委員会」、「スタートアップセミナー」、「留学」、「インターンシップ」について、(0) 経験していない、(1) そう思わない、(2) どちらかといえばそう思わない、(3) どちらかといえばそう思う、(4) そう思う、の4段階で回答を求めた。

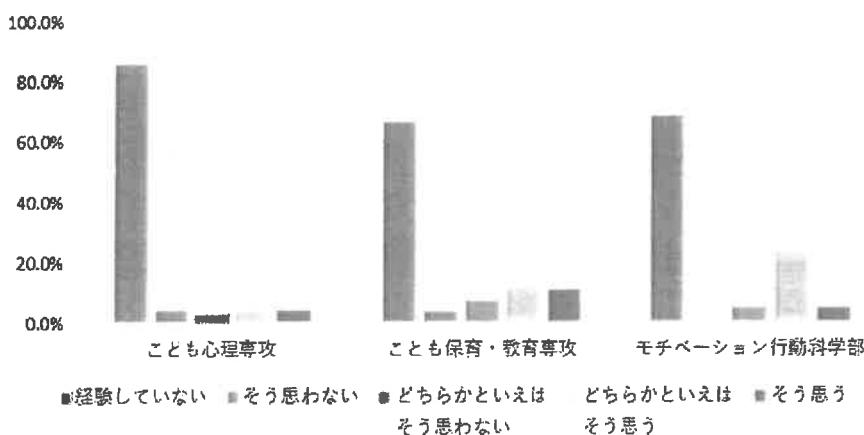
学友会の各種委員会

[学友会の各種委員会]	経験していない		そう思わない		どちらかといえば そう思わない		どちらかといえば そう思う		そう思う		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	63	80.8%	2	2.6%	1	1.3%	7	9.0%	5	6.4%	78
こども保育・教育専攻	68	55.3%	4	3.5%	6	5.3%	16	14.0%	25	21.0%	114
モチベーション行動科学部	27	61.4%	1	2.3%	3	6.6%	6	18.2%	5	11.4%	44
総計	158	64.8%	7	5.0%	10	4.2%	31	13.1%	36	14.8%	238



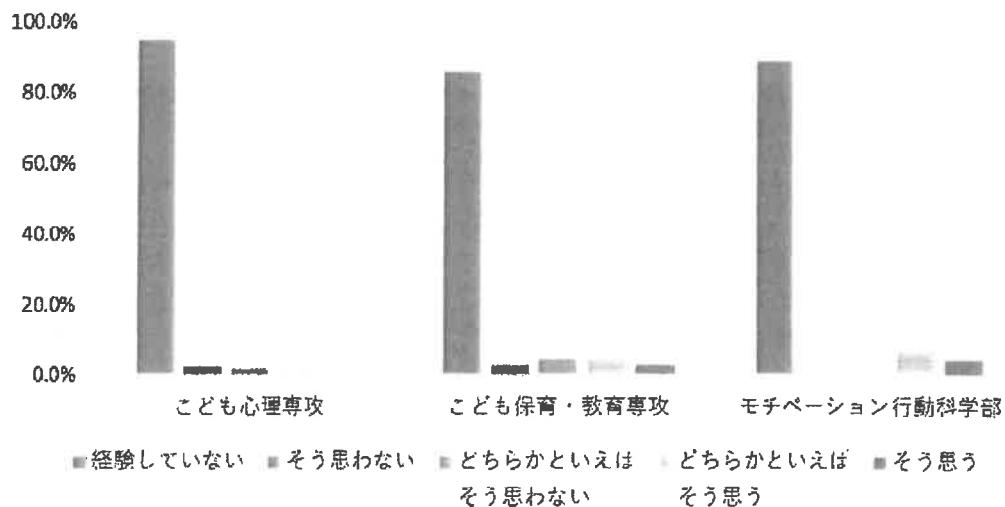
スタートアップセミナースタッフ

[スタートアップセミナースタッフ]	経験していない		そう思わない		どちらかといえば そう思わない		どちらかといえば そう思う		そう思う		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	66	86.7%	3	3.9%	2	2.6%	3	3.9%	3	3.9%	77
こども保育・教育専攻	75	88.4%	4	3.5%	8	7.1%	14	12.4%	12	10.6%	113
モチベーション行動科学部	80	68.2%	0	0.0%	2	4.5%	10	22.7%	2	4.5%	44
総計	171	73.1%	7	3.0%	12	5.1%	27	11.5%	17	7.3%	284



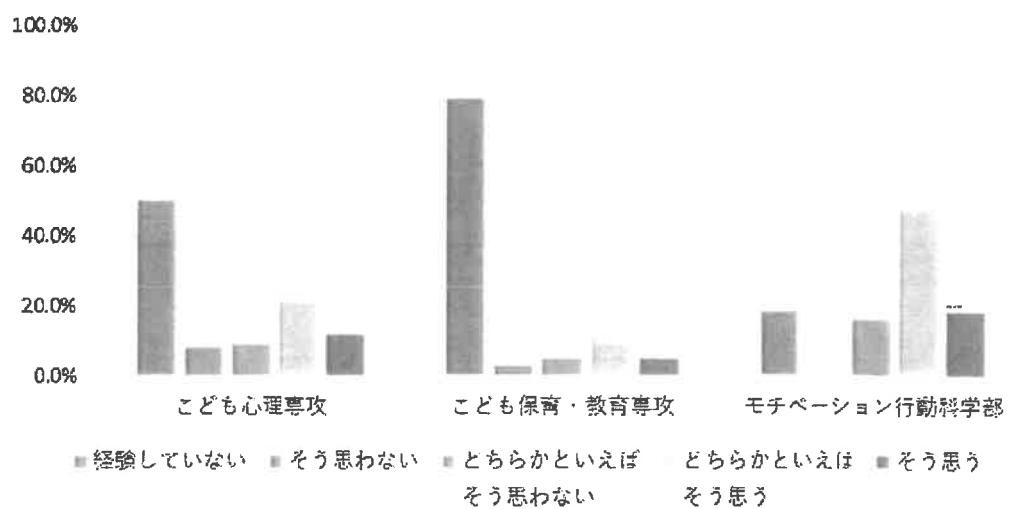
留学

[留学]	経験していない		そう思わない		どちらかといえば そう思わない		どちらかといえば そう思う		そう思う		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	74	94.9%	2	2.6%	1	1.3%	1	1.3%	0	0.0%	78
こども保育・教育専攻	97	85.8%	9	2.7%	5	4.4%	6	4.4%	3	2.7%	113
モチベーション行動科学部	39	88.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	8.8%	2	4.5%	44
統計	210	89.4%	5	2.1%	6	2.6%	9	3.8%	5	2.1%	235



インターンシップ

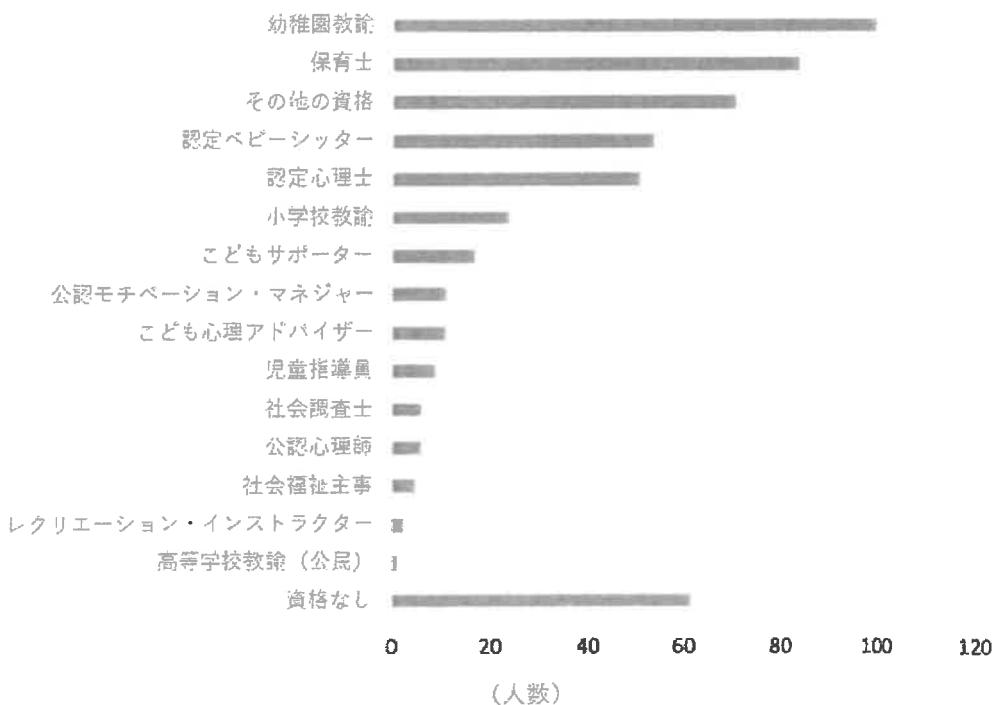
[インターンシップ]	経験していない		そう思わない		どちらかといえば そう思わない		どちらかといえば そう思う		そう思う		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	39	60.0%	6	7.7%	7	9.0%	17	21.8%	8	11.5%	78
こども保育・教育専攻	89	78.8%	3	2.7%	5	4.4%	11	9.7%	6	4.4%	113
モチベーション行動科学部	8	18.2%	0	0.0%	7	15.9%	21	47.7%	6	18.2%	44
統計	136	67.0%	9	3.8%	19	8.1%	49	20.9%	22	9.4%	235



プロジェクト活動に関しては、コロナ禍により中止となったものもあり、「経験していない」の回答が多くかった。その一方で、各種プロジェクト活動の経験者では、「どちらかといえばそう思う」、「そう思う」の割合が「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の割合を上回っており、プロジェクト活動への参加が、実社会で役立つ力を養うと感じていることが分かった。そのため、コロナ禍であっても行えるプロジェクトの在り方を模索し、より多くの学生がプロジェクトに関われる環境を整えていく必要があるといえる。

21. 取得資格・免許について

「本学在学中に取得した資格・免許あるいは取得見込みの資格・免許すべてに✓をつけてください。」と質問し、回答を求めた。また、選択項目にない資格・免許については、「上記の他に取得した、あるいは取得見込の資格・免許があれば、以下にすべて記入してください。」と質問し、自由記述による回答を求めた。



註)公認心理師に関しては「学部で必要な科目の単位を修得した」という意味である。また、自由記述により得られた検定等の取得(色彩検定、秘書技能検定、医療事務検定など)の総数を「その他の資格」とした。また、当該年度に取得者のいなかった「中学校教諭(社会)」、「児童福祉司」はグラフより除外した。

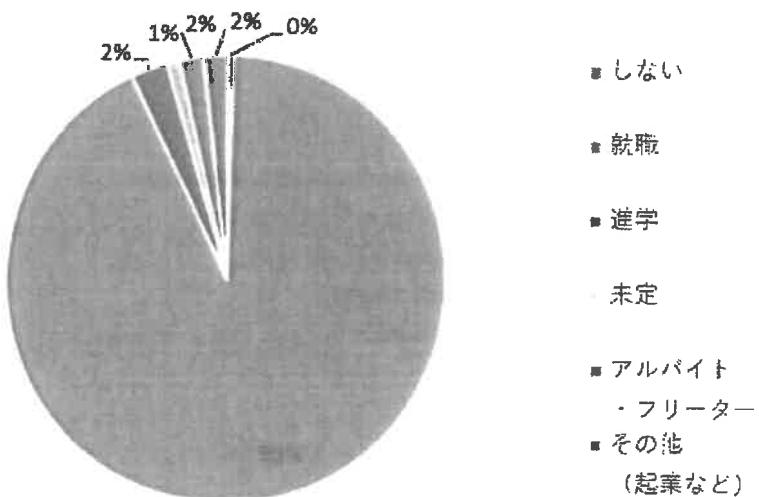
こども保育・教育専攻の学生の多くが、保育士資格か幼稚園教諭免許を取得するため、「幼稚園教諭」「保育士」の順に取得者が多かった。また、「認定ベビーシッター」資格取得者も多いが、保育士資格の取得と本学で開講している「在宅保育研究」の単位取得で取得できる資格であるため、多くのこども保

育・教育専攻の学生が取得したものと考えられる。同様に、「認定心理士」資格も本学で開講している必要科目的単位を取得することにより、資格が得られるため、こども心理専攻の学生やモチベーション行動科学部の学生が取得していることが考えられる。

22. 進路について

卒業後の進路状況を知るために、「卒業後の進路（希望している進路含む）は、以下のうちどれにあてはまりますか。」と質問し、回答を求めた。

卒業後の進路

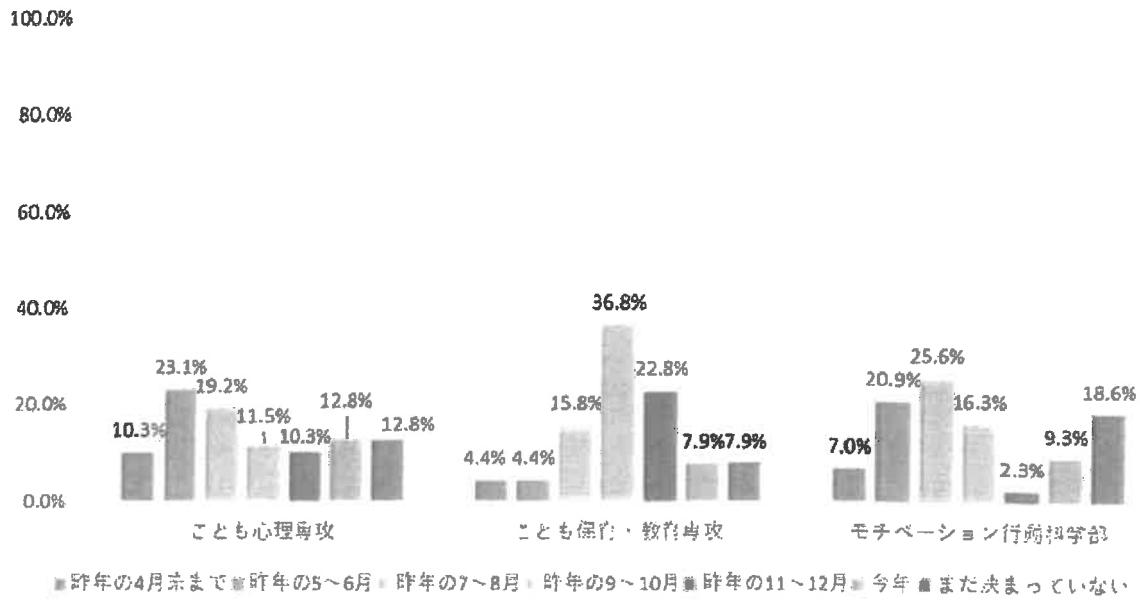


23. 進路の決定時期について

進路の決定時期を知るために、「卒業後の進路（就職先、進学先等は決まっていますか。決まっている場合には、その進路先が決定した時期をお答えください。）」と質問し、(1) 昨年の4月末まで、(2) 昨年の5~6月、(3) 昨年の7~8月、(4) 昨年の9~10月、(5) 昨年の11~12月、(6) 今年、(7) まだ決まっていない、の7段階で回答を求めた。

進路の決定時期

決定時期	昨年の4月末まで		昨年の5~6月		昨年の7~8月		昨年の9~10月		昨年の11~12月		今年		まだ決まっていない 割合		
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)			
こども心理専攻	5	4.5%	16	10.1%	15	8.4%	9	5.1%	8	4.5%	10	5.6%	10	5.6%	78
こども看護・看護専攻	5	4.4%	6	4.4%	15	15.6%	42	38.2%	26	22.6%	9	7.9%	9	7.9%	114
モチベーション行動科学部	8	7.0%	9	20.9%	11	25.6%	7	16.3%	1	2.3%	4	9.3%	6	16.6%	43
总计	16	6.8%	32	13.6%	44	18.7%	68	24.7%	35	14.9%	23	9.8%	27	11.5%	236



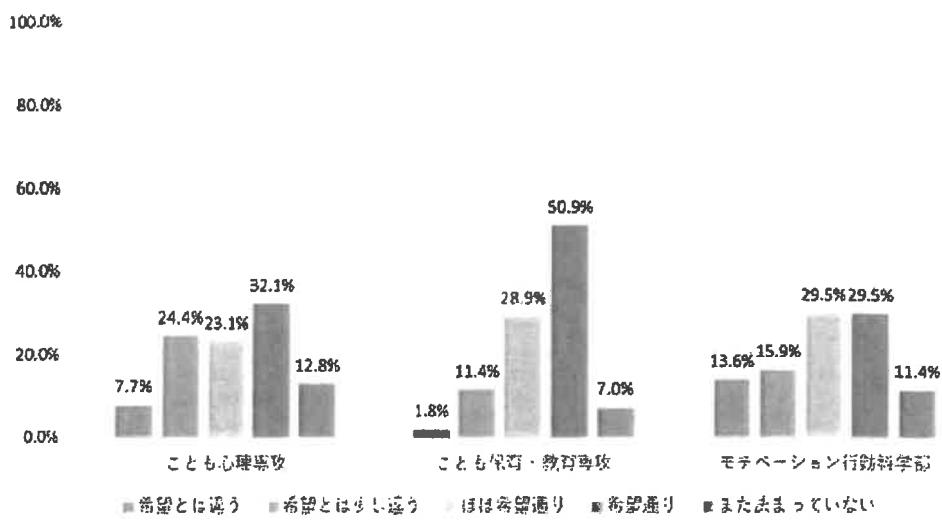
一般企業への就職が多いこども心理専攻の学生とモチベーション行動科学部の学生と異なり、こども保育・教育専攻では9月から10月に就職のピークを迎え、その余波により1月から12月の就職も多い。これは、夏期休暇期間に保育士資格取得の実習があり、その後、保育士募集が増えるため、それにあわせた就職動向になっていると考えられる。一方、一般企業への就職の多い、こども心理専攻とモチベーション行動科学部では一般企業の募集の多い5月-6月、7月-8月での内定が多いことが分かった。その一方で、年明けや未内定者も一定数いるため、早い時期での就職活動への促しがより必要であると考えられる。

24. 希望する進路かどうかについて

希望通りの進路に進めたかを知るために「進路（就職先、進学先等）は希望通りに決まりましたか。」と質問し、(1) 希望とは違う、(2) 希望とは少し違う、(3) ほぼ希望通り、(4) 希望通り、(5) まだ決まっていない、の5段階で回答を求めた。

希望する進路かどうか

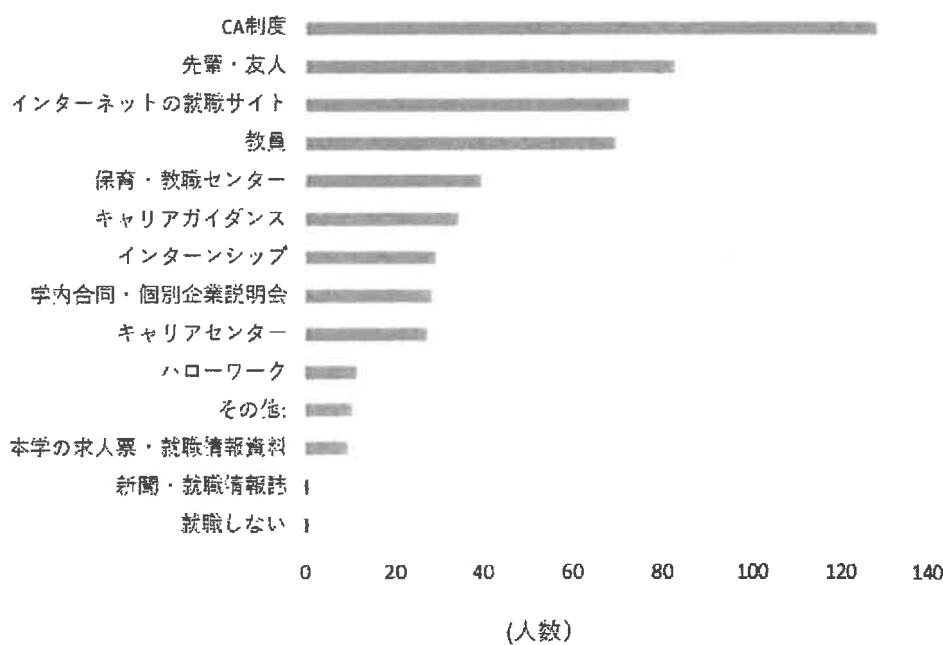
希望度	希望とは違う		希望とは少し違う		ほぼ希望通り		希望通り		まだ決まっていない		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	6	7.7%	19	24.4%	18	23.1%	25	32.1%	10	12.8%	78
こども保育・教育専攻	2	1.8%	18	11.4%	33	26.0%	58	50.9%	8	7.0%	114
モチベーション行動科学部	6	13.6%	7	15.9%	18	29.5%	19	29.5%	5	11.4%	44
総計	14	5.9%	39	16.5%	64	27.1%	96	40.7%	28	9.7%	236



希望の進路に関しては「ほぼ希望通り」、「希望通り」と回答した者がこども心理専攻では 55.2%、こども保育・教育専攻では 79.8%、モチベーション行動科学部では 59.0%であり、半数の学生が自分の希望にあった進路に進めたことが分かった。特にこども保育・教育専攻では、約 8 割の学生が希望した進路に進んだことが分かった。

25. 進路選択や卒業後の進路(就職・進学等)で役立ったものについて

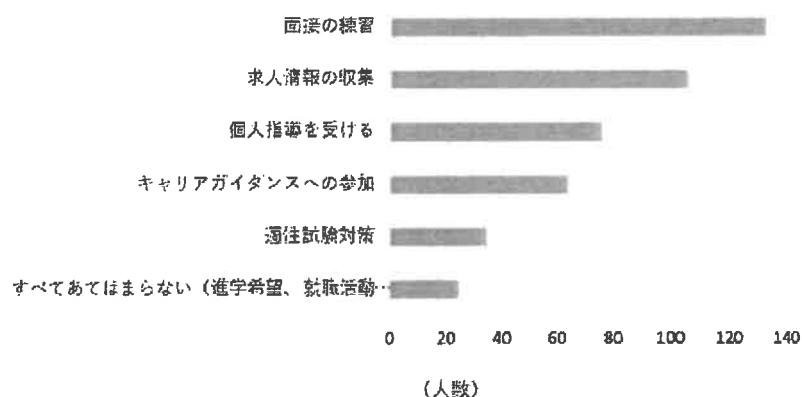
進路選択の際に役立ったと感じたものを知るために、「以下のうち、進路選択や卒業後の進路（就職・進学等）に向けて活動するなかで役立ったのはどれですか。あてはまる項目すべてに✓をつけてください。」と質問し、回答（複数回答）を求めた。



進路選択の際に役立ったと感じたものについては、「CA制度」(129名)、「先輩・友人」(83名)、「インターネットの就職サイト」(73名)の順に多いことが分かった。

26. 就職活動で重要だと感じたことについて

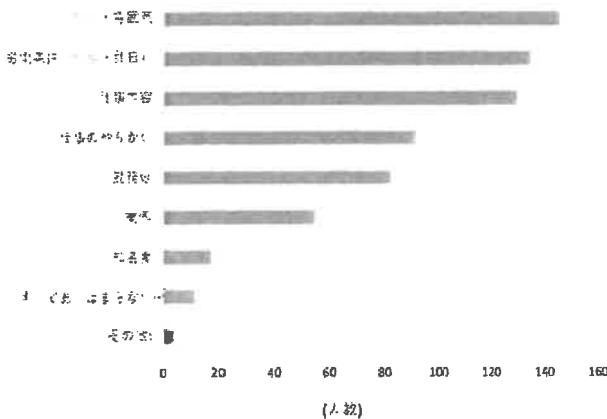
就職活動で重要と感じたものを知るために、「就職活動にあたって重要だと感じたことは何ですか。あてはまるものすべてに✓をつけてください。」と質問し、回答（複数回答）を求めた。



就職活動で重要だと感じたことについては、面接の練習(133名)が最も多く、次いで求人情報の収集(106名)であった。このことから、人前で話すことや就職情報が不足していたことにより、重要であると感じたことが考えられる。そのため、練習機会を増やすことや早い段階からの就職情報の収集の促しをする必要があると言える。また、早い段階から就職活動時に先輩たちが何を重要と感じたかを在学生に伝えることにより、就職活動に対する心構えの養成につながると考えられるため、学内掲示やキャリアガイダンスなどで、広く告知していくと望ましいと考えられる。

27. 志望就職先で重視したことについて

志望就職先で重視したものを知るために、「志望就職先を選択するときに重視したことは何ですか。あてはまるものすべてに✓をつけてください。」と質問し、回答（複数回答）を求めた。



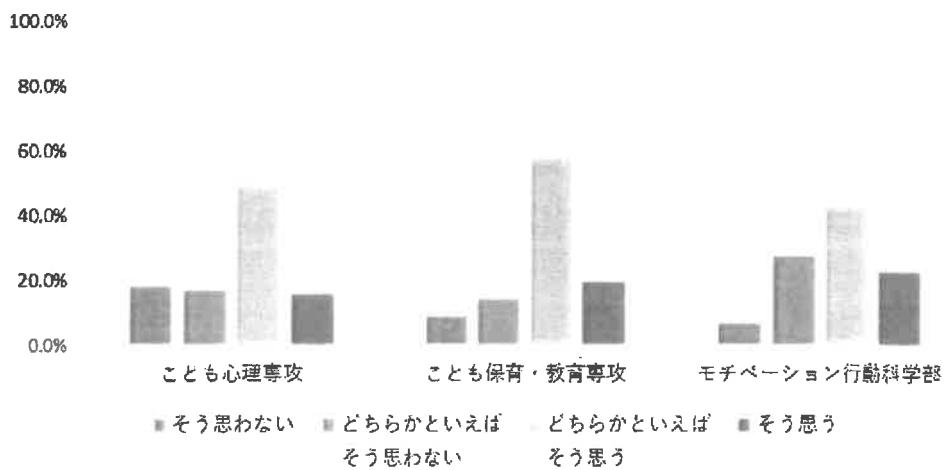
志望就職先で重視したもの「社風・雰囲気」(146名)、「労働条件（給与・休日）」(135名)、「仕事内容」(130名)の順に多いことが分かった。このことから、労働条件（給与・休日）、仕事内容のみならず、社風・雰囲気を伝えることが、就職活動時には重要であると考えられる。そのためには、OB訪問や関係各所の関係者を招いた就職相談会などの開催をより行えれば良いと考えられる。

28. 入学時の目標達成について

入学時の目標達成状況を知るために「入学時に目標としていたことは達成できたと思いますか。」と質問し、(1) そう思わない、(2) どちらかといえばそう思わない、(3) どちらかといえばそう思う、(4) そう思う、の4段階で回答を求めた。

入学時の目標達成

入学時の目標達成	そう思わない		どちらかといえば そう思わない		どちらかといえば そう思う		そう思う		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	14	18.2%	13	16.9%	38	49.4%	12	15.6%	77
こども保育・教育専攻	10	8.8%	16	14.2%	65	57.5%	22	19.5%	113
モチベーション行動科学部	3	6.8%	12	27.3%	19	43.2%	10	22.7%	44
総計	27	11.5%	41	17.5%	122	52.1%	44	18.8%	234



入学時の目標の達成に関しては、およそ70%の学生が「どちらかといえばそう思う」、「そう思う」と答えている。学部専攻別に見てみると、特にこども保育・教育専攻ではその傾向が強く77%の学生が「どちらかといえばそう思う」、「そう思う」と回答している。このことは、もともとこども保育・教育専攻の学生は将来、保育士、幼稚園教諭や子どもと関わる仕事を希望し入学している者が多く、その希望が叶ったためだと考えられる。一方、こども心理専攻やモチベーション行動科学部の学生は、将来の希望はあってもそこに至る道程を自分で設定しなければならないという難しさがあり、目標を達成したという実感が沸きにくいことが考えられる。そのため、入学当初から、何を目標に大学に進学したのか、将来の希望

は何なのかといったことを明確に意識できるような仕組みを考えられる必要があると思う。その上、その学生個人の目標や希望にあった支援を行って行く必要があるといえる。

29. 大学で身に付いた力について

卒業時にどの程度学士力（汎用的スキル）を身に付けたと感じているかを知るために、「本学に入学して、以下の力がどのくらい身に付いたと思いますか。」と質問し、「社会性」、「市民性」、「受容性」、「倫理観」、「生涯学習力」、「課題解決力」、「創造力」について、(1) 全く身に付かなかった、(2) あまり身に付かなかった、(3) どちらともいえない、(4) 身に付いた、(5) とても身に付いた、の 5 段階で回答を求めた。

社会性 *社会性(コミュニケーションの力、協働する力)

[社会性]	全く 身に付かなかった		あまり 身に付かなかった		どちらともいえない		身に付いた		とても身に付いた		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	3	3.0%	5	6.0%	17	22.4%	42	55.3%	9	11.8%	76
こども保育・教育専攻	3	2.6%	1	0.9%	15	13.2%	60	52.6%	35	30.7%	114
モチベーション行動科学部	1	2.3%	3	6.8%	7	15.9%	30	68.2%	3	6.8%	44
総計	7	3.0%	9	3.8%	38	16.7%	132	56.4%	47	20.1%	234

100.0%

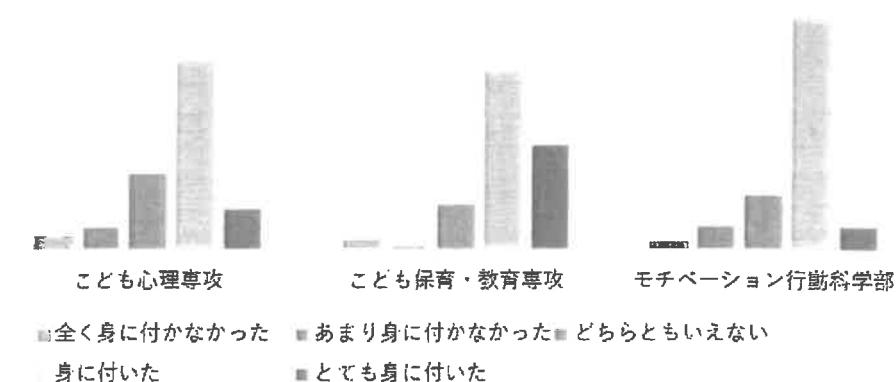
80.0%

60.0%

40.0%

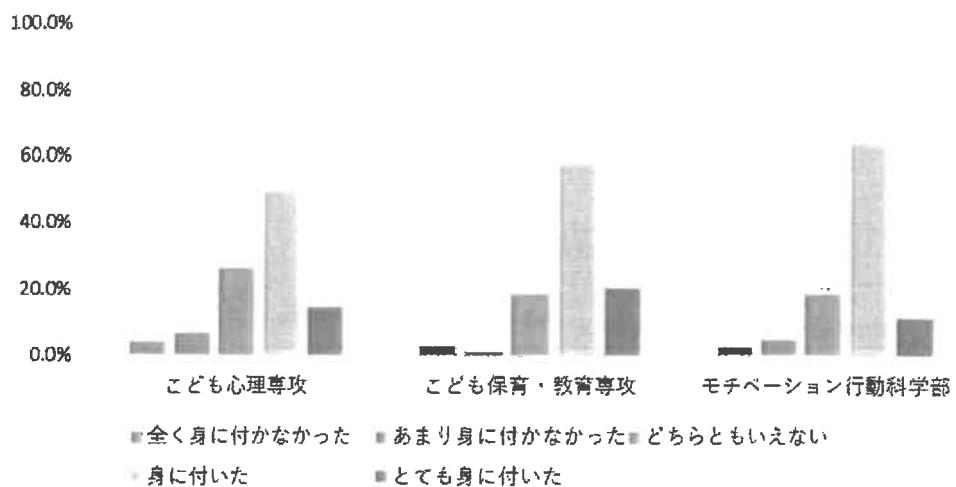
20.0%

0.0%



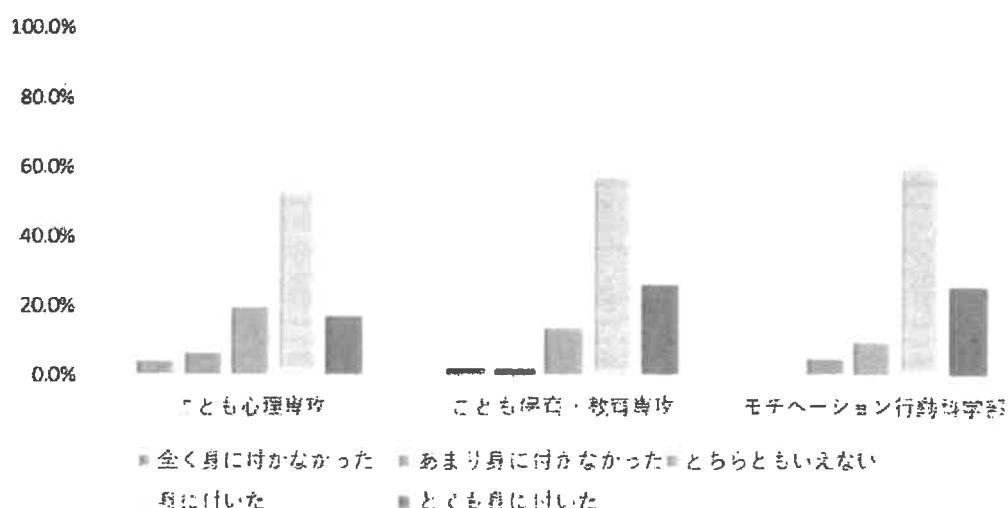
市民性 * 市民性(社会の一員として責任ある行動をする力)

[市民性]	全く 身に付かなかった		あまり 身に付かなかった		どちらともいえない		身に付いた		とても身に付いた		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	3	3.9%	5	6.5%	20	26.0%	98	49.4%	11	14.8%	77
こども保育・教育専攻	3	2.6%	1	0.9%	21	18.4%	66	57.9%	23	20.2%	114
モチベーション行動科学部	1	2.3%	2	4.5%	8	18.2%	28	63.6%	5	11.4%	44
総計	7	3.0%	8	3.4%	49	20.9%	132	56.2%	39	16.6%	235



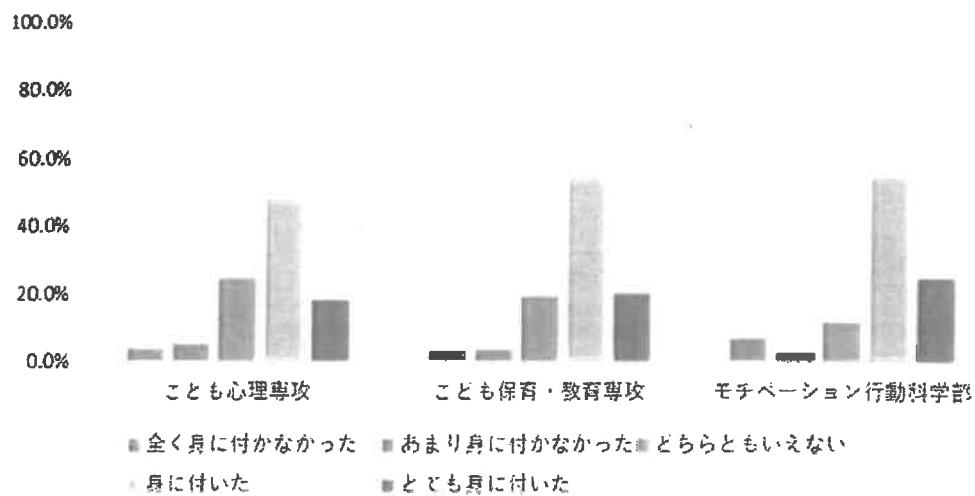
受容性 * 受容性(自分たちの文化、異文化を理解し認める力)

[受容性]	全く 身に付かなかった		あまり 身に付かなかった		どちらともいえない		身に付いた		とても身に付いた		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	3	3.9%	5	6.5%	16	19.5%	41	53.2%	18	16.9%	77
こども保育・教育専攻	2	1.8%	2	1.8%	15	13.3%	65	57.5%	29	25.7%	113
モチベーション行動科学部	0	0.0%	2	4.7%	4	9.8%	26	60.5%	11	25.6%	43
総計	5	2.1%	9	3.9%	34	14.6%	132	56.7%	53	22.7%	235



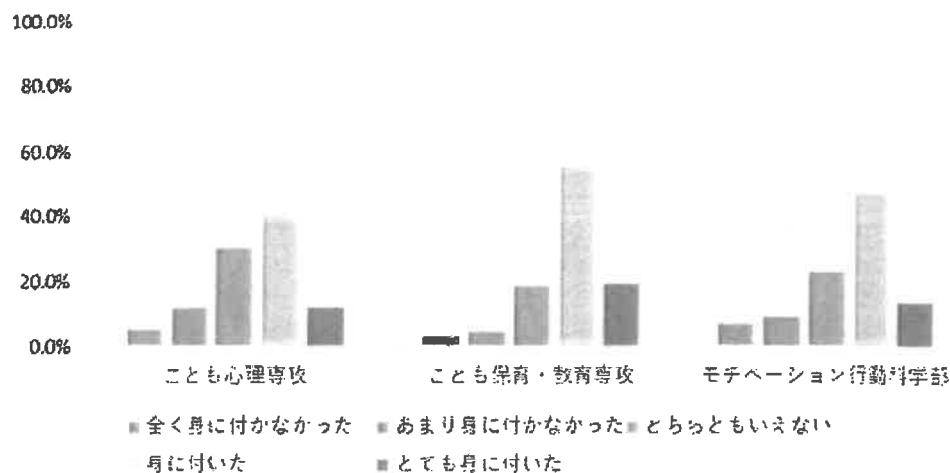
倫理観 * 倫理観(自己を統べる力)

[倫理観]	全く 身に付かなかった		あまり 身に付かなかった		どちらともいえない		身に付いた		とても身に付いた		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	3	3.9%	4	5.2%	19	24.7%	37	48.1%	14	18.2%	77
こども保育・教育専攻	3	2.6%	4	3.5%	22	19.3%	62	54.4%	23	20.2%	114
モチベーション行動科学部	3	6.8%	1	2.3%	5	11.4%	24	54.5%	11	25.0%	44
総計	9	3.8%	9	3.8%	46	19.6%	123	52.8%	48	20.4%	235

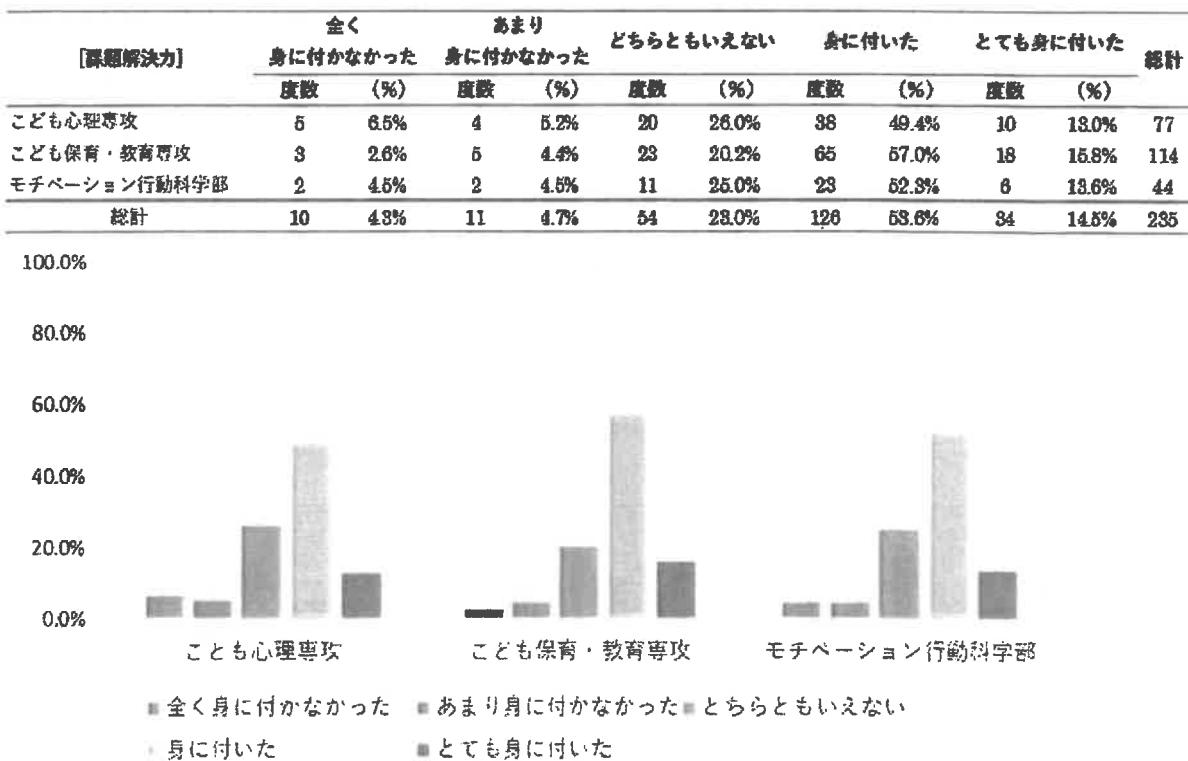


生涯学習力 * 生涯学習力(常に学び、向上を続ける態度)

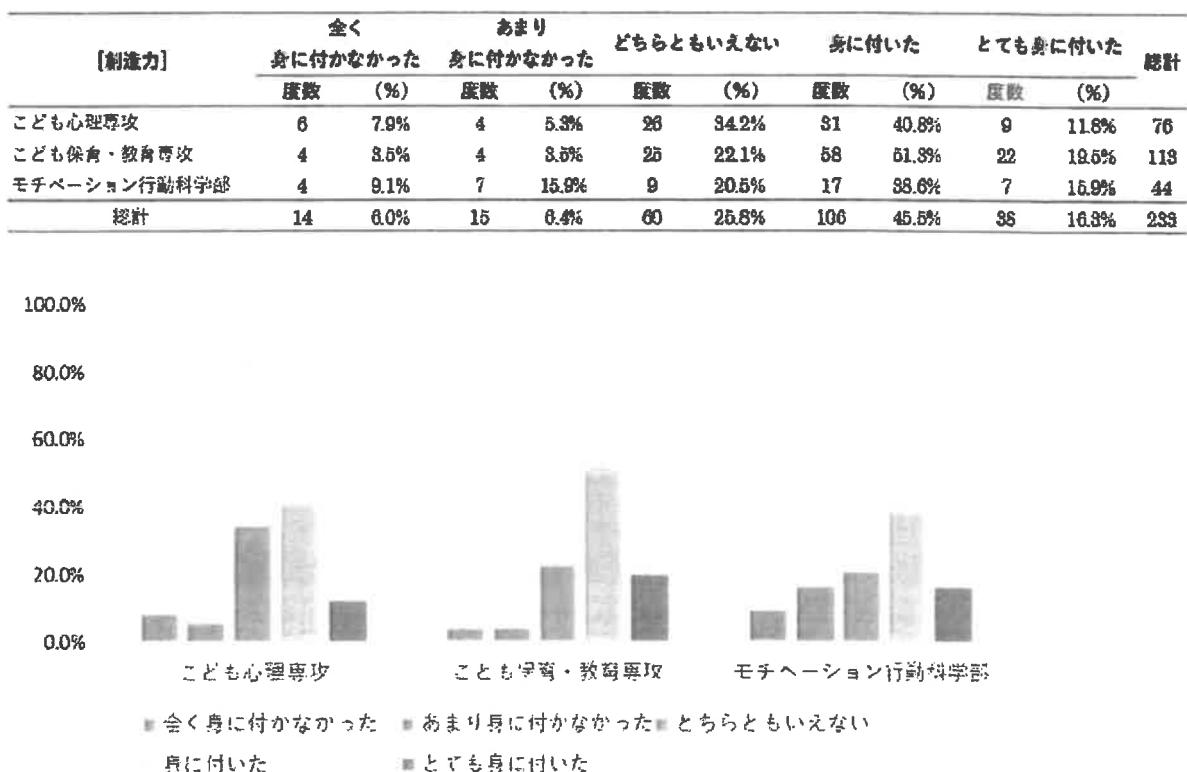
[生涯学習力]	全く 身に付かなかった		あまり 身に付かなかった		どちらともいえない		身に付いた		とても身に付いた		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	4	5.3%	9	11.8%	23	30.3%	31	40.8%	9	11.8%	76
こども保育・教育専攻	3	2.6%	5	4.4%	21	18.4%	63	55.3%	22	19.3%	114
モチベーション行動科学部	3	6.8%	4	9.1%	10	22.7%	21	47.7%	6	13.6%	44
総計	10	4.3%	18	7.7%	54	23.1%	116	49.1%	37	15.8%	234



問題解決力 * 課題解決力(情報収集ー分析ー解釈ー表現・発信する力)



創造力 * 創造力(創造し表現する力)



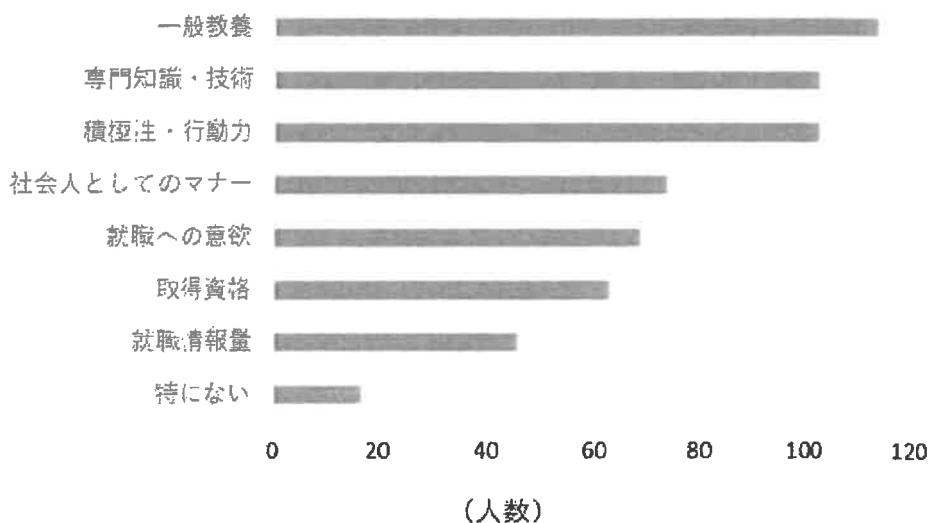
学士力(汎用的スキル)「身に付いた」、「とても身に付いた」と答えた者の割合

	[社会性]	[市民性]	[受容性]	[倫理観]	[生涯学習力]	[課題解決力]	[創造力]
こども心理専攻	67.1%	63.6%	70.1%	66.2%	52.6%	62.3%	52.6%
こども保育・教育専攻	83.3%	78.1%	83.2%	74.6%	74.6%	72.8%	70.8%
モチベーション行動科学部	75.0%	75.0%	86.0%	79.5%	61.4%	65.9%	54.5%

社会性（コミュニケーションの力、協働する力）、市民性（社会の一員として責任ある行動をする力）、受容性（自分たちの文化、異文化を理解し認める力）、倫理観（自己を統べる力）、生涯学習力（常に学び、向上を続ける態度）、課題解決力（情報収集－分析－解釈－表現・発信する力）、創造力（創造し表現する力）のいずれの項目においても、「身に付いた」、「とても身に付いた」と半数以上のものが答えており、多くの学生が卒業時には、本学が掲げる学士力（汎用的スキル）を身に付けたと感じていることが分かった。

30. 卒業時に不足している力について

卒業時に不足していると思う力を知るために、「卒業するにあたって、今の自分に不足していると感じるのは何ですか。あてはまるものすべてに✓をつけてください。」と質問し、回答（複数回答）を求めた。



卒業時に不足している力では、「一般教養」（114）、「専門知識・技術」（103）、「積極性・行動力」（103）の3つが多いという結果であった。「一般教養」は、特定の専門知識だけではなく、日々の生活の中でも見に付けていくものだと考えられる。そのため、多くの物事に対して興味を持ち、調べ、知識を深めていくことが重要であると考えらえる。学生に対して、専門知識のみに目を向けるだけではなく、幅広い知識を見に付けさせる工夫が必要である。また、そのような態度を見に付けるうえで、図書館などと連携し、

読書やニュース視聴などを早くから推奨することも有効である。

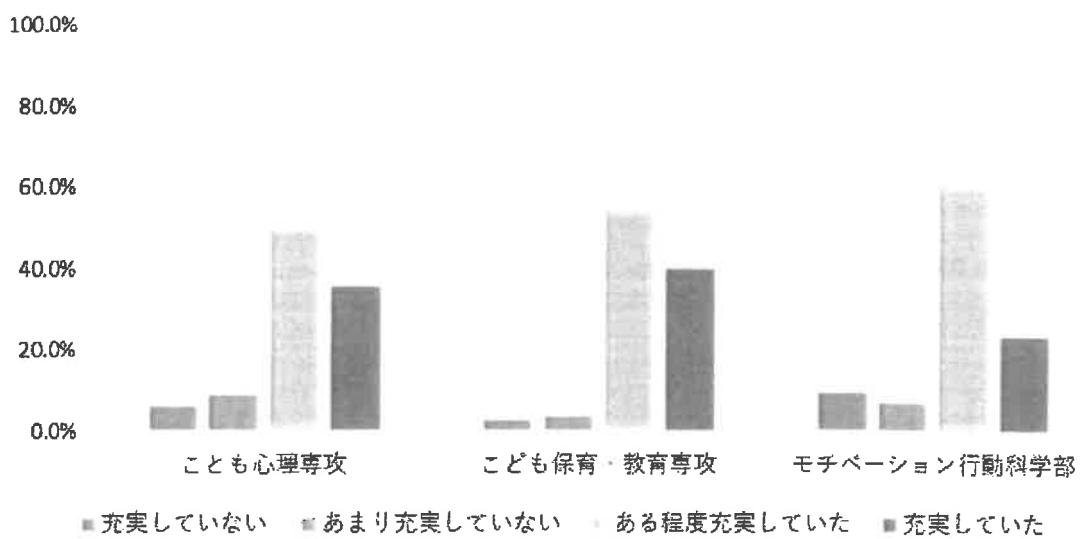
「一般教養」の不足を感じる一方で、「専門知識・技術」の不足を感じるものも多い。このことはインターンや実習で現場に出た際、思ったように動けず、「専門知識・技術」の不足を感じたことが考えられる。このことは、知識の定着が弱く、現場で応用が利かないことが理由の一つと考えられる。そのため、知識を蓄えるだけでなく、場面を想定したリハーサルを行うなどして身に付けていく必要がある。そのため、授業、ゼミ、キャリアガイダンスなどで、実際の場面を想定した応用課題などを取り入れることが望ましい。

31. キャリアガイダンス充実度について

キャリアガイダンスの充実度を知るために「Q12. キャリアガイダンスは充実していましたか。」と質問し、(1) 充実していない、(2) あまり充実していない、(3) ある程度充実していた、(4) 充実していた、(5) わからない（出席していない等）、の5段階で回答を求めた。

キャリアガイダンス充実度

キャリアガイダンス充実度	キャリアガイダンス 参加人数	充実していない		あまり充実してい ない		ある程度充実して いた		充実していた		わからない (出席していない)		総計	
		座敷 数	(%)	座敷 数	(%)	座敷 数	(%)	座敷 数	(%)	座敷 数	(%)		
こども心理専攻	68	56.3%	4	5.2%	6	7.8%	34	44.2%	24	31.2%	2	11.7%	77
こども保育・教育専攻	111	97.4%	3	2.6%	4	3.5%	60	52.6%	44	38.6%	3	2.6%	114
モチベーション行動科学部	43	97.7%	4	9.1%	3	6.8%	26	59.1%	10	22.7%	1	2.3%	44
総計	222	94.5%	11	4.7%	13	6.5%	120	51.1%	78	33.9%	13	5.5%	235



（註）キャリアガイダンス参加対象者のみをグラフ化（こども心理専攻 68 名、こども保育・教育専攻 111 名、モチベーション行動科学部 43 名）

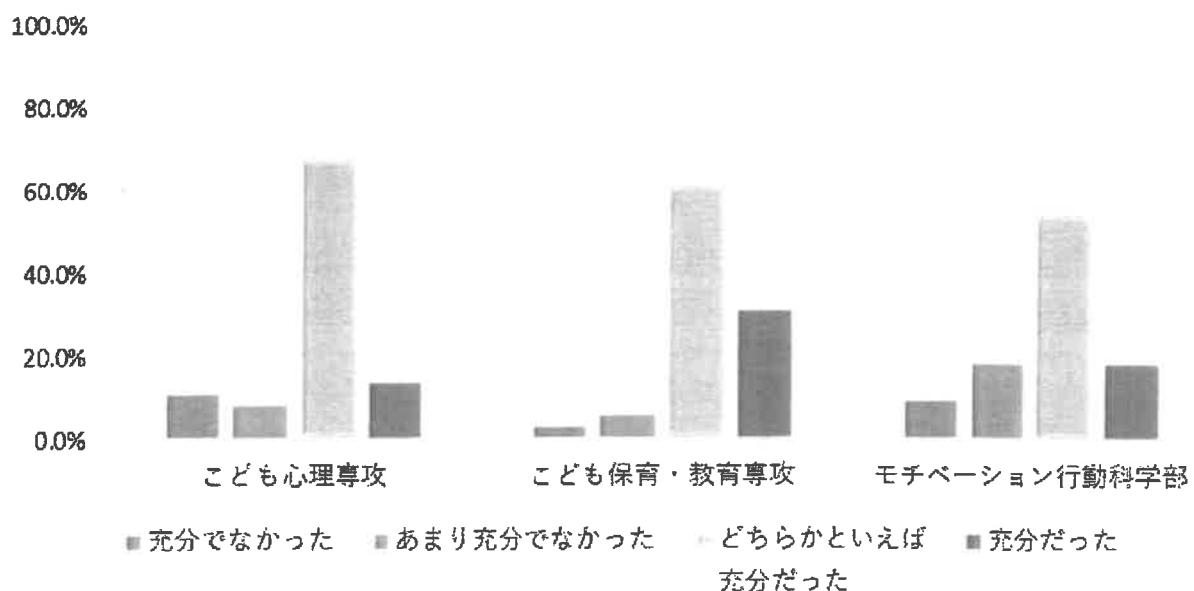
キャリアガイダンスは、キャリアセンターが主体となって、キャリアガイダンスへの参加の促しやガイダンスを行っているが、キャリアガイダンスに参加した者の半数以上が「ある程度充実していた」、「充実していた」と回答していることが分かった。

32. 学外実習充実度について

学外実習の充実度をするために、「学外実習（保育実習・教育実習・心理実習等）に対する支援は充分でしたか。」と質問し、(1) 充分でなかった、(2) あまり充分でなかった、(3) どちらかといえば充分だった、(4) 充分だった、(5) 実習にいっていない、の 5 段階で回答を求めた。

学外実習充実度

学外実習充実度	実習参加人数		充分でなかった		あまり 充分でなかった		どちらかといえ ば充分だった		充分だった		実習に行ってない		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	37	48.1%	4	5.2%	3	3.9%	25	32.5%	5	6.5%	40	51.8%	77
こども保育・教育専攻	111	99.2%	3	2.7%	6	5.3%	66	60.2%	34	30.1%	2	1.8%	113
モチベーション行動科学部	11	25.6%	1	2.3%	2	4.7%	6	14.0%	2	4.7%	32	74.4%	43
総計	169	60.5%	8	3.3%	11	4.0%	99	41.4%	43	17.2%	74	31.0%	233



注)学外実習参加対象者のみをグラフ化(こども心理専攻 37 名、こども保育・教育専攻 111 名、モチベーション行動科学部 11 名)

学外実習は主に小学校・中学校・幼稚園等の教員免許取得、保育士や公認心理師等の資格取得のために行われる実習である。そのため、こども保育・教育専攻の学生の多くが実習に参加する一方で、こども心理専攻やモチベーション行動科学部の学生は資格取得希望者以外、実習に参加していない。そのため、学

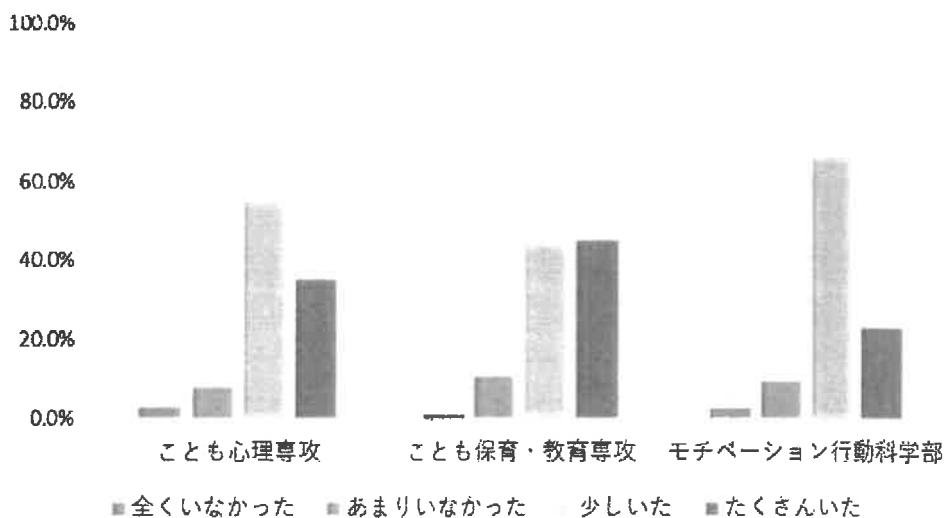
外実習参加者のみで学外実習の充実度をみると、「どちらかといえば充分だった」、「充分だった」を合わせた回答は、こども心理専攻 81.1%、こども保育・教育専攻 91.9%、モチベーション行動科学部 72.7% であり、学外実習にいった学生の多くが充実していると感じていたことが分かった。

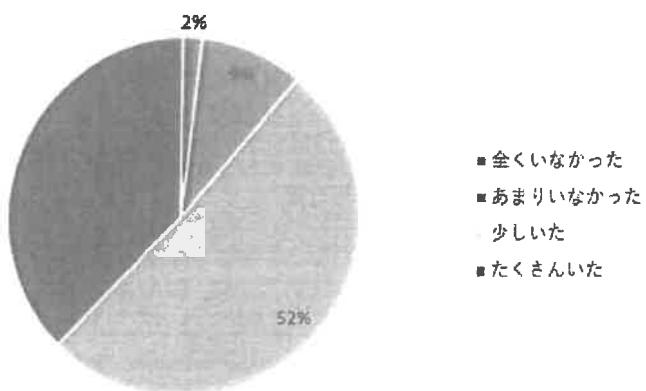
33. 教員の熱意について

教員の熱意をどの程度感じているかを知るために「授業・資格取得・就職等において、熱意を持ってサポートしてくれた教員・CA はいましたか。」と質問し、(1) 全くいなかった、(2) あまりいなかった、(3) 少しいた、(4) たくさんいた、の 4 段階で回答を求めた。

教員の熱意

教員の熱意	全くいなかった		あまりいなかった		少しいた		たくさんいた		総計
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	
こども心理専攻	2	2.6%	6	7.8%	42	54.5%	27	35.1%	77
こども保育・教育専攻	1	0.9%	12	10.5%	50	43.9%	51	44.7%	114
モチベーション行動科学部	1	2.3%	4	9.1%	29	65.9%	10	22.7%	44
総計	4	1.7%	22	9.4%	121	51.5%	88	37.4%	235

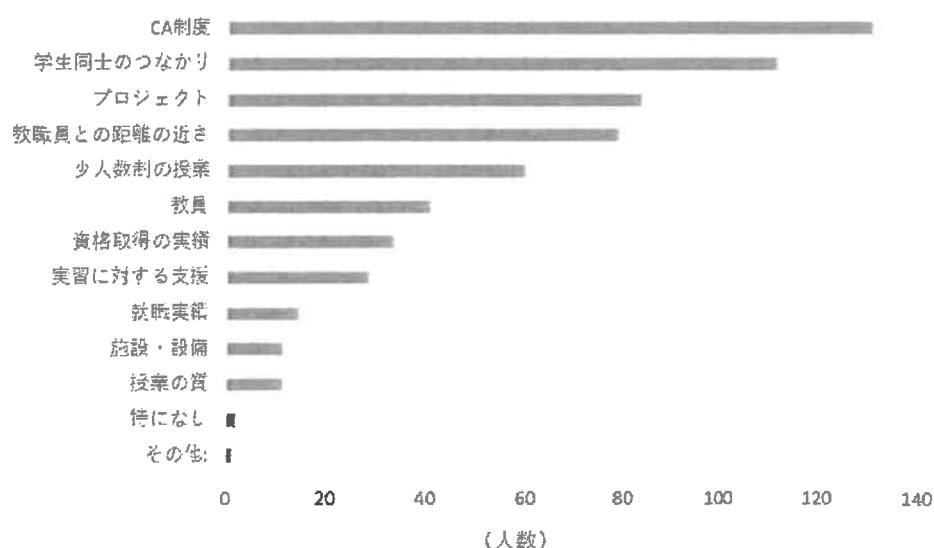




学部専攻に関わらず多くの学生が、教員が熱意を持ってサポートしてくれたと感じていることが分かった。

34. 東京未来大学の誇れることについて

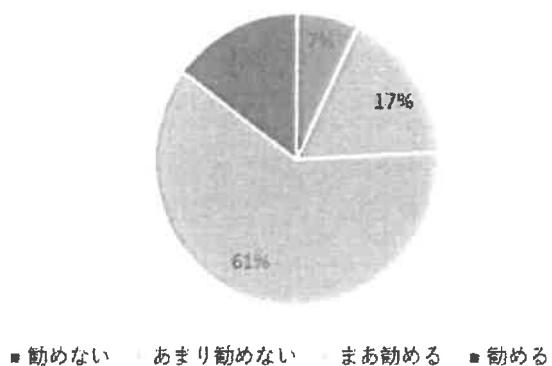
卒業生として、本学の何に誇りを感じているかを知るために、「本学の卒業生として誇れることは何ですか。あてはまる項目すべてに✓をつけてください。」と質問し、回答（複数回答）を求めた。



卒業生が感じている本学の誇れることの上位は、「CA制度」(132)、「学生同士のつながり」(112)、「プロジェクト」(84)、「教職員との距離の近さ」(79) であった。これらはいずれも開学当初より本学の特色として、本学が大切にしてきたものである。本学の理念に対して学生が誇りを感じているが分かった。

35. 東京未来大学を勧めることについて

本学への進路相談を受けた際、どの程度本学を勧めるかを知るために、「他者から本学への進路相談を受けた場合、本学を勧めますか。」と質問し、(1) 勧めない、(2) あまり勧めない、(3) まあ勧める、(4) 勧める、の4段階で回答を求めた。



進路相談を受けた際、多くの学生が本学への進路を進めることができた。

追記:学習時間についての考察

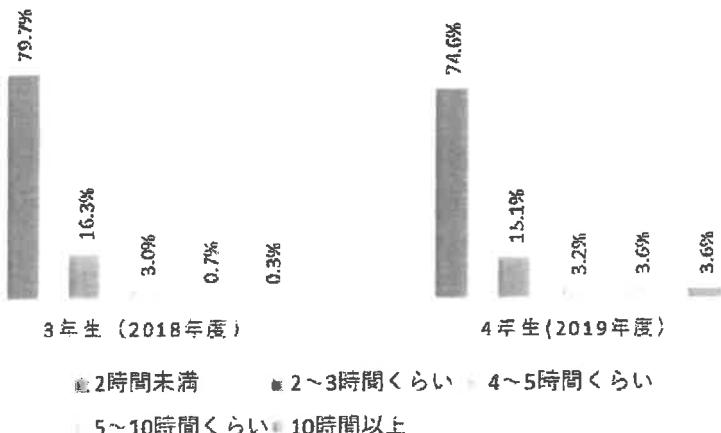
2017 年度から 2021 年度までの学習時間の推移を知るために、学生生活実態調査の学習時間についての回答（「今学期、1 週間あたり、授業以外での勉強時間はどれくらいですか。」と質問し、(1) 2 時間未満、(2) 2~3 時間くらい、(3) 4~5 時間、(4) 5~10 時間くらい、(5) 10 時間以上、の 5 段階で回答を求めた）を基に年度、学年別に学習時間を求めた。

年度、学年別の学習時間

年度	2017年度		2018年度				2019年度		2020年度				2021年度					
	4年生		1年生		2年生		3年生		4年生		1年生		2年生		3年生		4年生	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
2時間未満	198	81.8%	44	77.2%	187	79.9%	240	79.7%	268	78.6%	188	74.6%	155	56.2%	183	71.8%	123	67.2%
2~3時間くらい	28	11.6%	11	19.8%	38	16.2%	49	16.8%	43	12.6%	38	15.1%	76	28.3%	47	18.4%	40	21.9%
4時間くらい	5	2.1%	2	8.5%	4	1.7%	9	8.0%	12	8.5%	8	8.2%	29	10.5%	20	7.8%	14	7.7%
5時間くらい	9	3.7%	0	0.0%	3	1.3%	2	0.7%	12	8.5%	9	8.6%	10	3.6%	3	1.2%	4	2.2%
10時間以上	2	0.8%	0	0.0%	2	0.9%	1	0.3%	6	1.8%	9	8.6%	4	1.4%	2	0.8%	2	1.1%
合計	242	100.0%	57	100.0%	234	100.0%	301	100.0%	341	100.0%	252	100.0%	276	100.0%	265	100.0%	189	100.0%

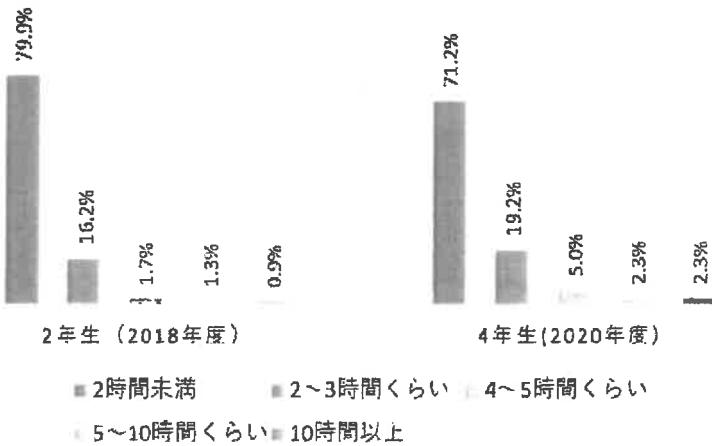
次に学年による学習時間の変化を知るため、入学年次を基準に学年別の学習時間を求めた。

2016年度入学生



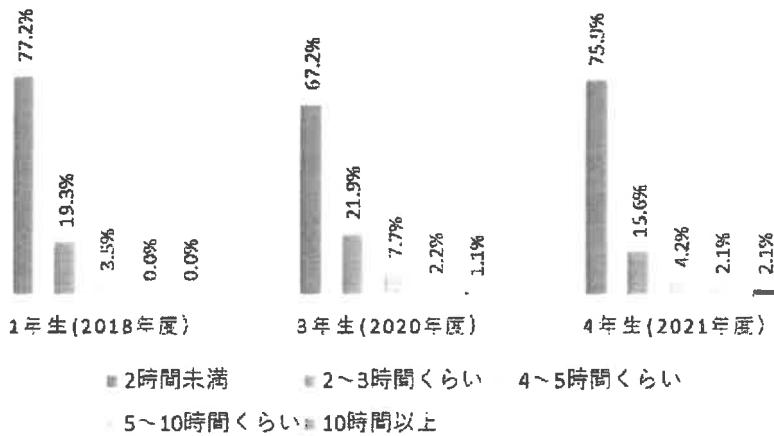
2016 年度入学生の学習時間の推移

2017年度入学生



2017年度入学生の学習時間の推移

2018年度入学生



2018年度入学生の学習時間の推移

学習時間の推移

入学年度ごとの推移をみていくと 2016 年度入学者では、3 年次において 1 週間あたりの授業以外での学習時間は、「2 時間未満」(79.7%) が最も多く、次いで「2~3 時間くらい」(16.3%)、「4~5 時間くらい」(3.0%)、「5~10 時間くらい」(0.7%)、「10 時間以上」(0.3%) であった。4 年次においては 1 週間あたりの授業以外での学習時間は、「2 時間未満」(74.6%) が最も多く、次いで「2~3 時間くらい」(15.1%) と 3 年次に比べて減少していた。一方で、「4~5 時間くらい」(3.2%)、「5~10 時間くらい」(3.6%)、「10 時間以上」(3.6%) と 3 年次と比較し増加していた。

2017年度入学者では、2年次において1週間あたりの授業以外での学習時間は、「2時間未満」(79.9%)が最も多く、次いで「2~3時間くらい」(16.2%)、「4~5時間くらい」(1.7%)、「5~10時間くらい」(1.3%)、「10時間以上」(0.9%)であった。4年次においては1週間あたりの授業以外での学習時間は、「2時間未満」(71.2%)と2年次と比較して減少していた一方で、「2~3時間くらい」(19.2%)、「4~5時間くらい」(5.0%)、「5~10時間くらい」(2.3%)、「10時間以上」(2.3%)は2年次と比較し増加していた。

2018年度入学者では、1年次において1週間あたりの授業以外での学習時間は、「2時間未満」(77.2%)が最も多く、次いで「2~3時間くらい」(19.3%)、「4~5時間くらい」(3.5%)、「5~10時間くらい」(0.0%)、「10時間以上」(0.0%)であった。3年次においては1週間あたりの授業以外での学習時間は、「2時間未満」(67.2%)と2年次と比較して減少していた一方で、「2~3時間くらい」(21.9%)、「4~5時間くらい」(7.7%)、「5~10時間くらい」(2.2%)、「10時間以上」(1.1%)は2年次と比較し増加していた。4年次においては1週間あたりの授業以外での学習時間は「2~3時間くらい」(15.6%)、「4~5時間くらい」(4.2%)、「5~10時間くらい」(2.1%)が3年次に比べて減少していた一方で、「2時間未満」(75.9%)と「10時間以上」(2.1%)と3年次と比較し増加していた。

以上のように学習時間の推移を見していくと、どの入学年度においても年次が上がるにつれて長時間勉強する学生が微増していることが窺える。

その一方で、現行の質問への回答からは、履修科目の内容に関する予習・復習・課題の取り組み・探求等に割り当てた学習時間なのか、教養や己を高めるための自己研鑽（「読書」「芸術活動」「時事情報収集」等）の学習時間なのか判然としないため、次年度以降、学習時間に関する質問項目の追加等をし、詳細な学習行動を把握できるように検討する必要がある。

**入学前教育
ゼミナール参加率**

【資料P】

(単位:人、%)

	令和4(2022)年度入学			令和5(2023)年度入学			令和6(2024)年度入学		
	入学予定者数	参加者数	参加率	入学予定者数	参加者数	参加率	入学予定者数	参加者数	参加率
心理専攻	114	90	78.9%	120	105	87.5%			
こども保育・教育専攻	171	149	87.1%	197	179	90.9%			
モチベーション行動科学部	65	53	81.5%	92	60	65.2%			
合計	350	292	83.4%	409	344	84.1%	0	0	0

ラインズドリル提出率

(単位:人、%)

	令和4(2022)年度入学			令和5(2023)年度入学			令和6(2024)年度入学		
	入学予定者数	提出者	提出率	入学予定者数	提出者	提出率	入学予定者数	提出者	提出率
心理専攻	126	106	84.1%	126	116	92.1%			
こども保育・教育専攻	177	168	94.9%	198	191	96.5%			
モチベーション行動科学部	70	62	88.6%	74	73	98.6%			
合計	373	336	90.1%	398	380	95.5%	0	0	0